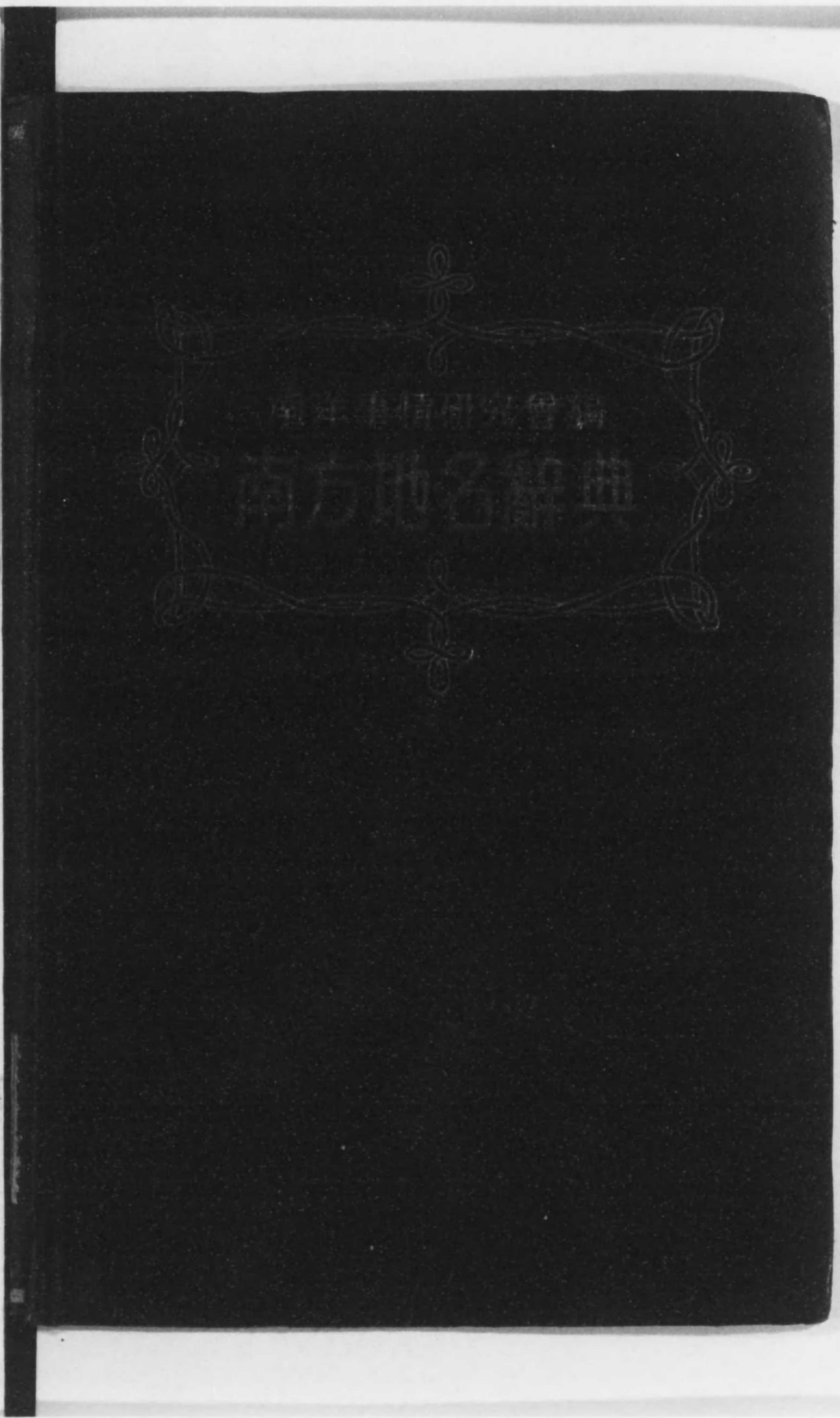
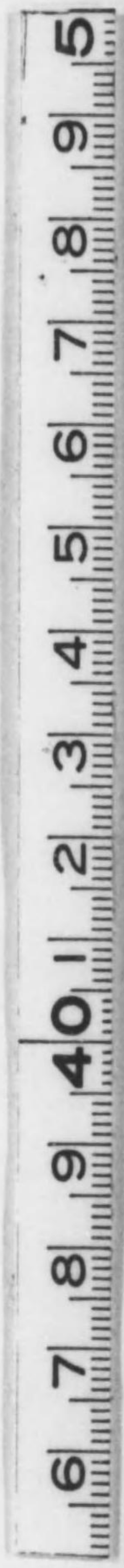


始



南洋事情研究會編

南方地名辭典

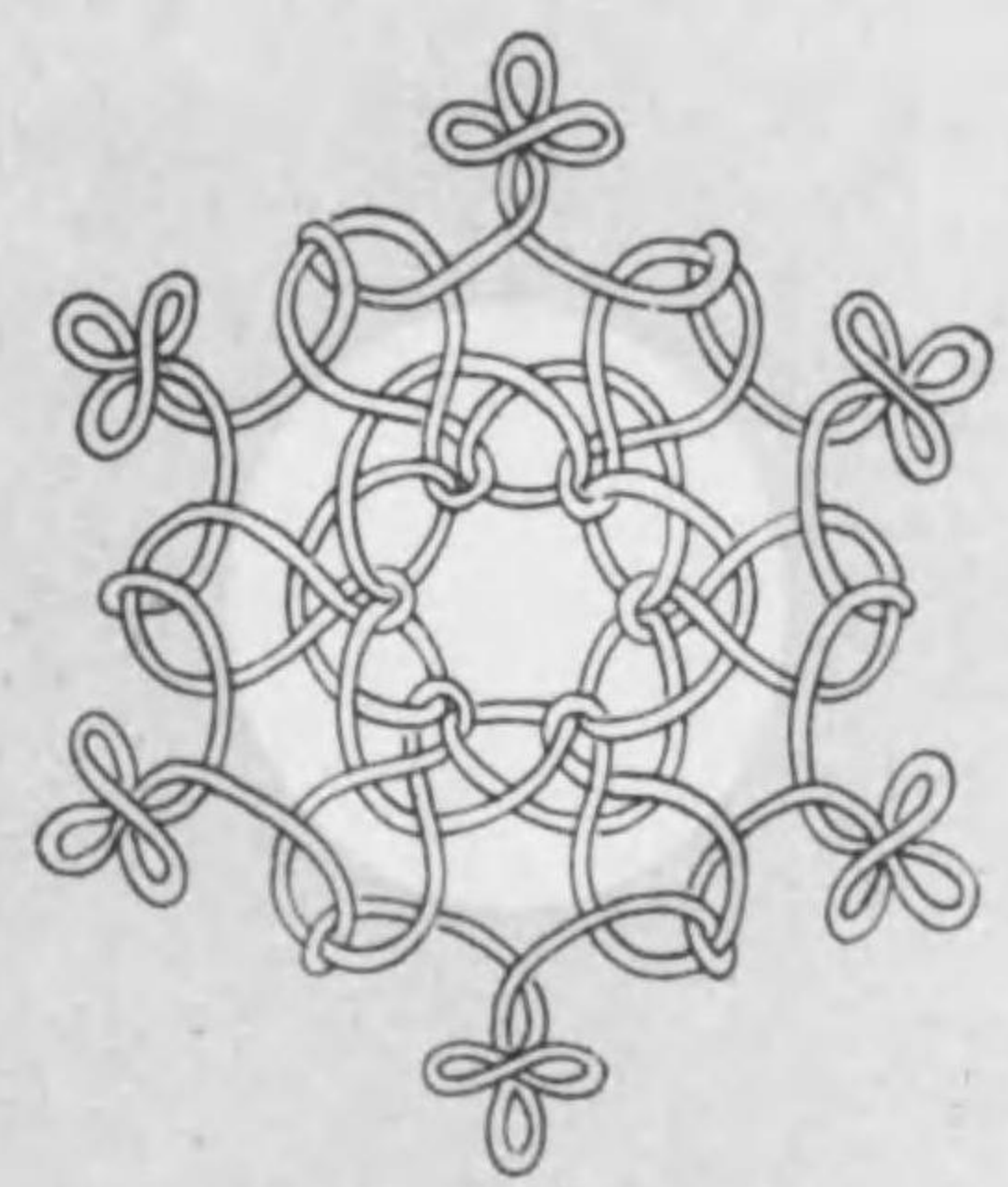
946
152

R
292.3
N48

1.130-48



南洋事物研究会編
南方地方名辭典

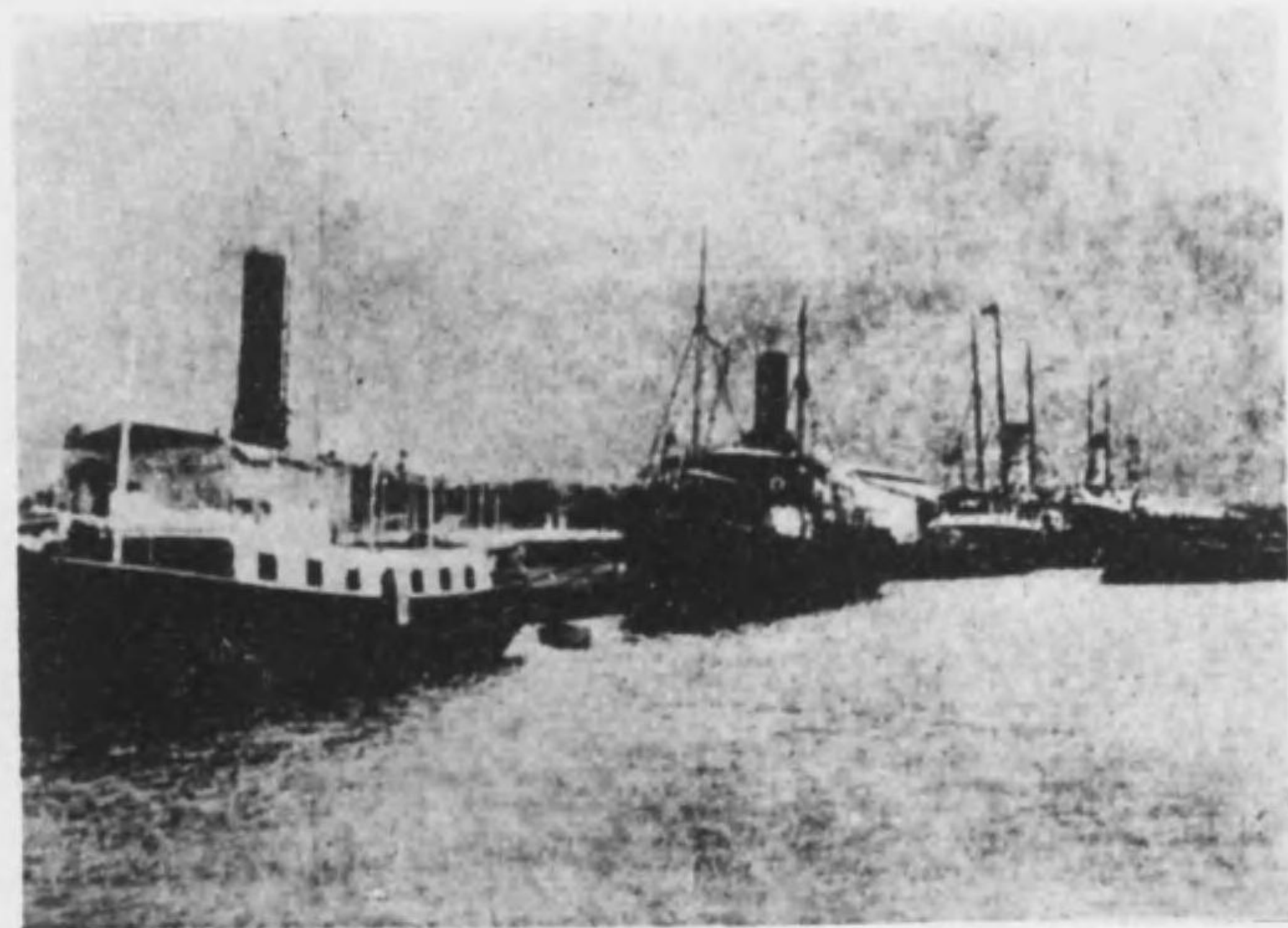


婦女界出版社





佛印サイゴン



佛印サイゴン港



佛印ハノイ驛



佛印ハノイのブーメル大鐵橋



タイ國・メコン河風景



タイ國首都・バンコック



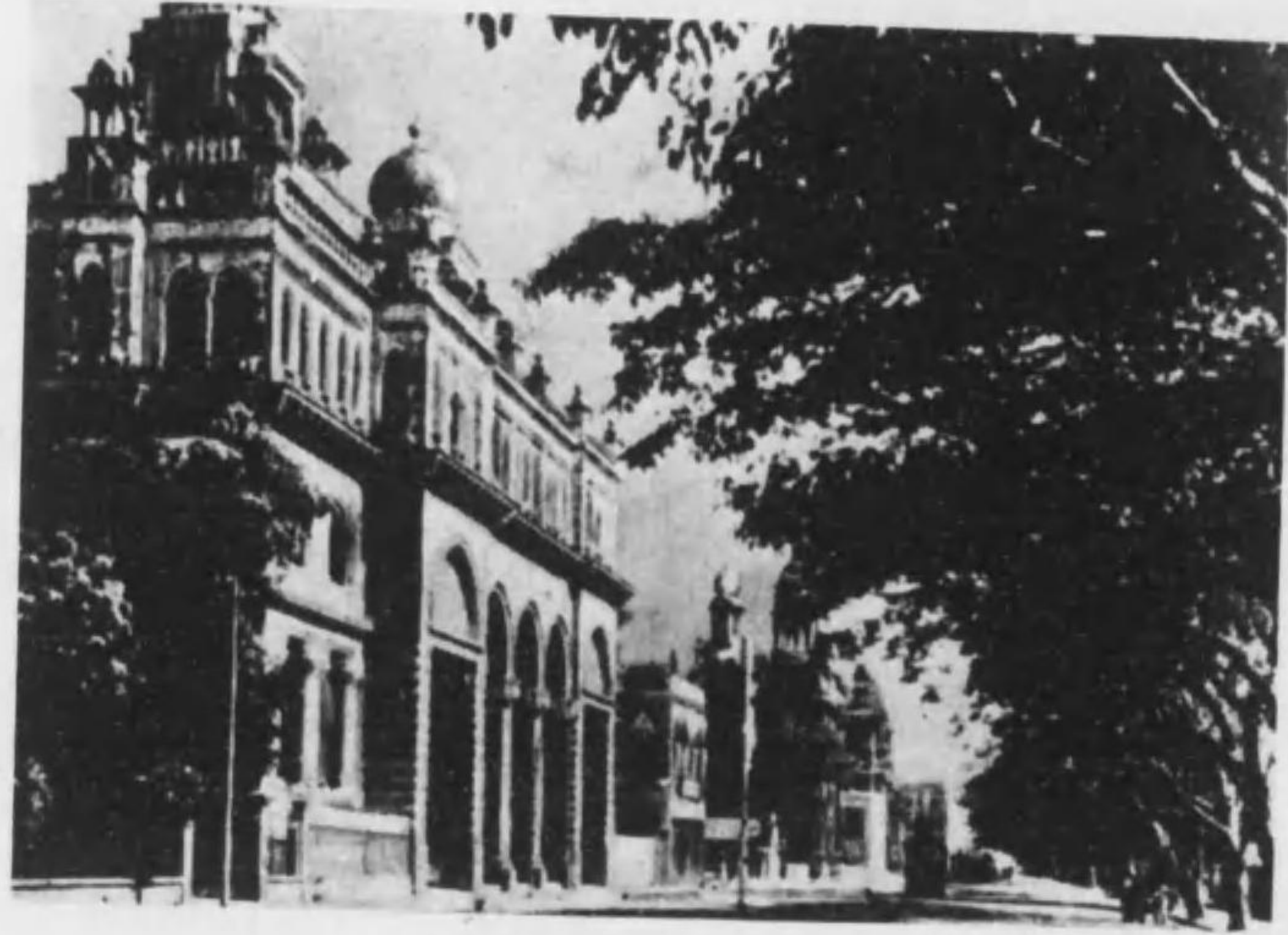
上
ビルマの
ラング
グー
ン
下
ビルマの
マン
ダ
レイ



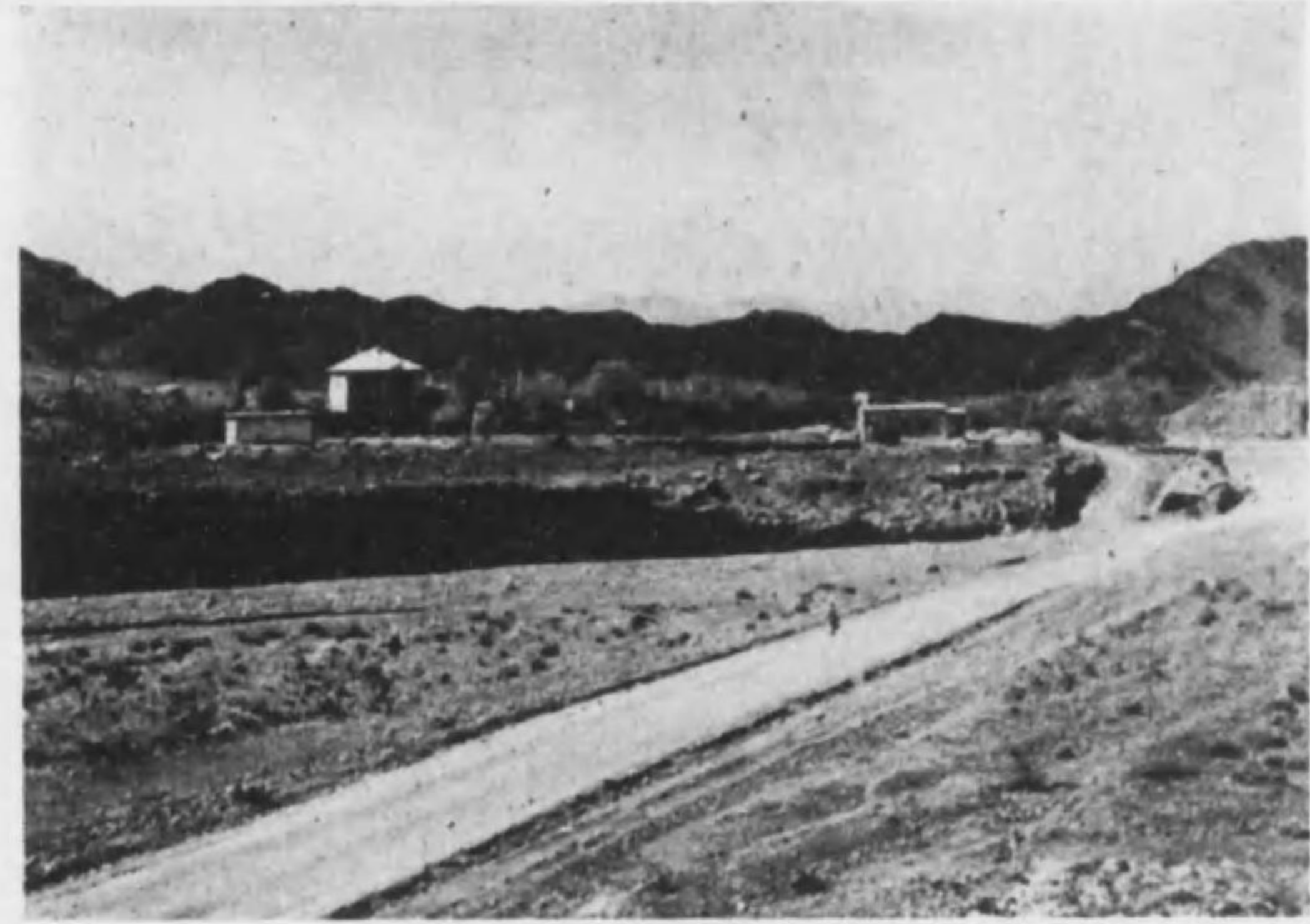
印度ニュー・デリー



印度コロンボ



印度コロンボ



印度カイバル峠



印度カルカッタ



印度アムリツツア



マレー半島昭南港



フィリッピン、ルソン島マニラ市



フィリッピン、セブ島セブ市



フィリッピン、ミンダナオ島ダバオ



東印度スマトラ島パレンバン



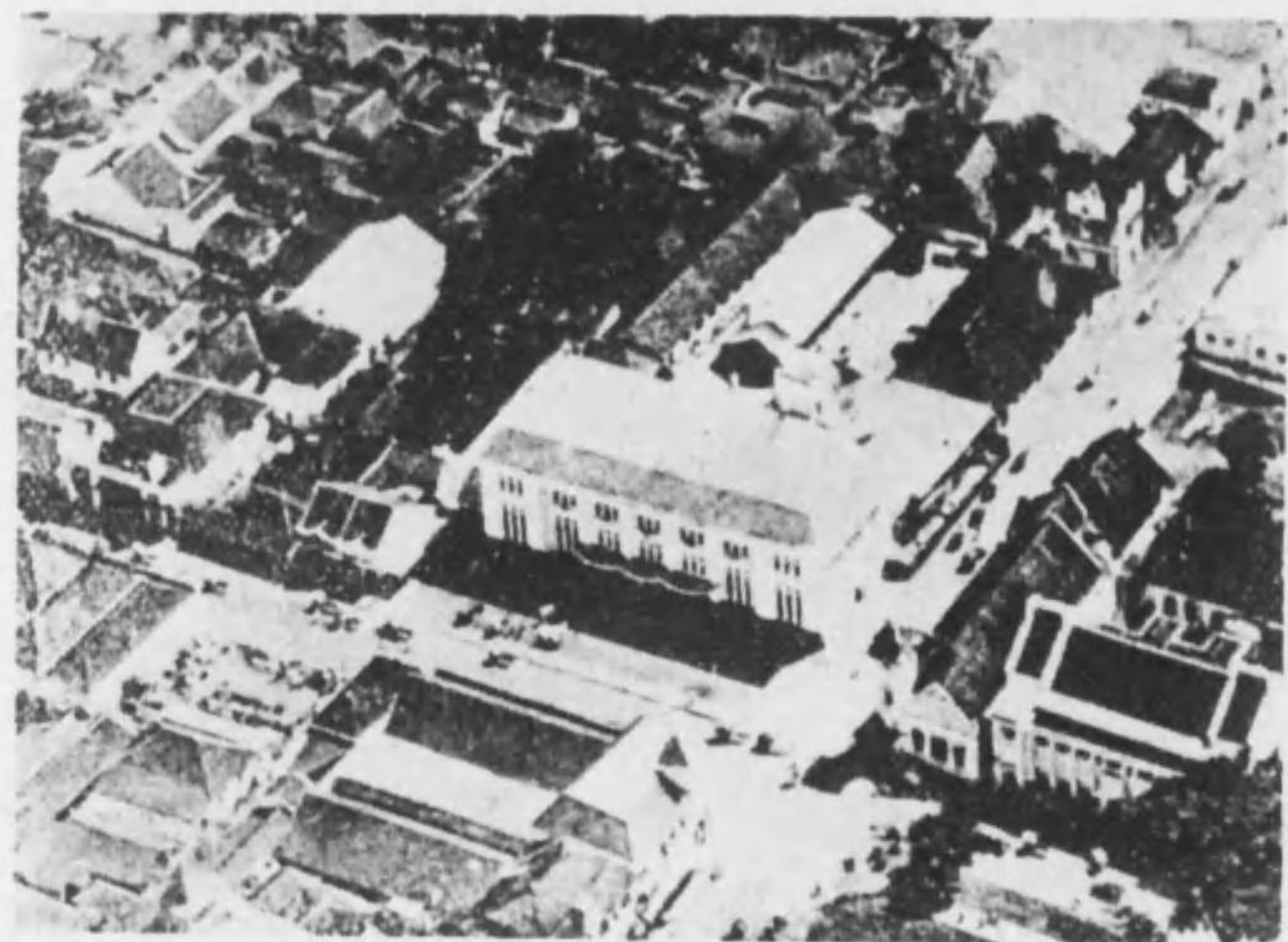
東印度スマトラ島パレンバン



東印度ジャバ島バタヴィヤ



東印度ジャバ島バタヴィヤ



東印度ジャバ島バンドン



東印度セレベス島マカツサル



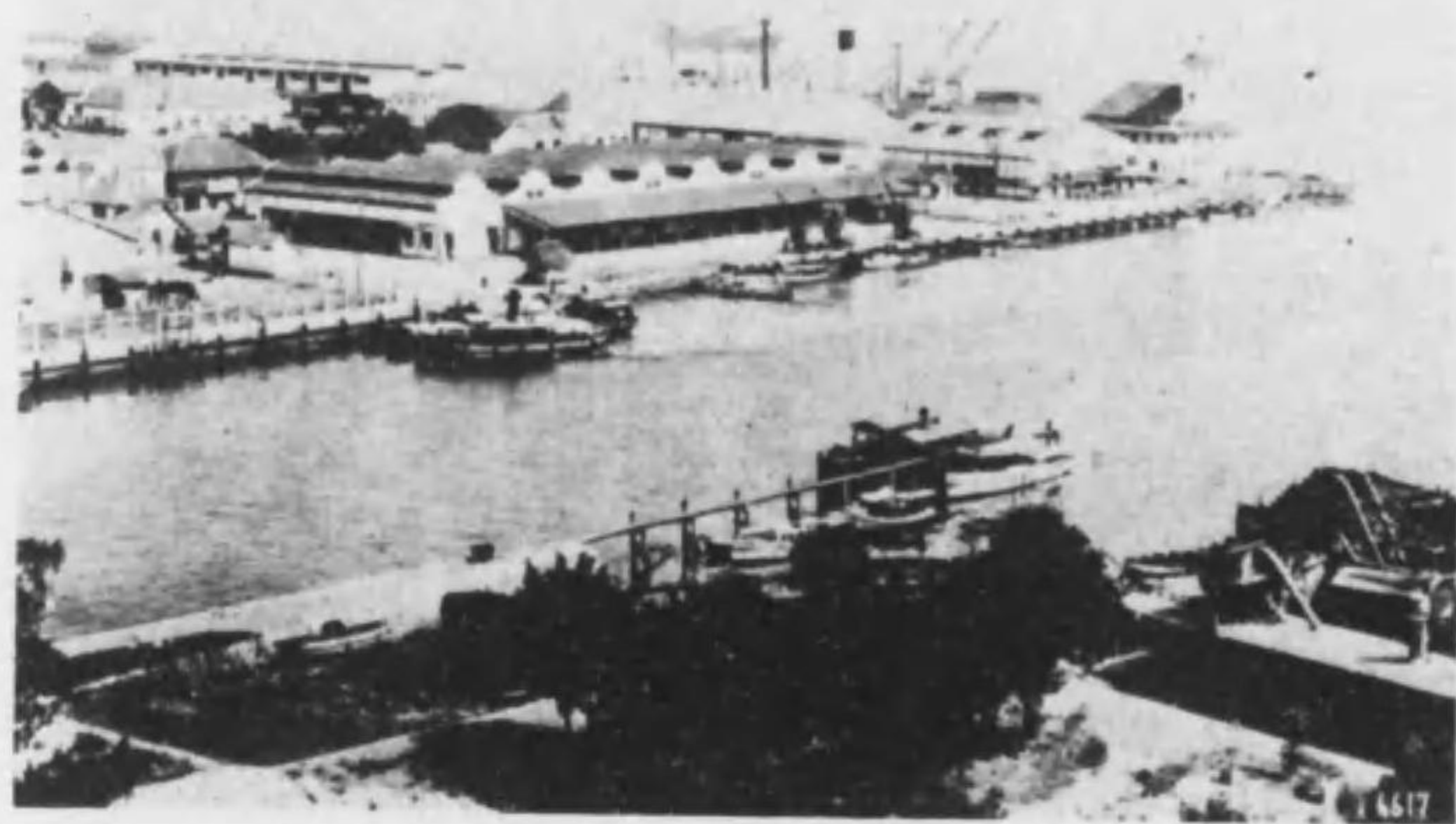
東印度ボルネオ島バリックババン



東印度南ボルネオ島サンサンガ油田



東印度ジャバ島スラバヤ



東印度ジャバ島スラバヤ港



東印度小スンダ列島バリ島の女



太平洋諸島フィジー島スバ



ニューギニア、パプア島、ポートモレスビー



小スンダ列島チモール島デイリー



濠洲首都キャンベラの議事堂



ニュージーランドのウェリントン港風景

048
457

序

米、英、暹羅の大詔が渙發されてから、僅かに五ヶ月にして、御稜威の下、聖なる干戈の征くところ、これを遮ぎる者なく、すでに、太平、印度の兩大洋を支配し、これに包まれる大東亞十一億の民は、治ねき天恩に感奮しつゝ、その本然の姿に立がへらんとしつゝある。

いふまでもなく、大東亞が、米、英、蘭の飽くなき搾取の対象となつてから、早くも數世紀を經過してゐる。この間我が國としても、彼ら歐米諸國の假面の姿に眩惑されてゐたかの觀なしとしない。したがつて大東亞諸地域の知識も、日本的な觀察の下されることは少く、常に彼らの都合のいゝ云ひ分をそのまま鵜呑みにしてゐたのである。明治維新當初の新知識の吸收が、彼らからなされたため、それがいつの間にか習性となつてつい最近まで、歐米第一主義が尊重され來たのである。その結果は當然、大東亞自體の知識の吸收を忘却して來た。

大東亞戰が開始されるまでは少くとも、ロンドンやパリ、或ひはニュー・ヨークが何處にあるかは、子供達でさへも知つてゐたが、さて我らの身近にある蘭印とは何處を指すか、ビルマは何處にあるかといふことすら知らぬものが多かつたのである。

相當教養のある人が、蘭領東印度へ手紙を出すに當つて、蘭領印度支那と書いたといふ笑へぬナンセンスもあれば、ニューギニアは知つてゐるがバブアといふ所は知らぬといふ悲しい話もある。

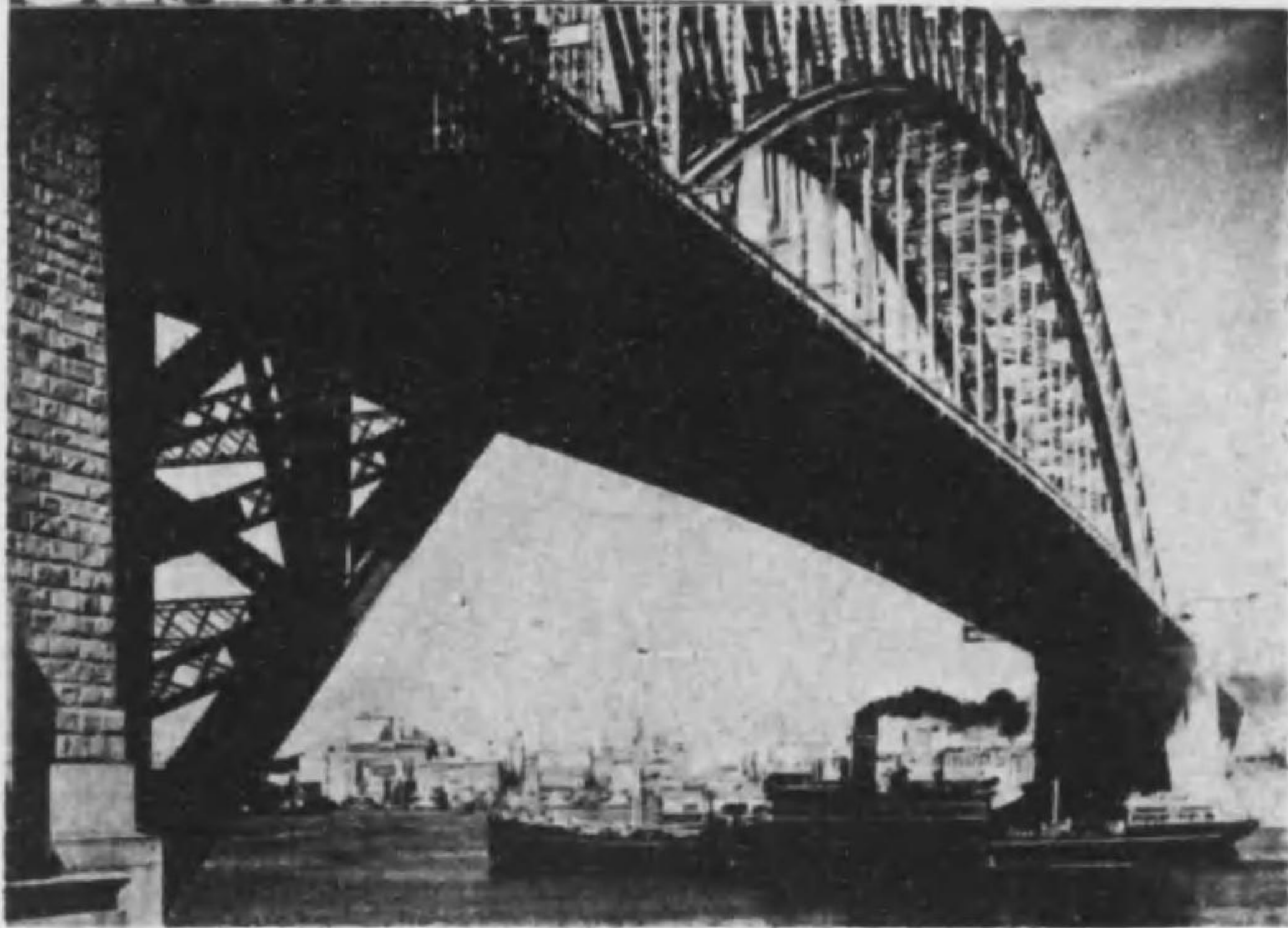
したがつて個々の地名の讀み方にいたつては非常に混亂してゐる。例へばジャワにしても或ひはジャバとなり、シアヴァといつてゐる。

二、三の例を引いてみやう。

○バンシアーフ



上、ニュージーランド・クーク山の鳥瞰風景
下、濠洲シドニー市ハーバーブリッジの風景



ハンジヤツブ

ボイテンゾルフ

◎ボイテンゾルフ

ベンガル

◎バンガール

ベンゴール

◎スマラン

サマラン

セマラン

◎デリー

デルヒ

カシミヤ

◎カシミール

ベルチスターン

◎バルチスターン

ギールヴインク湾

◎ヘルフインク湾

◎スラカルタ

セラカルタ

◎インドラマユ

インドラマジュ

などで、悲しいかな枚舉にいとまがない。

したがつて、これまでのこれらの地名を我が國に紹介した内容も、あまり信用のおけるものではないと見なければならぬ。

本書においては地名の讀み方は出来るだけ原住民の發音に近いものを採用した。又その説明事項は主として後記の刊行物により、不明の點は、在留の各國人にそれぞれ正して、出来るだけ正確を期したつもりである。

なほ採録した地名は僅かに四千に過ぎない。所謂南方諸地域には幾千萬、幾億といふ地名があるであらう。勿論島の數だけでも三萬余を數へ、比島のみにも七千余の島々がある。したがつて、四千といふ數字は如何に少いものであるかと判る。

しかし、一應、新聞、雑誌その他の刊行物を讀む場合に不便をせぬ程度のものは採録したつもりである。

昭和十七年六月

編者 しるす

参考分獻

地圖

1. The Times; Survey Atlas of the World.
2. Phillip; Atlas.
3. Prof. Hickmann's Geographisch-Statistischer Universal-Atlas.
4. Velhagen & Klasing; Grosser-Volksatlas.
5. Atlas van Tropisch Netherland.

辭典

1. Lippincott's; Gazetteer of the World.
2. Meyer's; Lexikon.
3. Larousse.
4. Encyclopaedia Britannica.

その他

1. Statesman Year Book 1941.
2. Indian Year Book 1940—1941.
3. Malayan Year Book 1936—1937.
4. Murray's; Handbook to India, Burma and Ceylon.

5. Handbook of Travellers in India, Burma and Ceylon.
 6. Araham, W. A.; Siam Handbook of Practical, Commercial and Political Information.
 7. A. L. C. Beekman; Leerboek der Aardrijkskunde Voor Indirhe Middelbare en Daarmee Overeenkomende Scholen, Veertiende Drukke, Batavia 1933.
 8. Jadid Geografie Hindustan wo Dunia.
- 一、滿鐵東亞經濟調査局編 南洋叢書 第一編——第六編
 一、小林房太郎氏著 世界地名辭典
 一、三吉朋十氏著 大南洋地名辭典

後記

なほ、配列の順序は、アイウエオ順によつたが、第二字目までを整理したに過ぎなかつたのでこの點お詫びしたい。

本書に集めた地名は太平洋諸島、ニュージーランド、濠洲、ニューギニア、モルツケン諸島、スマトラ、セレベス、ジャワ、小スンダ列島、フィリッピン諸島、佛印、タイ、マレー半島、ビルマ、インドの主なる地名であつて、アイウエオ順に配列したものである。地名の読み方については現在日本で読まれる場合は区々であるが、本書においてはもつぱら現地の呼稱に近いものを採用した。しかし日本式に読まれた場合、すでに久しく一定してゐるやうな地名は、これをそのまま採用してゐる。又著名な地名で二様に讀まれてゐる様なものは二つとも採録し、正しい読み方の方に説明を附した。

なほ又誤りが絶無とは云へないかも知れないが、これは大方の利用者諸先輩の御叱正を待つて訂正して行きたいと思ふ。

編者 するす

南方地名辭典目次索引

ア 2	イ 25	ウ 32	エ 43	オ 49
カ 54	キ 76	ク 83	ケ 98	コ 102
サ 111	シ 123	ス 139	セ 149	ソ 154
タ 157	チ 175	ツ 187	テ 189	ト 197
ナ 206	ニ 212	ヌ 219	ネ 221	ノ 223
ハ 224	ヒ 262	フ 272	ヘ 296	ホ 304
マ 317	ミ 337	ム 343	メ 346	モ 355
ヤ 359		ユ 360		ヨ 361
ラ 362	リ 375	ル 378	レ 381	ロ 384
ワ 389	ン 395			

アの部

アイアポイ Kaiapoi (ニュージ
ーランド)

南島カンタベリー地方クライス
トチャーチの北方十二マイルの
地点にあり。

名高い羊毛工場があり、マオリ
人の村落の遺跡がある。

アイプスウィッチ Ipswich (濠
洲)

クインズランド州東海岸の重要
港で、首府ブリスベーンの西方
三十九キロの地点に位し、ブレ
ーメル河に沿つてゐる。

人口は二萬二千六百七十五人
(一九三九年調) 著名な「アイ
プスウィッチ」炭田中の工業都
市である。アイプスウィッチ炭
田は世界的炭田として知られそ
の採掘量は巨額に達してゐる。
従つて各種の工業が発達し、殊
に毛織物工場、農産加工、皮革
その他の各工場が林立して壯觀
を呈してゐる。

アイツタキ島 Aitutaki Is. or
Aitutakai (太平洋諸島)

英領クック諸島中の一、面積五

十平方キロ、人口二千。長さ九
マイルで山に富んでゐるが肥
沃で珊瑚礁に囲まれ、船舶の錨
地がある。同島には無電塔があ
る。

アイランド湖 Island Lagoon (濠
洲)

南オーストラリア州エイア湖盆
地に横はる湖沼である。他の諸
湖と同様に鹹湖である。

アウストラル群島 Austral Ar-
chepelago (太平洋諸島)

ツプアイ群島を参照。

アウロラ島 Aurora (太平洋諸
島)

ニューヘブリデス島の一島。英
佛共同委任統治領。

アヴァ Ava (ビルマ)

サカインの對岸にあり、古都の
舊跡がある。

アヴァルア Avarua (太平洋諸
島)

ニュージージーランド委任統治領。
クック諸島の政廳所在地でラロ
トンガ島の要港である。

アウランガバード Aurangabad
(インド)

ハイダラバード藩王国。ホムベ

イより二九〇キロの地点にあ
り、同名地方の首都で、オーラ
ンゲセア王の建設になる都市。
同王宮や靈廟があり、棉花、穀
物の集散地である。人口三萬五
千。

アエルヒタム Ayer Hitam (マ
レー)

マレー半島ジョホール州西部の
小邑。大東亞戦争に際し皇軍マ
レー部隊は一月廿六日同地を占
領した。

アオバ島 (別名レペル島) Aoba
(Leper Island) (太平洋諸島)

ニューヘブリデス諸島の一。エ
スピリトサント島の東、メレナ
及メンテコスト兩島の中間西方
に位し、比較的肥沃な地で、島
民は約二萬人である。

アオラ Aola (太平洋諸島)

英領ソロモン群島中の一。グア
ダルキヤナル島の首都で、アオ
ラにはこの地方の行政支廳があ
る。

アーカート Akat Amnuei (ミ
イ)

タイ國サコーン・ナコーン北方
にあり、メーコン河左岸から移

住したユアイ族の居住地帯。

アカロア Akarou (ニュージージー
ランド)

南島中央部東側に突出せるバン
ク半島の南部に位し風光明媚に
して、避暑避寒地として名高い。

アカルコット Akalkot (インド)

ホムベイ州にある小藩王国、面
積一二九〇平方キロ、人口八萬
三千で、織物が盛んである。
首都アカルコットは大印度半島
鐵道上にあり、人口一萬九千。

アガル Agar (インド)

中部グジャラールの都邑で、ホ
ーバルの北西百六十一キロの地
點にある。人口二萬八千。

アガルタラ Agartala (インド)

ベンガル州、ヒル・チイツメラ

地方の首邑。

アキヤブ Akyab (ビルマ)

人口三萬八千(一九三一年調)
アラカン管管區の首邑で、ビル
マ第四の商港で精米の中心地で
ある。ベンガル灣の一島嶼上に
あり風光明媚。第一次英緬戦争
後発展した都市で、英佛兩系歐
亞航空の寄航地であつて、わが
神風號もこゝに着陸した。

アギクアン島 Agiguan Is. (太平洋諸島)

マリアナ諸島中の一島嶼で植物繁茂し、あまり価値なし、面積卅二平方キロ。

アグリガン島 Agrigan Is. (太平洋諸島)

我が委任統治領マリアナ諸島の一にして、面積卅二平方キロ、島の標高七百五十メートル、コブラ製造が盛んである。海岸は處々マンダローブが叢生す。

アグン火山 Agung Mt. (小スンダ列島)

小スンダ列島バリ島東部にある活火山標高三一〇〇米、バリの屋根と稱せられる。

アクラマン湖 L. Acraman (濠洲)

南オーストラリア州エイア湖盆地内に横はり、附近に分布する他の諸湖と同様に鹹湖である。

アグサン河 Agusan (比律賓)

ミンダナオ島アグサン州にありダヴァオ州中央高原に源を發しミンダナオ海に注ぐ長さ二百三十哩、小舟は百二十哩通航し得。

アグサン流域 Agusan Valley (比

律賓)

ミンダナオ島アグサン州にあり東西十マイル、南北九十マイルのアグサン河流域にあり地味肥沃で知られてゐる。

アグサン州 Agusan (比律賓)

ミンダナオ島中央、面積一一、一〇一平方キロ、人口九八、九四四(一九三九年)雨量多く果樹の成長頗るよく森林資源に富む。産物は麻、椰子、米、パイヤ、家畜、バナナ、魚類(河、湖に産す)金の埋蔵量多いといはれる。住民は土着のマノガ族のほかにタガログとガイサヤ族の移住あり、在留邦人二八名(一九三九年)

アグノ河 Agno River (比律賓)

ルソン島パンガシナン州を流れリンガエン灣に注ぐ、源はザンパレス、タルラツグ、ヌエツア・エシハ州に發す。延長廿マイル。

アグラ Agra (インド)

聯合州、デリーの東南二二二キロ、ジムナ河右岸に位し人口二十三萬、モガール王朝時代の首都で建築美術の粹を極めた幾多の遺跡があり、モガール朝建築

の双壁といはれるアグラ城並にタージ・マハル、ジャーマ・マ・スジツドは最も有名である。工業美術の地として古來から知られてゐるが現在では毛布、絨氈、その他の羊毛製品、蠟石細工、眞鍮製品、靴、綿布の生産があり經濟的に重要な都市となつてゐる。

同市に産する石鹼石は世界的に有名である。

アグラ運河 Agra Canal. (インド)

ジムナ河とバーン・ガンガ河を結ぶものでデリーの東十六キロの地點からアグラの東三十キロでバーン・ガンガに入る。

アコラ Akola (インド)

デカン高原ハイデラバード藩王國の北部ベラール州の一地方で面積一〇、六四五平方キロ、小麦、阿片、棉花、インゲゴの栽培が行はれ、同名の都市が集散地となつてゐる。同市は人口二萬六千。

アーサー湖 Arthur Lake (濠洲)

タスマニヤ島のグレート・ウエスタン山脈の西方盆地に横は

り、附近には尙多數の湖沼が散在してゐる。風光明媚である。

アサハン河 Asahan (スマトラ)

北部スマトラのトバ湖に源を發し、マラツカ海峡に注ぐ河で發電に利用され、アサハン發電所は最低出力六十六萬三千馬力でスマトラ一の發電所である。

アサンソール Asansol (インド)

ベンガル州、カルカッタの西北約二百キロの地點にあり、人口二萬六千、有名なラーニガンダ炭田の中心地で製鐵工場等がある。

アジメール・メールワラ

Ajmer Merwara (インド)

ラーヂプタナ地方、辨務官州であつて面積七、〇四八・六平方キロ、人口五六〇萬二千、首都はアジメールである。氣候は比較的良く降雨量もあり、玉蜀黍小麦、棉花等の農業が行はれてゐる。

アジマイガル Ajaigarh (インド)

聯合州、アラハバードの西南二〇九キロ、土侯國で面積二、〇七三平方キロ、人口九萬、同名の首都がある。九世紀ごろから

丘陵上の要塞地となり、ジエーン教の廢址などがある。

アジヤンタ Ajanta (インド)

ハイデラバード藩王国、ゴムベイの北方二六〇マイル、ジャル・ゲーオン驛から東南三七哩のタプティ河支流に臨む地點で、世界に有名な石窟寺がある。石窟は河に面し二十八を數へ紀元前二世紀ごろよりの建築、彫刻、壁畫をもつて埋められ、エロラの洞窟とともに世界美術の寶庫といはれる。

アジメール Ajmer (インド)

ラーヂプタナ藩王諸國により圍まれる直轄領アジメール・メーラワラの首都で、人口十一萬三千餘、ゴムベイ=パロタ、中央印度兩鐵道の交叉點でデリーの南西三六七キロ、ワラガル丘陵の麓にある。附近は灌漑の便は渺いが、玉蜀黍、麥、棉花の産があり、その集散地、附近に鑛山があつて銅、鐵、石綿、雲母の産があり、石材、紡績、捺染及び染色、工業が行はれてゐる。市はアクバル帝が建設したもので、宏壯な回教寺院やジャイナ

教の殿堂がある。西方五マイルの地點にはプシカラ湖があり、年々十、十一兩月に數十萬の巡禮者が集つて沐浴する。

アシュバートン Ashburton (ニューゼーランド)

ニューゼーランドの南島カンタベリーの都邑である。アシェバートン河に沿ひクライストチャーチ市の南西八十五キロに位してゐる。人口は約三千である。小麦の集散地。

アシュバートン河 Ashburton River (漆洲)

西オーストラリア州の北西にある河川で、源を南緯二十四度三十分、東經百二十度二十分の高原地に發して北西に向ひ、東經百十五度に近いオンスロー Onslow に至つて印度洋に注ぐのである。全長約八百キロである。

アストリアス Asturias (比律賓)

比島セブ島の西岸にあり、人口二五、四六八(一九三九年)附近に少量の石炭を産す。

アタムプア Atamboea (小スンダ列島)

ナモール島飛行場所在地。

アタププー Atapepoe (小スンダ列島)

ナモール島行政官の駐在都市。

アダム灣 Adams Bay (漆洲)

北オーストラリア州の北部にあり、クラレンス海峽に面して奥行十キロ、幅十六キロの小灣である。

アダムス・ブリツチ Adams Bridge (インド)

印度半島とセイロン島と間に數個の島が横はり、橋の如き様を示してゐるのでこの名がある。同橋の北はボーク海峽、南はマナール灣で鐵道はセイロン側かマナール島突端まで走り、それより船で連結してラメスワラム島に到れば、同島から印度半島までは更に鐵道によつて結ばれてゐる。

アダムス・ピーク Adams Peak (セイロン)

セイロン島中央部の山で、海拔七、三六〇呎、セイロン第三の高峰で佛教徒は聖峰として信仰してゐる。山頂に釋迦の足跡と云ふ凹みのある巨岩がある。

アチャワイ島 Ajawai (ニューギニア)

舊蘭領マノクワリ北方にある小島。

アチエ州 Atjeh (スマトラ)

北端に位置し、面積五萬五千平方呎、人口七十八萬人で行政官としては知事が首府タラガヤに置かれてゐる。この地方にはアチエ族が住んでをり、以前はオランダの主權を認めず頑強に抵抗しオランダが一八七三年に宣戦して卅年後一九〇四年に遂してやうやく征服せられた。住民懐柔のため自領が置れてゐる。産物としてゴム、茶、油椰子、麻、檳榔樹實、胡椒、木材、鹽、金、銀、白金等を産す。

アチエ油田 Atjeh (スマトラ)

アチエ州南東隅 ある油田で東海岸州に連なり、ランタウ・ブールーラ、オースト・アチエー、パセ油田等からなり一九四〇年の産油は七十六萬四千担。

アツサハン河 Asahan (スマトラ)

東海岸州ピラ河北方の河で、トバ湖を源としてマラツカ海峽に

注ぐ、同河より北方の平野をア
リ地方と稱する河口にタンナユ
ンバライ港がある。

アツサム州 Assam (インド)

ブラマプトラ河上流ビルマ國境
地方で、知事州、面積一七五、
〇六八・四平方キロ、人口九、
二四七萬九千、石灰岩、石炭、
石油の産が多く。土地は豊沃で
茶、米、黄麻、棉花の産がある。
雨が多く世界の最多雨地として
知られてゐる。シロングがその
首都となつてゐる。

アツソンソング島 Assongsong
Is. (太平洋諸島)

我が委任統治領マリアナ諸島中
の一島嶼にして同諸島中最高の
海拔九百九十五メートルの活火
山あり。椰子多く、島上にはバ
バイヤ、バナナ多し。

アツサム=ベンガル鐵道 Assam-
Bengal Railway (インド)

ベンガル州の東南海岸たるチタ
ゴングを起點としスルマ谷を經
て北部のカーチエル丘を横斷し
てアツサム州に入り諸都市を結
んでゐる。全長一、六四〇軒。

アツテル湖 Atter Lake (濠洲)

北部オーストラリアにある湖沼
で、一にカムメルセーと呼びヨ
ンツの南西六十四キロにあつて
長さ十九キロ、幅三キロ。その
北端からトラウン河が流れ出
る。最深部二百二十米である。

アデイ島 Adi (ニューギニア)

舊蘭領ボンベライ半島南端東方
の島で、以前は鐵木が輸出され
た。

アデウマ島 Adoema Is. (ニュー
ギニア)

舊蘭領ボンベライ半島西方ツウ
リトン灣入口の島。近海より高
濃貝の産あり。

アティウ島 Atiu Is. (太平洋諸
島)

ニューゼーランド委任統治領ク
ツグ諸島の一島で、面積七十平
方キロ、人口千五百、同島に無
電塔あり。

アデレード Adelaide (濠洲)

南オーストラリア州の東南に位
し、ヴィクトリア州との境界に
近く、セント・ヴィンセント灣
に面し開港場である。人口は三
十二萬二千八百九十八人(一九
三九年調)

市の中央を東西にトーレンス河
が貫流し、市街はそれを境界に
南北アデレードに區分されて、
その間に四つの橋がかかつてゐ
る。鐵道及び海運の重要交通地
點で、市の南東地區にはマウン
ト・ロチー山系が横はつてゐ
る。春夏秋冬とも百花繚亂。山
系の斜面には各種の果樹が栽培
され、市の内外は風光明媚、山
紫水明である。

都市計畫は理想的で、中央部は
官衙、商店、會社等あり、その
周圍は廣大な公園で、その外周
に住宅地域を形成してをり、ア
デレードの大工場地帯は市と港
との中間の平原に發展してゐる
アデレード大學は一八七四年創
立せられ、メルボルン大學シド
ニー大學と共に濠洲の三大學と
稱せられてゐる。アデレード東
南部一帯はヴィクトリア州から
續いてゐるマレー盆地に屬して
ゐるのでマレー河の灌溉により
果實、殊にオレンジ、葡萄の栽
培が盛んで、牧羊、牛、馬、豚
の飼養も盛んである。この地の
葡萄酒は濠洲の代表的美酒。

アドナラ島 Adonara (小スンダ
列島)

ロンブレン島北西岸にあり、近
世紀までロンブレンとは陸続き
であつた。しかし地塊の陥没に
よりホーレンダ海峽を生じ現在
の如く別個の島となつた。

アドミラルティ灣 Admiralty
Gulf (濠洲)

西オーストラリア州キンバーリ
ーの北に沿ひ、北緯十四度、東
經百二十六度に位して北口に開
口してゐる。

アドミラルティ島 Admiralty
Is. (太平洋諸島)

ビスマルク群島中の一島嶼群で
全面積六六三平方キロ、人口約
一六、〇〇〇人で、一六一五年
蘭人シユハウテンの發見にかか
り、一七六七年獨逸軍艦スワロ
ー號が來り占領した。同群島中
の最大のものは七百平方マイル
のマヌス島である。ビスマルク
群島中最も教化された島。

アドンロン Adung Long (ビル
マ)

最北の一邑。イラワヂ河の上流
ママ河畔にある。

アトック Atock (インド)

北ベンガール地方最大の油田地帯で、年約七六〇萬ガロンの産油量がある。

アドニー Adni (インド)

マドラス州、ハイダラバード國境に近い都市で絹布、絨氈、綿布の産あり、人口二萬八千。

アナムコ島 Annamuko Is. (太平洋諸島)

英國保護領トンカー群島中の一人口約三千で大部分プロテスタント教徒である。ナムカ島(ノムカ島)又ロツテルダム島ともいふ。

アナタハン島 Anatahan Is. (太平洋諸島)

マリアナ諸島中の一。島地は平原で、七百一八百メートルの二つの死火山あり、植物の生育よく燕麥、甘蔗等生育す、コブラの産出多し。

アナンタプール Anantapur (インド)

マドラス州、マドラスの北西三四〇キロ、産金地として有名。一九一〇年採掘が開始され同年には二五三二オンスを産出した

が、漸次減少し、今日では餘り重要ではない。人口一萬。

アナイムデイ山 Anaimudi Peak (インド)

印度半島南端アナイマライ丘陵にあり、南インド第一の高山で海拔二、六九七米。

アナイマライ丘 Anaimalai Hills (インド)

印度半島南部の丘陵で、西ガッツ山脈の一部をなし、アナイムテナ山(海拔二、六九七米)は南印度の最高峰となつてゐる。丘陵の低地はチーク材、茶、コーヒーの栽培が行はれる。

アナカバル Anakapalle (インド)

マドラス州、ヴィザカパタムの南西二九料、ベルガル=マドラス鐵道沿線にあり、砂糖、棉花を輸出し、農産物の取引地である。人口二萬一千。

アニエルロル Anjer Lor (ジャバ)

西部ジャバ省バンタム州西北にある小都。バンタム鐵道がナルゴンより分れ同地を通りアニエルキドウルに通じてゐる。

アニエルキドウル Anjer Kidool

(ジャバ)

西部ジャバ省バンタム州西北にある小都邑でバンタム鐵道(パタビヤ=メラツク)支線の終點になつてゐる。

アヌラーダプラ Anuradhapura (セイロン)

セイロン島、人口七千余、中北州の首都であるが、西紀前四六七年から一二五〇年の間王都であつた。セイロン第一の古都で古跡に富んでゐる。

アパワアル河 Apawar R. (ニューギニア)

舊蘭領、マンベラモ河東方を流れる河。

アバリ Apari (比律賓)

ルソン島北部カガヤン州、カガヤン河に右岸にあり、人口二六、三四三(一九三九年調)開港場臺灣の高雄との間に定期船便あり、郊外に飛行場あり。煙草を産す。

アバカ諸島(別名トレス諸島、ヴァヴァ) Abaka Is. (Torres Is.) (Vava Is.) (太平洋諸島)

ニューヘブリデス諸島最北の島

嶼で、アバカ島とはトレス島の俗稱であるが、土語ではヴァヴァ島といふ。一六〇六年佛人ボーガインゾオーユの發見に成る)

アバイアング島 Abaiang Is. (太平洋諸島)

英國直轄植民地ギルバート諸島中の一、長サ十六マイル、幅五マイル、礁湖は好投鎗地となる。同島にはローマンカソリツク教會あり、島内で印刷も行はれてゐる。

アピア港 Apia (太平洋諸島)

英領サモア諸島北岸にあり、政廳の所在地でその絶景は有名であり、曾て一八八九年大颶風が襲つて同港内の獨米艦船を沈没せしめ、また一八九九年米英軍によつて當時獨領だつた同港が攻撃を受けたことがある。現在無電局あり、基地となつてゐる。

アプスリー海峡 Apsley Strait (濠洲)

オーストラリア大陸の北方アルンヘムランドの北西にあるメヴィル島とバサーストの間の糸の様に細い海峡である。延長は七

十四キロ。幅二キロ乃至六キロであつて、沿岸にはマングローブが密生してゐる。

アブラ洲 Abra (比律賓)

ルソン島にあり、面積三八二〇平方キロ、人口八七、五一一(一九三九年) 住民はキリスト教徒のイロカノ族のほかにはインギアン蕃族あり、米、煙草、麻、玉蜀黍、砂金等を産す。

アブルグ河 Abulug (比律賓)

ルソン島カガヤン州にあり、長さ五十マイル、十マイル地点まで汽艇通航可能である。

アブヨツグ Abuyog (比律賓)

レイテ島東岸レイテ湾に臨む。人口四萬、兵營あり。

アブラ河 Abra (比律賓)

ルソン島第三の長流で約百八十マイル、アブラ州にあるが、その源はイロコス・ノルテ、マウンテン・ブルグインス、ノロコス・スノルの諸州に發してゐる。

アブ山 Mt. Abu (インド)

ラーシプターナ地方、アラバリ山脈中の高峰で、海拔三、九三〇呎。

アベベ島 Abebe (ニューギニア) 舊蘭領、クルドウ島の別稱同項参照。

アベママ島 Abemama Is. (太平洋諸島)

英國直轄植民地ギルバート諸島中の一島嶼、タラフ島の西南に當り、約五百トンの船を收容しうる。

アポ山 Apo (比律賓)

ミンダナオ島のコタバト、ダヴァオ兩州に跨り高さ三、一四三メートルで比島第一の高山にして火山である。硫黄を産す。

アマラプラ Amarapura (ビルマ)

人口七千(一九一一年) マンダレーの南方六哩半、一七八三年創建されたビルマ王國の舊王都であるが、現在は廢市となり事實上マンダレーの郊外となつてゐる。多數の彫像師が住んでゐる。古い佛塔が多い。

アマハイ Amahai (モルツカ群島)

群島南方のセラム島南岸の港。

アマル湖 Amaro L. (ニューギニア)

フォールコプ半島中部にある

湖、同湖からの排水は地下を南へ流れ中途よりカリス河となる。

アマデウス湖 Amadeus Lake (濠洲)

オーストラリア大陸の中部、南緯二十四度三十分、東經百三十度に位し、北西より南東に向つた細長い鹹湖である。長さ三百二十キロある。一八七二年シルス氏が發見したもの。行政的には北オーストラリア州に屬してゐる。

アマラヴァティ Amaravati (インド)

ホムベイ州、キストナ河に臨むベズラダ市の西方十七マイルの地點にあり、佛教の遺跡として有名だが、第十九世以來荒廢甚だしく、遺品は全部ブリテイッシュ博物館及びマドラス博物館に收められてゐる。

アマルカントク山 Amarkantak Mt. (インド)

中央州と中央印度の境に聳ゆる高山、海拔三四九三呎

アミデール Armidale (濠洲)

ニューサウスウエールズ洲の都

邑で、サンドン地方に屬し、シドニーの北方鐵路五百キロ、海拔千米のニューイングランド高原にあつて羅馬教監督區の首都である。牧畜、農業が盛んで、砂金、アンチモニー、ウオルフラム礦の産出が多い。人口は約六千。

アムブリム島 Ambrim or Ambrym (太平洋諸島)

ニューヘブリデス諸島中の島、全面積六四四平方キロ、沃野耕地に富む。

アムステルダム島 Amsterdam Is. (太平洋諸島)

一六四三年オスマンがこの島に來航して命名したといはれる。トンガタプ島参照。

アムラン港 Amurang (セレベス)

セレベス島メナド州ミナハサ地方南北海岸にある。コブラの輸出港。

アムンタイ Amoenai (ホルネオ)

舊蘭領、南東ホルネオ州南部スカリ河上流の部落。

アムバラワ盆地 Ambarawa (シ

ヤソ)
 中部ジャワ省スマラン州スマラン南方約卅軒のところにある四方山岳に囲れた盆地で、米、甘蔗苗、カカオ、煙草、野菜を産す。

アムバン Ampang (マレー)
 マレー半島ペラ州にあり。附近はタンダステン産出地帯として有名。

アムボン岬 Ambong (ホルネオ)
 舊英領、北ホルネオ西海岸にある小岬。

アムベルボン島 Amberpon (ニューギニア)
 舊蘭領、フェールフィンク灣西海岸に近き島。

アムボン Ambon (モルツカ群島)
 アンボンの項参照。

アムブングアン山 Ambubungan (比律賓)
 ルソン島マウンテン・プロヴィンス州にあり海拔一、〇七九メートル、その東北二キロにアキ山(一、四三二メートル)ある。

アムバイ島 Ambai Island (ニューギニア)

舊蘭領、ヤーベン島の南にある小島。

アムバラ Ambala (インド)
 バンシアー地方と聯合州の州境に近く、アリーの北北西二五四キロ、穀物、棉花の集散地で重要な軍事據点である。人口七萬六千。

アムラオチ Amraoti (インド)
 中央州、ナーグプールの西方一五〇キロ、人口四萬五千、棉花産地である。ペラール地方の中心地で附近には繰綿工場が多い。

アムリツアル Amritsar (インド)
 ハンシアー州の首都ラホールの東方約三〇キロの地点にあり、人口二十六萬余、シーク教の宗教的靈地として一般に知られてゐる。附近には小麦、棉花、羊毛等の産があり、それら物産の集散地である。工業が盛んで絹織物、象牙細工、カーペット、綿紡織、綿プレス、ガラスの諸工業が行はれ、特にチベット綿羊の毛を原料とする肩掛の紡織工業は世界的に有名である。毎年四月、十一月には大規模な市場が開かれ、商人はトルキス



タンのアハラ、アフガニスタンのカブール、カシミール方面から集つて来る。

一九一九年四月ローラツト法案に反対して群衆と軍隊が衝突、五千の群衆に英軍が発砲し、五百名の死者と二千名の負傷者を出した所謂アムリツアル事件のあつたところでもある。

ア—メダバード Ahmadabad (インド)

ボムベイ州ボムベイ市の北四五キロのサバルマティ河畔にあつて、人口三十一萬余、一四一一年スルタン・ア—メツド一世により建設されたもので、一五七三年から一六〇〇年まで印度でもつとも繁榮した都であつた。綿織物工業の中心地で市内に約百ヶ所の工場がある。絹織物、金銀細工、毛布等の産があり、農産物の集散地でもある。

アユチヤ Ayuthia (タイ)

メナム河畔の舊都。人口三萬余「ウ—トン」王によつて建てられた舊都は當時威勢隆々と四隣を歴したが、一七六五年ビルマ大軍の包圍を受け、交戦二年の

後落城し、恐しい大虐殺が行はれ、メナム河を屍で埋めたと傳へられる。それより先慶長、元和の頃には日本人町があり、山田長政等は武名を輝かせた歴史的由緒ある地であるが、今は廢墟と化してゐる。メナム平野の中心に位するため米、木材等の一大集散地であり、兵營、官衙博物館等がある。

アユチヤ州 Ayudhya or Ayuthia

(タイ)

タイ國南中部樞要の地を占める一州(舊政治區劃)州内をメナム河が貫流してゐる國內一の米産地帯で作付反別、産額ともに最大で全國の二五%を占め、タイの穀倉と言はれるのみならず果實、豆、野菜等の農産物を豊富に産するほか黒檀、紫檀、タカヤサン等の林産物を豊富に産する。

アラス地方 Alaslanden (スマトラ)

アチエ州南部の高原、原始林多く住民は所々に部落をなす。

アララツト Arara. (濠洲)

ヴィクトリア諸高地の西部、メ

ルホルンの西方に位し、ボブキンス河に近く、メルホルンの西北西鐵路二百九キロの地點に在る。附近にグラムピア山脈あり、濠洲特産の品種の植物が繁茂してをり、植物學者にとつて特に重要視されてゐるところ。アラツトはその登山口にあり。賑はつてゐる人口は五千四百十人（一九三九年調）此の町の近郊は乾燥地帯で、波状高原と稱し小麦の成育に好適の地といはれてゐる。葡萄園多く、又牧場發達し、木材の取引も盛んでありその他金、粘板岩、石鹼、皮革等の産出が多い。

アラヤツト山 Arayat (比律賓) ルソン島パンパンガ州の北部にある休火山で、三山より成りマニラ灣から望見される。山腹に國立公園がある。

アラマガン島 Alamagan Is. (太平洋諸島)

マリアナ諸島中の一で、面積八平方キロ、標高七百メートルの休火山あり、西岸北方に温泉あり。

アラヌカ島 Aranuka (太平洋諸

島)

英國直轄植民地、中部ギルバート諸島中の一島嶼で、長さ六マイルの一珊瑚礁上にある二十八の島から成つてゐる。部落「ブアリキ」に政廳駐在所がある。

アラカン管區 Arakan (ビルマ) アキヤブを首都とし、アキヤブ縣、チャウビユ縣、アラカン縣、サンドウキー縣にわかれてゐる。

アラカン・ヨーマ Arakan Yoma (ビルマ)

ヨーマは山、連立の意味。印緬間の天然の境界を成してゐる。波状の凸面を印度側に向け、その南部はベンガル灣の岸に沿つてネグレイス岬に終つてゐるがその延長はアンダマン、ニコバル兩島に及んでゐる。第三紀の褶曲山脈で三千米の高峯がある。クロム等の有用礦物がある。

アラハバード Allahabad (インド)

聯合州、シムナ河の左岸に位し人口八萬五千、一時政治の中心地であつた、現在ではルタナワ

に移り宗教的な意義のみの都市となつた。一、二月にはヒンズー教徒の巡禮地として賑ひ、市場が開かれ、アクバル帝の建造した城址や有名な勝利の塔など古蹟が多い。この地方一帯は地味肥沃で米、甘蔗、大麥、小麦種子類等の農産物が豊富である。交通の要衝で、これ等農産物の集散地であり、印刷、製糖製粉、製油、製革工場がある。

アリススプリングス Alice Springs (濠洲)

北オーストラリア州の中央部南緯二十五度弱、東經百三十度十五分、フィンク河の左岸に位した中心地であり、東南方にアラランド沙漠がある。南オーストラリア州のポートオーガスタから南北横斷鐵道が通じてゐる。アアレド=ポートダーウイン間の定期航空路の中間空港がある。北濠南部地方の主要植民地で急速に發展しつつあり、官營發電所、病院、住宅などが立並び町の美化には周到な注意が拂はれ、水利の便よく、清潔な都市である。

産業としては、牧畜と鑛業が盛んである。牧畜は適當な雨量に恵まれ、羊牛等の飼養が盛んである。金、ウオルフラム、雲母等の鑛産物の産出多く、金は主としてテナントクリーク、マンモス、ライツングサン等から産出する。ウオルフラムはロウユープクリとクンハツチスクリークで産出する。

アリーガル Aligarh (インド) 聯合州、アグラ市の北八十八キロ、回教大學があり、回教徒の靈地として有名。棉花、穀物、インチゴの取引が盛んである。人口は六萬七千。

アルファツク山 Arfak (ニューギニア)

舊蘭領、フォーヘルゴツプ半島東北にある山で、標高二九五〇米、この山麓地帯に住む土人をアルファツク人と呼ぶ。

アルフル海 Alfoor Sea (濠洲地中海)

サマール陸棚の一部をなす淺海で蝶貝が獲れ、日本漁業人の活躍舞臺であつた。英稱はアラフラ海である。

アルグニ Argueni (ニューギニア)

舊蘭領、ボンペライ半島東側に細長く北方に入り込んだ湾。

アルバトロスピアク Albatros Bivak (ニューギニア)

舊蘭領、北部マンベラモ河中流にあり、一九二六年ハイチ氏がここを根據地に飛行機探險を行った。

アルバトロス島 Albatross Island (濠洲)

オーストラリア大陸ヴィクトリア州とタマニヤ島との間にあるバス海峡の一島で南緯四十度二十二分、東経百四十四度三十九分の地點にある小島である。

アルバート河 Albert River (濠洲)

クイーンズランド州の河川で、ニコルソン河とグレゴリー河の結合によつて出来てをり、バルク市を過ぎてカーペンタリヤ湾に注いでゐる。

アルベルガ河 Alberga River (濠洲)

オーストラリア大陸の北端に横はるマスグレーヴ山脈 Musgr-

ave Range の南側に發し、上流をメリーヤト河 Marryat と呼び南東に向ひ消失するが、雨季にはフィンク河に注いで、エイア河に合流してゐる。

アルネムランド半島 Arnhemland Peninsula (濠洲)

北オーストラリア州の北方に突出する半島で東方カーペンタリヤ湾と西方アンソン湾との間に位して東西の幅七百五十キロに及び、北方が屈曲し、沿岸は出入に富んでゐる。

アルベリー Albury (濠洲)

ニューサウスウエールズ州の中央低地に屬する町、マレー河汽船航路の終點である。對岸はヴィクトリア州である。人口一萬一千二百五十人、附近一帯は小麦の栽培が盛んで、羊、煙草、葡萄酒の取引が盛んである。大堤防を算して、マレー河を堰止めて下流農田に灌溉してゐる。

アルバニー Albany (濠洲)

西オーストラリア州の南部海岸西方にあり、キング・ジョージ湾に面しバースとの間に鐵道が通じ五百六十六キロを隔ててゐる。

る。人口は四萬四百七十人(一九三九年調)北部東西に亘つて森林地帯、小麦地帯、牧畜地帯が展開してをり、小麦、木材、羊毛等が相當多量に産出する。氣候良好で避暑地であり、西オーストラリアの最優秀港である。現在ではフリーマントルにその盛況を奪はれたが、尙アフリカと汽船を通じ、貿易は盛んである。

アルバートン Alburton (濠洲)

ヴィクトリア州の海岸町、メルボルンの東南部シツプス・ランド丘上の主要中心地で、バス海峡に臨んでゐる。人口は約三千人(一九三九年調)推定郊外は雨量潤澤で、森林が繁茂し、木材の伐採も盛んであり、牧畜業殊に牧羊と酪農業がその重要さを増し、バター製造工場が活況を呈してゐる。

アルバイ州 Albay (比律賓)

ルソン島アルバイ半島にあり、面積三、九九六平方キロ、人口四三三、八〇三(一九三九年)産物、石炭、石膏、米、麻、煙草、椰子、砂糖、パイナップル

ゴム、在留邦人八十九名(一九三九年)

アルガオ Argao (比律賓)

セブ島の東南部にあり、人口三七二四四(一九三九年)對岸ボホール島ローンとの間に海底電線あり、著名な海水浴場で小船舶の碇泊可能。

アルモラ Almora (インド)

聯合州、北西部、同名地方の中心地でネパールに近い。アルモラ丘陵の端にあり、海拔一、六七〇米の地點にあり、英領となつてからも數十年の間住民は反抗をつづけたが、一八一五年に敗れて英領となつた。人口一萬。

アレクサンドリヤ Alexandria (濠洲)

ニューサウスウエールズ州の都邑で、シドニー郊外にある。人口は約一萬である。羊毛整理とガラス工業が盛んな土地である。

アル—諸島 Aroe Islands (小スンダ列島)

オーストラリア大陸の北方にあり、南緯五度二十分乃至六度五十五分、東経百四十三度十分乃

至同百三十四度四十五分に位しニューギニアの南西二十九キロにある。最大の島を Tanah Besar「大きな土地」と呼び、長さ百三十キロ、幅七十二キロ。狭い海峡によつて数個に切斷されてゐる。群島の東方には珊瑚礁が多く、住民はバプア族が主なもの、多少キリスト教に歸依してゐるものもある。眞珠、眞珠貝、蟹甲、極樂鳥等が産物として出、オカム Wokam が首邑である。

アル—灣 Aroe Bay (スマトラ) 東海岸州北境近くの海岸にあり石油積出港。バカンランススーがある。

アレキサンドラ Alexandra (ニュージージーランド) 南島南部オタゴ地方の山間部にあり、クロムウェルとともに林産の主産地である。

アレンドル Allendale (濠洲) ヲイットリヤ州の都邑、タルホット地方に属してゐる。メルホルンの西北西百二十キロの地點にある。

アレツビイ Alleppey (インド)

トラヴァンチコール王国の都邑、コチン市の南方五十三キロの地點にあつて珈琲、ココ椰子、香料等を輸出してゐる。人口二萬六千。

アロール島 Alor (小スンダ列島) 小スンダ列島北列に属し、フローレス島東の島、オンガイ島とも云ふ。面積二三五〇平方軒、僅少のマレーバプア族が居住し特に肉荳蔻を産す。

アロラエ Arorae (太平洋諸島) 英國直轄植民地、南邦ギルバート諸島中の一島嶼で長さ四マイル、幅二マイル程度、政廳駐在所の部落「タリホ」には商店もない。

アロースター港 Alor Star (マレー) ケダー州北西海岸の開港市で、舊英領時代には海峡汽船會社の小帆船が寄港してゐた。無電局がある。大東亞戦争に際し皇軍マレー部隊は十二月十三日同地を占領した。

アロロイ Aroroy (比律賓) マスバテ島にあり、人口三一、二五〇 (一九三九年)

ア—ロン Alon (ビルマ) サガイン管區チンドウイン縣にあり、鐵道により北はイエ・ウに、東はサガインに結ばれる。木材集散地として重要である。ア—ロンから放流した木材はチンドウインの谷を下つてバコツクからラングーンまで達する。

アロン灣 Aleng (佛印) 佛印のトンキン海岸にあり、石灰岩性の小島嶼が集合して勝景の地として知られる。なほ同灣附近は硝子原料たる硃砂を産する。

アン河 An R. (ビルマ) アラカン地區のチャウクビュー縣を流れる。

ア—ガウル島 Augaur Is. (太平洋諸島) 我が南洋委任統治領パラオ群島の南端にあり、南北四キロ、東西三キロ半、海拔卅—四十メートルの扁平な島で、燐礦に富む南洋廳の採礦所として有名だつたが、今は南洋拓植の直轄である。

ア—ガツト河 Angat (比律賓)

ルソン島アラカン州にあり、マニラ灣に注ぐ長さ三十マイル、附近の山中に鐵を産す。水力發電の可能性あり。

アンナトム島 Annatm (太平洋諸島) ニューヘブリデス諸島中最南端の一島、ナンナ島と共に同島には活火山あり、五十年の昔には一萬二千の島民が住んでゐたが性病に斃れて現在五百人に激減してゐる。

アンバラントタ Ambalantota (セイロン) セイロン島南岸、ワラウエ・カンガの河口にある小邑。

安南 Annam (佛印) 一八八四年の條約で佛國の保護領となる。佛印の東部を占め面積五六、九七三平方マイル、人口六、二一一、二二八 (一九三九年) 産物は米を主とし、その他棉花、煙草、砂糖、竹、木材、コーヒー等、礦産物は金、銅、亜鉛、石炭、鐵等、一九三八年の輸出高一—二、八五九、〇〇〇フラン、輸入高四七、七三八、〇〇〇フラン。

安南保護領は次の十六州および二市から成つてゐる。

ビンダイオン、ビンチユアン、ダ
ムラク、ハチン、オートドナイ、
カンホア、コンタム、チアン、
ファンラン、フエン、カンビン、
カンナム、カンガイ、カンチ、
タンホア、チュアチエン
市ツーラン、タラト

安南山脈 (佛印)

佛印安南を蔽ふ山脈で南方は交
趾支那まで延長してゐる。安南
山脈は海岸に極めて接近してを
り、東部斜面は屹立したまま海
中に終つてゐる。西部の斜面は
それと反対に緩らかな傾斜とな
つてメコン河の流域に落ちてゐ
る。その小丘の一部は西方に延
びボロヴェンの丘などはメコン
河を渡つてメナム河に達してゐ
る。大體ここにある峰は七八百
米の高度を保ち、アイ・ラオ以
南では高度を増しアトウア山は
最も高く二、五〇〇米に達し、
ヴァレラ岬近くにあるメル・
アツア山は二、〇五一米を
示してゐる。

アンコール Angkor (佛印)

佛印カンホジャ西北、タイ國境
に近く存在し、一八六一年佛人
ムーオーが附近のジャングル地
帯にクメール族の首都の遺跡を
発見した。その中で最も有名な
のはアンコールワット(寺院)
で三層の樓閣、四方の寶塔も佛
像もそのままにクメール族の文
化をしのばしめる。

アンダマン群島 Andaman Islands (インド)

皇軍は昭和十七年三月二十三日
占領した。

ベンガル灣の東側に横たはる諸
島でカンチス河口の南方約六八
〇哩、ビルマのネグレース岬か
ら約一二〇哩の地點にある。大
アンダマン群島は南北約一五〇
哩、東西約二〇哩、そのうちに
北、中央、南アンダマンの三島
とトランド島を包んでゐる。小
アンダマン諸島は大アンダマ
ンの南三〇哩の地點にあり南北
二八哩、東西一七哩、アンダマ
ン群島とはこの大、小兩群島と
東方のレイチ諸島を加へて約二
百の島々から成り、總面積二五
〇八平方哩である。

十八世紀に英國が領有し、一八
五八年印度政廳の管轄下に編入
した。

大アンダマンは丘陵多く最高八
百米に及ぶものあり氣候は印度
本土同様モンスーンの影響下に
あり一般に熱帶的季節風の氣候
と赤道的氣候の中間である。

總人口約二萬一千で住民の大部
分は南アンダマン島の首府ポー
ト・ブレア附近に住んでゐる。

ブレア港は自然の良港で戦前、
ランゲーン、カルカッタとの定
期船があつた。

椰子、ゴム、マニラ麻、茶、砂
糖の栽培が行はれ山羊の飼育も
行はれてゐる。ポート・ブレア
には印度政府の大きな獄舎があ
り政治犯その他の重大犯人を収
容してゐた。

アンゲレス Angeles (比律賓)

バラワン島中央北部にあり、人
口三〇、五四三(一九三九年)
米の集散地。

アンティケ州 Antique (比律賓)

バナイ島にあり、面積二、六一
八平方キロ、人口一九九、三三
〇(一九三九年)米、砂糖、コブ

ヲを産し近年クロム鐵が採掘
されてゐる。

アンソン灣 Anson Bay (濠洲)

北オーストラリヤ州の北方、南
緯十三度十五分、東經百三十度
に位し、西方に開口してをり、
灣頭にダリー河 Daly が横はつ
てゐる。

アンドーン Angihong (タイ)

中部タイの都市で、商業の中心
地、根を集散する。

アンコラ河 Angkola R. (スマ トラ)

スマタラ州南部ガテイス河支流
で附近は良質コーヒーを産して
知られる。

アンダイ Andai (ニューギニア)

舊蘭領、マノクワリの南方の小
部落。

アンギ Anggi (ニューギニア)

舊蘭領、マノクワリ南方アルフ
アク山とリナ山の中間にある湖
で、アンギ・ギイ湖とワアルマ
シン・アンギ・ギタ湖の二湖よ
りなり海拔約一九〇〇米の所に
ある、兩湖はアンギ雌雄湖と稱
し附近は風光明媚、避暑地とし
て有景観されてゐる。

アンラムス島 Angra Meos (ニューギニア)

舊蘭領、フェールフイニング灣南部西岸近くにある小島。

アンペン港 Ampenan (小スンダ列島)

ロンボック島西岸にある首邑で良港であり、農産物、畜産物の輸出港である。

アンバラワ Ambarawa (ジャバ)

中部ジャバ省スマラン州南西部アムバラワ盆地にあり、蘭印鐵道(チョクヂーウイレム一世)の終點、ウイレム一世城があり現在兵營がある。

アンボン島 Ambon (モルツカ群島)

群島南群に属する島、同島は元來ヒューとライチモール兩島からなるがそれが東部に於いて僅か高さ一米の狭い砂洲によつて繋つてゐる。同島は森林に富むが特に椰子およびサゴ椰子が多く、古くより香料群島の根據となり丁香、肉荳蔻を歐洲方面に輸出した。

アンボン分州 Ambon (モルツカ群島)

モルツカ群島中南群、中群を包括統治し政廳はアンボンにある人口は一九三〇年四十萬六千四百十二人。

アンボン Ambon (モルツカ群島)

群島南部アンボン島にあり、アンボン分州の首府、椰子園の中に美しい家屋を有する住宅都市であり優秀な碇泊地であり、モルツカ中の最重要商港で、セラム島のサゴ、各島のコブラ、カカオ、海參がここに集まり輸出される。また同地はアンボイナと稱せられてゐた。海拔四米、年平均気温二六度六分。

アンボイナ Amboina (モルツカ群島)

アンボンの別稱、同項参照。

アンディル Andir (ジャバ)

西部ジャバ省アレマンゲル州、バンドン附近にあり航空部隊の所在地。

イの部

イアミ島 Y'Ami (比律賓)

フィリピン陸北の無人島、バタン州に属す、面積一平方キロ。

イエ Ye (ビルマ)

モールメーン、イエ鐵道の南方終點である。

イサベラ州 Isabela (比律賓)

ルソン島東北部、面積一〇、四九四平方キロ、人口二二〇、〇八六(一九三九年)住民は基督教徒イボノグ、イロカノ族の他にネグリト、カツダング族あり、産物は煙草、米、木材、牛馬等在留邦人二九(一九三九年調)

イサベル島 Ysabel Is. (太平洋諸島)

英領ソロモン群島、フロリダ島の北西にあり、高山は緩い傾斜を成して海岸に達してゐる。椰子園多くコブラの産出大なり。本島民はソモロン群島中でも最も好戰的な種族だが今は温和になつてゐる。

イーストアリゲートル河 East

Alligator River (濠洲)

北オーストラリア州北部アラフ

ラ海に臨むファンデーメン灣に注ぎ五十キロ餘舟運が可能である。

イスバヤット (イトバヤット)

Isbayat (Ibayat) (比律賓)

北緯二〇度四五、東經一二一度五二、バタン州に属す、面積六十八平方キロ、人口一、六二五。(一九三九年調)

イチエン山 Idjen M. (ジャバ)

東部ジャバ省オーストフック(東端)ブスキ州にある火山、標高二七九九米。火口原は大きい。北部にコーヒー園、南部に牧場がある。

イチャプール Ichapur (インド)

ベンガル州カルカッタ近郊、印度軍當局の鐵鋼工場がある。

イヂー Idi (スマトラ)

アチエ州東北岸にある港で同地には飛行場がある。

イデンプルグ山 Idenburg (ニューギニア)

舊蘭領雪山脈カルステンツ山の西方の高峰、標高四六五五米、年中雪におほはれてゐる。

イトバヤット Ibaya (比律賓)

イスバヤットに同じ、同項参

照。

イナバング Inabanga (比律賓)

ボホール島西北方にあり、人口二三、九三〇 (一九三九年)

イバハイ Ibajoy (比律賓)

比島バナイ島カピス州にあり、人口二二、七四四 (一九三九年)

イポー (一保) Ipoh (マレー)

マレー半島南ペラ州大平野の中央にある商業都市で人口五萬四千、町はペラ河によつて新舊兩市街に分れてゐる、ペラ州は錫産地として有名であり錫鑛の開発は支那人が先驅者であつた關係上、支那人富豪の住む者が多い、附近に有名なキンタ地方の錫鑛山を控へてゐる。

大東亞戦争に際し皇軍は十二月二十八日同地を占領した。

イヤン火山 Ijang (ジャバ)

東部ジャバ省、オーストブツク (東端) プスキ州の火山で火口は荒れてゐる。

イラワヂ管區 Irawaddy (ビルマ)

バセインを首都とするビルマの行政區劃、バセイン、ヘンザー

ダ、ミヤンミヤ、モーピン、ピヤボンの諸縣を含む。

イラワヂ河 Irawaddy (ビルマ)

水源は地理學上謎とされてゐたが近年確かめられたところによると東方の主流マイ・カはブータオと支那西康省を分つ山脈中のラダラ米河に水源な發してゐると云はれる、上流はターロンと稱されブータオ地方を貫流し西方の主流マリ・カはブータオ地方のカムテイ・ローン豁谷をめぐる山地に起る、兩者は南流してミチナーの上流三十哩の附近の岩突兀なるうちを下り、所謂イラワヂ落合で合流する、この地點より上流は航行不可能である、この地點から同河は延々一千哩を南下し、ミチナーまでは急流ではあるが、扁舟は航行可能である、ミチナー=スインポー間は四季にわたり汽艇や吃水の浅い汽船を通じてゐる、イラワヂ河「第一峽」はこの附近にあり岩間の狭路三十五哩に及び船行は困難である、殊に乾燥期の航行は注意が必要でバセインの當局は舟艇と電信を交換

して許可を與へる、雨期は航行杜絶し筏、小舟のみが通ふ。バシヨで同河は地上に姿を現はしバセイン市下流數哩に至れば「第二峽」がある、狭路、急流ではあるが第一峽には比すべくもない、汽船は四季これを通りバセインに通じてゐる。爾後マングレーに至るまで流れは緩かになる、タペク・チン附近には第三峽があるが航行安全で景觀の美は上流二峽とは比較にならない。マングレーの阜頭を下つて順次アヴア、サガイン、バコック、バカーン、イエナンヂヤン、ブローム、ヘンザーダ、ダマービーを経てデルタに入り無数の細流となつてベンガル灣に入つてゐる。

ヘンザーダ上流から右に岐れる支流があり、ナーウーン河といふ、その下流はバセイン河と稱されてゐる、支流のうち主なるものは、ピョーマロー、シェーラワン、ヤズンダイン、チヤイクラト (ピアボン) 等である、イラワヂ河として海に注ぐものはミヤウンミヤ縣を貫通してピ

アボン縣と接してゐる、パンラシ・クリークはヤンドホーンから左方に岐れ流下してランカーン河となり、バセイン河はバセインの下方ランカーン・クリークにより再びイラワヂ本流と合してゐる。

古來イラワヂ河はビルマの一大通商路として發展したもので九百哩の間が航行可能である、海からバセイン及其の上流二哩の地點に至るまで六八九哩の間は四季を通じ汽船が航行してゐる

イラガン Ilagan (比律賓)

ルソン島東北部イサベラ州廳所在地で人口三一、三二五 (一九三九年調) 飛行場あり、煙草、米の産地。

イリガ Iriga (比律賓)

ルソン島東南部カマリネス・スル州の中南部にある町、人口三一、二二八 (一九三九年調) 米の集散地。

イリガン Iligan (比律賓)

ミンダナオ島ラナオ州イリガン灣に臨む町、人口二六、二八三 (一九三九年) セブ港から定期船便あり、また同市と海底電線

を通ず。

イロイロ Iloilo (比律賓)

比島バナイ島イロイロ州、比島第三の要港でマニラと海路、空路の定期便あり、人口八八、二〇三(一九三九年)州廳、兵舎、測候所あり、麻、砂糖等を輸出す、在留邦人三七二(一九三九年)

イロイロ州 Iloilo (比律賓)

比島バナイ島東南を占む、面積五、二八四平方キロ、人口七四一、三七一(一九三九年)林、農、海産、金、銀、石炭、モリブデンの鑛産あり、在留邦人六七〇(一九三九年)

イロコス・スル州 Ilocos Sur (比律賓)

ルソン島西北部にあり、面積一、一四四平方キロ、人口二七〇、五九七(一九三九年)住民はイロカノ族で農業、漁業を営み他州に出稼する者が多い、ヴィガン町に州廳あり、米、麻、煙草、鹽を産す。

イロコス・ノルテ州 Ilocos Norte (比律賓)

ルソン島西北部 面積三、三四九平

方マイル、人口二三八、九四九(一九三九年)住民はイロカノ族が主として農業、漁業に従事し山地にはタインギアン、ネグリトの蠻族が住む、産物は鹽、米、麻、煙草、玉蜀黍、藍、木材、甘藷、牛皮革、マンガン等あり頗る資源に富んでゐる。

インセーン Insein (ビルマ)

人口一萬四千(一九二一年)ベゲー管區、ラングーン=プロム線に沿ひラングーンより十哩、國立工學院、獸醫學校などがある。

インドーチ湖 Lake Indawgyi (ビルマ)

ミチナー縣にあり面積八十平方哩、周邊には鬱蒼たる樹木で覆はれた丘陵あり、傳記、傳説の舞臺である。

インタヴィュー島 Interview Island (インド)

中アンダマンと北アンダマン島の中腹にある一小島。

インヴェスチゲーター海峡 Investigator Strait (濠洲)

南オーストラリア州の海峡で、カンガルー島とヨーク半島との

間に横はり、長さ百キロ、幅四十キロである。スペンサー灣と大洋とを連絡する。

インヴェレル Inverell (濠洲)

ニューサウスウェールズ州、ゴーフの都邑で、シドニー北方鐵路五百四十九キロ、モリヤーから来る支線の終點。金剛石、銅、銀、錫、石炭の産地、人口は約五千。

インダス河 Indus River (インド)

源をチベットに發しカシミールを貫流しパンジアーブ平原に出てシンド平原を南下アラビア海に注ぐ、流程三一九〇キロ餘で幾多の支流を合せ流域は九六萬平方キロに及んでゐる。

主なる主流はパンジアーブ地方の五河で、ジェルム、チエナブラグイ、ピアス、ストレイジの五河川は合して、パンチナード河となりベハマルプールで本流に合してゐる。

このほかにギルギット、スワート、カブール、グランの諸河がある。

インスリンデ Insulinde

東印度諸島を指す、英國人エドワード・テツカアの命令で島帝國 Island Empire の意。

インダウ油田 Indaw (ビルマ)

ビルマ中央部の最北に位する油田でチンドウイン河上流のパンザの東南二十二哩、エナンチャト油田の北方一七五哩の地點にある。出油地域は四分の一平方哩で印度ビルマ石油會社の所有で含油砂層は地下八百呎一千二百呎、開始以來の總産油量は六十四萬六千バレルである。暑氣強きため作業上困難が多く、ガスの産出は一日千二百萬立方呎であるが、遠隔の地のため利用されてゐない、一九三四年の産油量は約三百十萬ガロンであつた。

インドー湖 Indaw L. (ビルマ)

カター縣にあり、面積六十平方哩。

インドラギリ河 Inderagiri R. (スマトラ)

リオウ州を流れスダ海に入る河。

インドール Indore (インド)

中央印度インドール藩王國の首

都で人口十萬、一帯は高原地帯で市は海拔七〇〇米の高所にある。農業が盛んで棉花、小麦、煙草を産し綿工業も行はれる。

インドシナ (印度支那) Indo-China

亞細亞州の南東に突出する一大半島で南支那海と印度洋との間に挟まり北は支那と境を接し東より南東は南支那海を隔ててマレー群島に對し南はマラツカ海峽を隔ててスマトラ島に對す。半島はインド支那半島とマレー半島とに分岐してゐる。

政治區劃は佛領印度支那、タイ、舊英領マレーに分れ、佛領印度支那中南部の交趾支那は佛國の直轄州であり他はトンキン、安南、ラオス、カムボヂヤの四保護國に分れトンキンの河内に總督府がある。

舊英領マレーは海峽植民地(シンガポール、ピナン、マラツカ)マレー聯邦(ベラ、スランゴール、ネグリスマラン、パハンの各州)非聯邦州(ジョホール、ケダ、パーリス、ケランタン、トランガヌの各州)の三つに分

れて居たが大東亞戦争の結果その區別は廢止當分我が軍政下に置かれることになつた。

面積は(單位千方料)

佛領印度支那 七四〇

タイ 五一八

舊英領マレー 一三八

計一三九六千方料で、

人口は(單位千人)

佛領印度支那 二三、三〇〇

タイ 一四、九七六

舊英領マレー 五、二五三

計四三五二九千人である。

産物としては佛領印度支那・タイに米、林産物を、マレーにゴム、錫、コブラを多量に産出する。

インドラブラ地方 Indrapoera (スマトラ)

西海岸州南部、インドラブラ山のある地方で、コリンチ族がゐる。

インドラブラ山 Indrapoera M. (スマトラ)

西海岸州南部の高峰で標高三、八〇五米、コリンチ山とも云ふ。

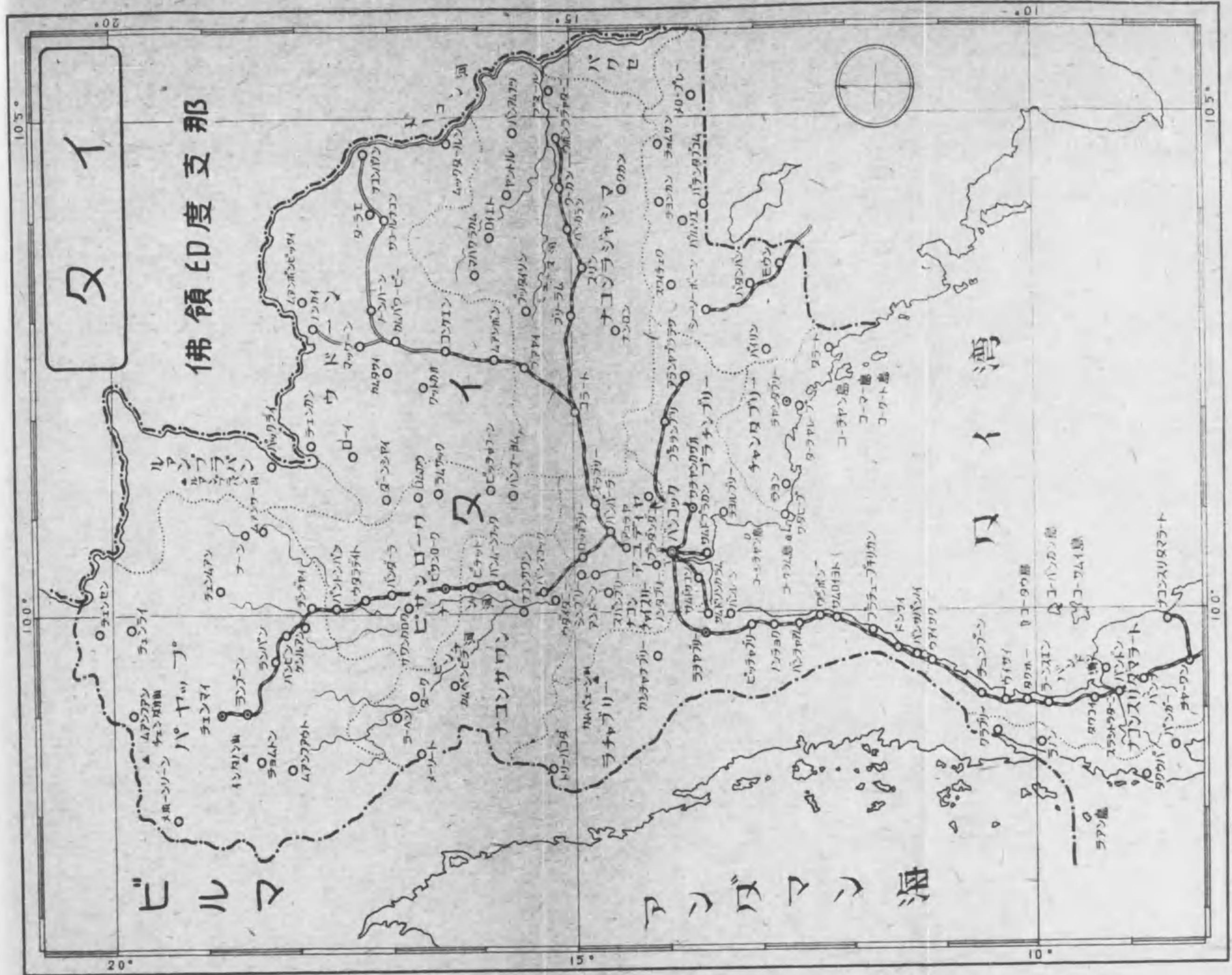
インドラマユ Indramjoe (ジャバ)



インーイン

帯は高層地
 帯に高層に
 麻花、小巻
 行はれる。
) Indo-
 日する一大
 野作との間
 條を披し東
 を隔ててマ
 ヤリリヤ南
 島に對す。
 島とマレー
 島
 支那、タイ
 領印度
 邦は國の
 マ、安
 邦の四保
 内に總
 置民地(シ
 マラッカ)
 ランゾー
 マハメハ
 ホール、
 フンタン
 三ノに分

れて居たが大東亞戰爭の結果その區別は廢止當分我が軍政下に置かれることになつた。
 面積は(單位千方呎)
 佛領印度支那 七四〇
 *イ 五一八
 舊英領マレー 一三八
 計一三九六千方呎で、
 人口は(單位千人)
 佛領印度支那 二五、三〇〇
 *イ 一四、九七六
 舊英領マレー 五、二五三
 計四三、五二九千人である。
 産物としては佛領印度支那・*イに米、林産物を、マレーにゴム、錫、コブラを多量に産出する。
 インドラプラ地方 Indrapoera (スマトラ)
 西海岸州南部、インドラプラ山のある地方で、コロンナ族がある。
 インドラプラ山 Indrapoera M. (スマトラ)
 西海岸州南部の高峯で標高三、八〇五米、コロンナ山と云ふ。
 インドラマユ Indramjoe (ジャバ)



西部ジャワ省チエリボン州チマ
 ムク河河口近くの港で米の輸出
 港であつたが、チマムク河三角
 洲の急速な發展と灌漑水をとら
 れる結果近年衰微した。

インランド・カイクーラス山脈

Inland Kaikouras Mountains
 (ニュージーランド)

北島のセントアルナワ山脈の東
 方に位しクラレンス河を境とし
 て相對し、その東にあるシーワ
 ルド・カイクーラス山脈と並行
 し、本山脈中のスタツフォード
 山(三〇四八メートル)は南島
 北部の主峯である。本山脈はク
 ック海峡の陥没によつて北島南
 部のタウルア山脈と分離された
 ものである。

インペリアル洞窟 Imperial Cav.
 (派洲)

ニューサウスウェールズ州のブ
 ルー山脈中の石灰洞窟である。
 一八七九年發見され世界有数の
 雄大且美麗なものと稱されてゐ
 る。左右二枝の洞窟に別れてを
 り、ブルー山脈の石灰岩地帯を
 數哩横斷してをり、大小無数の
 洞窟が連絡し洞の床下には地下

水が流れて隧道をなし、壯麗な
 鐘乳石が多數懸垂し、石筍が林
 立してゐる。特に優秀な洞窟は
 「マドンナと小兒」「吹雪」「ロ
 ッククライフ」等である。

インベルカーギル Inverca gill
 (ニュージーランド)

南島南端。ニューリヴァーの三
 角江、ダネーチンより鐵路二四
 五キロの地點にある都邑。
 人口約二萬六千二百(一九三八
 年調)サウスランド地方の乳製
 品、羊毛、農産物の集散地で、
 製粉、製材、醸酒、陶器、毛織
 物の各工場あり、靴及び肉類を
 輸出してゐる、外港をブラフと
 稱する。

インレ湖 In e L. (ビルマ)

シヤン藩王國ヨーングイーにあ
 り、湖邊に住む住民はタヴオイ
 人俘虜の後裔といはれ水陸兩様
 の生活を營んでゐる、足で舟を
 操る奇習がある。

ウ の 部

ウアイタブ島 Vaitozu (太平洋諸島)

英國直轄植民地エリス島に属する一島嶼で長さ六マイル、幅二マイル程度で官立の島民学校あり、商店もあり、小舟を收容する防波溝地がある、但し船舶は碇泊できない。

ウアードハント海峡 Ward Hunt Strait (ニューギニア)

バブア東北地区東岸フォークランド岬と對岸のグッドエナフ島の間幅十六哩の海峡、珊瑚礁が多い。

ヴァト・レレ島 Vatu-lele Is. (太平洋諸島)

英國植民省直轄植民地フィジー諸島中の一でヴァイテイレヴ島の南方に當る。

アボア島 Uapou Is. (太平洋諸島)

ロアボア島をみよ。

ヴァヌア・レヴ島 Vanua Levu Is. (太平洋諸島)

英帝國直轄植民地フィジー諸島の一島。大きさからいつてヴァ

イ・レヴ島に次ぐ同諸島第二の島で、全面積二一八平方哩、ヴァイテイ・レヴ島の東北に當る、山丘多くサーストン山の標高四一三五呎、南岸及西南岸にはサグサグ港及びヴァ湾あり。

ヴァニコロ島 Vanikoro Is. (太平洋諸島)

サンタクルズ諸島中の一島。同島のグラシオサ湾は同群島中でも船舶の完全な碇泊地でソロモン群島からしばしば訪れる。同島には素晴らしいカウリ材が生育する。またバリ港がある。

ヴァヴァオ島 Vavau I. (太平洋諸島)

英保護領トンガ群島の一島群でヴァヴァオ島が主島であり、人口五千、西班牙人マウレリヤの發見といふ。

ヴァティウ島 Vatiu Is. (太平洋諸島)

アティウ島を参照。

ヴァーヌアラヴァ島 Vanua-Lava Is. (太平洋諸島)

バンクス島嶼中の一島嶼にして東岸にバターソン港あり。

ヴァンジーマン島 Van Dieman

Gulf (漆洲)

オーストラリア大陸北部、アーヘムランドの北方、アラフラ海方面のメンヴェイル島の南にある港湾である。

東はコブルグ半島に囲まれ、北はダングス海峡により、西はクラレンス海峡によつて外海と連絡し、東西の幅百五十キロ、南北百キロに達してゐる。

ヴァイコ河 Vaico (佛印)

佛印交趾支那にあり、東ヴァイコ、西ヴァイコの二流はともにカンボジアに源を發し河口近くで合流して南支那海に注いでゐる。

ヴァイガイ河 Vaigai R. (インド)

印度半島南部のカルダモム高地に源を發しバルク海峡に注ぐ。

ヴァイヴァツ Vivatn Is. (太平洋諸島)

佛領ツブアイ諸島(オーストラル群島)中の一島嶼。

ウインドワート諸島 Windward Islands (太平洋諸島)

ツサエテイ諸島をみよ。

ヴァイテイ・レヴ島 Viti Levu Is.

(太平洋諸島)

一八七四年十月以來英國植民地で本國の直轄植民地であり、長官として知事が同島のスバ港に駐屯、全フィジー諸島を統轄してゐる。ヴァイテイレヴ島はフィジー諸島中最大島で面積四〇五三平方マイルでヴァヌア・レヴ島の西南に當る。全島火山性で山岳多く、エヴァンス山は標高四千呎あり、全海岸は珊瑚礁に囲まれてゐる、平地は肥沃でフィジー諸島の砂糖の中心地である。氣候は酷熱で濕潤である。重要な太平洋海底電信中継所である。

南岸のスバ港は全フィジー諸島の中心地であり首都である。

ヴァイエチヤン州 Vientiane (佛印)

佛印ラオスの一州、面積二萬六百平方キロ、人口十萬九千四百五十。

ヴァイエチヤン Vientiane (佛印)

ラオスにあり、メコン河左岸にあつて、人口九千、平野中心地にあり、メコン河氾濫季には逆

流によつて洪水がある。佛人のラオス理事館が駐在してゐる。昔ヴィエンチャン王國の主都。同市には有名なヴァトフラレス廟、タトリエオン廟、シザケツト寺、チャチオ寺の遺跡がある。一八二七年タイ人がこの街を劫奪したため廢墟と化した。

ヴィクトリヤ・ポイント Victoria Point (ビルマ)

ビルマ領最南端の地でパークチヤーン河をへだて、馬來のラ・ノーンゲに對峙す。

飛行場があり、昭和十二年十二月十四日に皇軍が占領した地點である。戸數卅餘の小漁村である。

ヴィクトリヤ湖 Victoria Lake (ビルマ)

ランゲーン郊外にあり、一八八四年ランゲーンの給水源として構築された人口湖である。

ヴィクトリヤ山 Mt. Victoria (ビルマ)

一萬四百呎、チン山地の最高峰。

ヴィエンヌ Vienne (佛印)

佛印ラオス中部にあり、附近のゴブラ、シエリーとともに粘土

質砂岩の下に錫鑛を産し、現在印度支那錫鑛調査開發會社が採掘してゐる。

ヴィガン Vigan (比律賓)

ルソン島西北、イロコス・スール州にある町、人口二〇、九八一(一九三九年)州廳、町役場、空港、兵舎あり、マニラより定期航路あり、麻、煙草、鹽、米、綿布、藍等を産す。

ヴィザガパタム Vizagapatam (インド)

人口五千、マドラス州の東部ベنگアル灣に臨み、マドラス、カルカッタ鐵道の支線がある。約五十年前マンゲンの鑛脈が発見され印度をしてソ聯とともに世界のマンゲン國たらしめた。現在では大した産出はない。昭和十七年四月わが皇軍により爆撃を加へられた。

ウイセル湖 Wisel L. (ニューギニア)

舊蘭領アイゲル河上流にあり、極く最近蘭領ニューギニア鑛業會社のアルゲル河沿岸測量偵察飛行の際発見さる。この地帯には石炭の埋藏がある。

ウイツカム Wickham (濠洲)

ニューサウスウエールズ州の都邑。ニューカッスルの郊外住宅地區。人口約一萬。

ウイリアガール河 Wiriagar R.

(ニューギニア)

舊蘭領フォーヘルコツプ半島中部の山より發し南下してマツクエル灣に注ぐ河。

ウイリアム山 William Mount

(濠洲)西オーストラリア州の西岸に連なるダーリング山脈の主峯である。南緯三十二度五十分の地點にあり、海拔一、一二一メートルである。

ウイリアム城塞 Fort William

(インド)

カルカッタ市の中心にあり、一七七三年英國は同城塞を建造し印度侵略の據點とした。

ウイリアムスタウン Williams-town (濠洲)

ヴィクトリヤ州の海港。メルボルンの南西十五キロ、南緯三十七度五十二分七秒、東經百四十四度五十四分三十二秒に位し、ポート・メルボルンと相對し、浮ドックがあり、造船、毛織、

機械等の諸工業が盛んである。人口は約二萬。

ウイリス山 Willis Mt. (ジャバ)

東部ジャバ省クティリ州西方の山、標高二、五五〇米、山腹にチエマラが繁りチーク村を出すほか南側に竹林がある。山麓の急流は發電に利用され、マディウンその他の都市に供給してゐる。

ウイilson 岬 Wilson Promotory (濠洲)

ヴィクトリヤ州の南東にある小半島端に當り、同半島の東方頭部にコーナー入江があり、西にワラター灣を控へ、南岸と東岸との境界點である。

ウイヘルミナ山 Wilhemina M. (ニューギニア)

舊蘭領中央部雪山脈中の高峰で海拔四、七五〇米、オランダ女皇の名を附したものである。

ウイヘルミナ山脈 Wilhelmina Mts. (スマトラ)

アチエ州と東海岸州の州境をなす山脈で、スマトラ島北部で東南に走る山脈である。

ウイレム一世 Willem I. (ジャ

マ)

中部ジャバ省アンバララ参照。

ウイロービー Willoughby (濠洲)

ニューサウスウエルズ州の都邑シドニーの北方八軒の郊外にある。別名をウイロービー・ノースともいふ。人口は約五千である。

ヴインエン Vinh-yen (佛印)

トンキンの一州。面積千百平方キロ、人口二十四萬五千八百人(一九三八年)

ヴインディヤチヤル山脈 Vindiyachal Range (インド)

アカン高原の北部を東西に走る山脈でナルヴァダ河に沿つてゐる。高度は一千米以下だが延長千キロに及んでゐる。

ウイントン Winton (濠洲)

クインズランド州の一都市。東岸ロツクハンプトンと鐵道を連ね、ヒューゲンデンの南西、南緯二十二度二十分。東徑百四十一度三十八分にある。大牧場地帯の中心地。石炭の産出もある。人口約二千である。

ヴインロン Vinh-long (佛印)

永隆。佛印交趾支那の一州、面積一千二百平方キロ、人口十九萬五千九百。

上ビルマ Upper Burma (ビルマ)

歴史的な又は發生的な行政区劃上、ビルマを上・下に二分してゐる。上ビルマは高地ビルマ、下ビルマは低地ビルマと呼ばれる。上ビルマは山岳地帯で、一八八五年第三次英緬戦争により英國に併合された全地域を呼稱してゐる。上、下ビルマには今なほ法律上若干の差異がある。

ウヴェア島 Ouvéa I. (太平洋諸島)

佛領ニューカレドニア植民地の一島。ロヤルティ列島最北部に位し、同列島中の三主要島リフ・メフ・ウヴェアの中の最小島で地味、肥沃、島の型状は低い砂質の弦月型で南北卅マイル、東西四マイル半、島の西方に一大礁湖あり、島民約二千、島内部に大湿地帯あり、無数の蚊發生す。地面平坦で樹木多く美しき島で村落は礁湖に面した高い平坦地にある。海岸いたるところに清泉湧出し、附近の礁には構

礦が豊富である。

ウエーク島 Wake Is. (太平洋諸島)

面積七・六平方キロ、開魚を以て有名である、對日攻勢據點として米國はこれを重視し、飛行機、潜水艦基地とし大規模な設備をなし、海軍省の直轄であつた。ホノルルを去る三千四百キロ、グアム島の東北二千三百キロ、東京より三千五百キロである。

一七九六年プリンス・ヘンリー號が発見、一八九九年米國領を宣した。米國はクリツバー機のミッドウエー、グアム間の中繼地であり、對日太平洋進攻作戦の據點としてゐた。島は大島の恰好で三島に分れてゐるだから帝國海軍がこれを占據するや大島と命名した。

ウエストランド地方 Westland District (ニューゼーランド)

南島西部地方一帯をウエストランドと稱し、南アルプスの西側に位する。幅四十三キロ半、長さ四百キロ、面積一萬二千六百四十二平方キロ、主として鐵

産物、林産物にめぐまれてゐる。最もニューゼーランドで雨量の豊富な地方である。グレマースが首都で、人口は一萬五千余である。

ウエタル島 Wetar (小スンダ列島)

アロール島の東、南西諸島の主島面積三、八八八方軒。

ウエツゼル群島 Wessel Islands (濠洲)

北オーストラリヤ州の群島。カーペンタリア灣の北西に位し、その最北端の島までなほ長さ四十八キロに達し、南緯七度五十九分のウエツセル岬の北端に當る。

ウエーバー海溝 Waber (濠洲地中海) 小スンダ列島北方にあるバンダ海東部にある海溝で、深さ七、四四〇米で世界の海に於ける最大の深度である。

ヴェハール湖 Vihar (インド)

ホムベイ市の北方サルセツト島の中央にある湖名。

ヴェラヴァル Veraval (インド)

カーチャアール半島の貿易港で葡領アイウの北西六四キロ、人

ロ一萬四千、鐵道の終點に當る。
ウエリラン山 Welirang (ジャバ)

東部ジャバ省バスマン州西境マラン高原、西方アルデノ山脈にある火山で、火口底に硫黄孔あり硫黄が採取されてゐる。山腹は美しく別荘が多い。

ウエリントン Wellington (濠洲)

ニューサウスウエールズ州の一都市で、ニューカッスルの西北西にあり、シドニーと鐵道で四百十キロの距離。メル河とマツカリー河の合流地點。附近は石灰岩地帯で、南方にはウエリントン石灰洞があり有名。金銀業農業の中心地であり。人口は約六千である。

ウエリントン Wellington (ニュージーランド)

北島南端ポート・ニコルソン灣に臨んでゐるニュージーランド第一の大都會で首府となつてゐる。人口は十五萬四千で、總督府、兩院、ヴィクトリア大學、ドミニオン博物館、植物園がある。

附近は羊毛、羊肉、各種乳製品を産し、同港から輸出されてゐる。港の一部は軍港であつて南島との連絡船も發着してゐる。又わが大坂商船、山下汽船の寄港地でもあつた。わが領事館は昭和十三年より開設されてゐた。

ウエルス湖 Wells Lake (濠洲)

西オーストラリア州西部高原の河跡湖の一つである。南緯二十七度、東經百二十三度に位する。南東北の三方を山地に囲まれ、西に開口するコの字形の湖沼である。

ウエルスリー群島 Wellesley Islands (濠洲)

オーストラリア大陸の南北部のカーペンタリヤ灣南部海岸に近い群島で、モーニントン島初めペンフィンク島などの小島からなつてゐる。モーニントン島は北東より南西に長さ六十四キロ余にわたつて展がつてゐる。

ウエルトフレデー Weltevreden (ジャバ)

バタビヤ新市街バタビヤ・セントルムの舊稱同項参照。

ウエスリー Wellesley (マレー)

ピナン島の對岸マレー半島の西岸にある舊海峽植民地の一部で面積二九〇平方哩の地域。一八〇〇年英國は海賊横行を名目としてケダー酋長から奪取し、マレー半島經營の一つの足場とした。

ヴェロール Vellor (インド)

マドラス州、マドラスの西方一五〇キロ、バラール河に沿ひ古城塞と宏壯なる寺塔が多い。軍隊の駐屯地である。人口四萬九千。

ウエヴァーリー Waverly (濠洲)

ニューサウスウエールズ州。シドニー南東の太平洋に面する郊外にあり住宅地帯で、衛星都市をなしてゐる。人口は約二萬人。

ウォリス群島 Wallis Archipelago (太平洋諸島)

英領フィジー諸島の北東、佛領ニューカレドニア植民地の一にして、面積四十平方マイル、人口四、五〇〇。九つの小島が近接して一つの島を形成したもので、一つの大きな珊瑚礁により

圍まれてゐる。概して丘陵が多く樹木多し、九つの島の主要島の死火山口には數個の湖あり。一八四二年佛國保護領となる。

ウオカン島 Wokam P. (小スンダ列島)

アル諸島に屬し中央五大島の一つで、北方より二番目の島。

ウォータータウン Watertown (濠洲)

ニューサウスウエールズ州の都市で、シドニーの南方四キロの地點にあり。硝子、石鹼其の他の工業製品を生産する。人口は約一萬である。

ウオノソボ Wonosobo (ジャバ)

中部ジャバ省バンニユマス州スラウェー谷の都市で、海拔約八〇〇米。同地方最大の町で外來客多い。

ウォルカイ島 Workai P. (小スンダ列島)

アル諸島に屬し中央五大島の東側にある。

ウォルスレー Worsley (濠洲)

南オーストラリア州とヴィクトリア州との境にある町で、キングストンの北方にあたり、鐵道

はアデレードに通じてゐる。

人口は約四千人（一九三九年推定）マレー盆地続きで、附近は地味肥沃で小麦、牧畜、果實類の産出が頗る多い。

ウォラロー Wallaroo (濠洲)
南オーストラリア州ヨークス半島の北部西海岸のスペンサー湾に臨む港市でアデレードの北西百三十七キロに位してゐる。附近の産物たる小麦及び羊毛はこの港から積出してゐる。又化学肥料の製造地として有名であるほか、ウォラロー及びムンター兩銅山の門戸に當り、大熔鑪があり、銅、亜鉛を製錬してゐる。さらに周囲の平野は豊沃で牧畜が盛んである。

ウォルバルトン河 Warburton River (濠洲)
南オーストラリア州の北東部にあつて、チャマンチノ河が雨季には南流し来るエイア河と合流し、左右に別れて北エイア湖に注いでゐる。その東側の流れがウォルバルトン河である。

ウォロンゴン Wollongong (濠洲)

ニューサウスウエールズ村の都市。シドニーの南南西七十六キロに位してゐる。海水浴場として著名。碇泊場とても廣く利用されてゐる。人口は約九千である。

ウオンガラツタ Wangaratta (濠洲)
ヴィクトリア州モイラ地方の都市。オーヴエン河とキンバリー河との合流地点。農業の中心地であり、メルボルンの北東二百二十五キロにある。人口は約四千である。

ウオンタツギー Wentaggi (濠洲)
ヴィクトリア州の都市。メルボルンと鐵路百三十八キロを隔ててゐる。石炭の大埋蔵地に當り、人口五千四百。

ウギ Ugi (太平洋諸島)
サンクリストヴァル島の離れ島で同島の東初諸岸にあり、コブラを産す。

ウヅイル島 Oedjir (小スンダ列島)
マル諸島に屬する小島で、ウォカン島の西にある。

ウスカン島 Uskan (ホルネオ)
舊英領北ホルネオ西岸の小島。

ウツドレーク島 Woodlake Is.
(太平洋諸島)

バブア東南地区、ニューギニア島の東端、イースト岬の北東百卅哩の洋上にあり、東西四十哩幅員八哩、大部分は火山質の岩石より成る。街としては北岸のクラマダウ、南岸のボナカイあり。

ウドーン州 Udorn (タイ)
タイ國北東部の一州（舊政治區劃）メーコン河の流域にあつて棉、甘蔗、煙草、豆等の農産物牛、馬、水牛、豚等の家畜ステラック等を産す。

ウダイプール Udaipur (インド)
ラーヂプタナ地方、二千呎の高地に位置し、有名なジャグマンダー宮殿がある。同宮殿は十八世紀に建てられた湖水に臨む美しい宮殿で、シャーシハーンがその父ジャハンギールに反旗を翻したときここに住んでゐた。闘牛ならぬ闘象の競技が行はれる。ベンガル州、テイツペラ丘陵地方にも同名の小邑がある。

ウツズ湖 Woods Lake (濠洲)
タスマニア島のグレート・ウエスタン山脈の西部に横はる盆地にある小湖。

ウツドヴィル Woodville (ニューギニア)
北島東南部に位する鐵道の分岐點に當り、マルティンバラ地方の中心地。

ウツドロツフ山 Woodroffe Mount (濠洲)
オーストラリア大陸の中央南部南オーストラリア州の北端にある。東經百三十一度四十分、南緯二十六度二十分に位し、マスケレーグ山脈の主峰であり、海拔千五百九十四メートルである。

ウトウンブウイ河 Oetoempoeue
(ニューギニア)
舊蘭領、南部ウイルヘミナ山に源を發し、西南に流れる河でエイランテン河北方にあり。

ウナウナ島 Oenaoena (セレベス)
セレベス島トミニ灣内にある火山島。

ウバイ Ubay (比律賓)

比島ホホール島東北岸の町、人口二一、四五六（一九三九年）

ウビン島 Ubin (マレー)

ジョホール海峡の東口にあり、大東亞戦争に際し皇軍の一部は同島に上陸した。

ウポル島 Upolu Is. (太平洋諸島)

英領サモア諸島第二の島でサヴァイイ島の東南に當り、面積三百四十マイル、島は東から西へ連なる一脈の火山を背とし、標高三千五十呎のトフア山のほかスイシギヤ・ラウト等の山ありコブラを産し、カカオ、コーヒー、煙草を産す。北岸同島最大のアピア港あり、南岸にはアリアリがある。同島は又ロバート・ルイス・ステイヴンソンの寶島で有名である。

ウボン Ubon (タイ)

ウボンラチャターニの項参照。

ウボンラチャターニ Ubonraj Dhaní (タイ)

別名ウボン。タイ國東部國境メナム・ムーン河の北岸にある都邑。ナム・ムーン河とメコン河の合流點に近くメコン河、コー

ラート方面と交通の便あり、米豚、獸皮角、木材等の集散地であり縣廳の所在地で、歩兵大隊が駐屯してゐる。

佛領印度支那に近いため、フランスの勢力が入り易く、文化の上でもフランスの影響が見られる。佛國副領事館あり。

ウユ河 Uyu River (ビルマ)

上チンドウイン、ホルマリンにて本流と合するチンドウインの支流。

ウラカス島 Urakas (太平洋諸島)

我委任統治領、サイパン支廳に含まれるマリアナ群島の一で、同群島の最北端最西端に當り、海拔三百七十七メートルの活火山あり。

ウレエ Oelee (スマトラ)

アチエーの首府クダラヂヤの外港、ウレエリエウに同じ、同項参照。

ウレエリエウエ Oelceheue (スマトラ)

アチエ州、首府クダラヂヤの外港、米、バナナ、コブラ、胡椒を輸出する。

ウールール島 Wooloar (小スン

ダ列島)

ダマール諸島の島。

ウルヴェルストン Ulverston (漆洲) タスマニア島北岸。レヴエン地方の都邑。レヴエン河口に沿つて背後に沃野が展開してゐる。人口は約二千である。

ウル・カンチン Ulu Kanching (マレー)

マレー半島セランゴール州にあり、タンゲステン鐵の産出地として有名。

ウル・クラン Ulu Klang (マレー)

セランゴール州の有名なタンゲステン鐵産出地帯。

ウル・セランゴール Ulu Se'angor (マレー)

マレー半島セランゴール州の有名な産錫地帯。

ウルチャンコ洞窟 Ulu Tjanko

(スマトラ) チャンビー州中央部ジャンビ河上流にあり、考古學上重要な黒曜石を以つて製作された剝片型石器の資料が発見された。

ウル・ランガ Ulu Langat (マレー)

マレー半島セランゴール州にあり、タンゲステン鐵産出地として有名。

ウワ州 Uva States (セイロン)

セイロン島の一行政区劃、山地にはヴェダ族と稱する未開族が住み、農業を知らず狩獵や、野生の植物を喰つてゐる。

ウンガウイ Ngawi (ジャバ)

ンガウイ参照。

ウンガンタン Ngantang (ジャバ)

ンガンタン参照。

ウンガンチュツク Ngendjoe (ジャバ)

ンガンヂユツク参照。

ウンゲベル湖 Ng. bel L. (ジャバ)

ンゲベル湖参照。

エの部

英領ユニオン Union Islands (太平洋諸島)

トクラウ群島とも呼ばれ、現在ニュージージーランド統治下にあつて、時々軍艦が巡航警戒してゐる。

る。英領サモア諸島の北に當る。一九二六年西サモア群島に編入さる。フオカオフオ島を主島とする三島より成り、面積僅か六平方マイルにすぎないが、サモアの方言を使ふ約一千のポリネシア人が住居、椰子の栽培に従事す。島は皆低く環状珊瑚礁に圍まれ、無電塔あり、主要物産はココア。スロオン島のみは米領である。

英領サモア諸島 又ハ西サモア諸島 Samoa Islands (太平洋諸島) 我が委任統治領ヤルート島の東南千六百哩、曾てドイツ領であつたが歐洲大戦後英領となりニュージールランドの委任統治領となつてゐる。現に米領サモア群島が散在し、面積一、一四〇平方マイル 人口は約六萬で内土人は五萬、その他は混血人と支那人である。土人はマリオ族から出たポリネシア族であるサヴォイ、ウボルその他数個の小島から成り、カカオ、椰子、棉花等を産してゐる。本群島は一七七二年、蘭人ヤコブ・ロツグヘーヴェンの發見と

いふ。一八一二年佛人ホカインヴィーユ來航してオヴィゲートル島と命名した。

英領マレー British Malay (マレー)

英領マレーは通常マレー半島の海峡植民地、マレー聯邦州、マレー非聯邦州を總稱するが、嚴密にはホルネオ島におけるサラクラ、ブルネイ、ラブアン、英領北ホルネオ、ココス島(一名キーリング島)、クリスマス島等の英帝國の所領をも包含する。

マレー半島は北部は泰國に接し東は南支那海、西及び西南はマラッカ海峡に臨んでゐる。總面積五三、一九六五平方哩。人口約四百六十一萬一千五百人(一九三五年)人口密度一平方哩八十七人弱、大東亞戦争の結果日本の領有地となつた。

エイア湖 Eyre Lake (濠洲)

南オーストラリア州エイア湖盆地に横はり、附近に多数の鹹湖がある。湖面は海面下十二米である。昔はスペイン灣に通じてゐた内海の一部であつた。氣

候の悪化に伴つて土地が山脈の上昇で陸化し乾燥したため低地にもみ滞水して数多の小鹹湖となつたのである。

エイア湖は南北二湖に分れ、北部が大きく、南部は小さいが、雨季には一湖に合して了ふ。その面積は約一萬平方キロに達する。

エイア河 Eyre River (濠洲)

南オーストラリア州、クインズランド州等に跨る大河。源は三流に分かれ、一つは北オーストラリア東部のパークレー臺原に發するジョルジナ河及びロルン河が合流し南東に流れ、ポリゴナム湖を貫流してクインズランド州に入り、エイア河の上流バルク河に注ぐが、乾季は冬至線附近で干上る。

バルク河はエイア河の本流で、源をキルビー山脈の西方に發して、セルウィル山脈に發して南流するハミルトン河と合流し、マチャヅチ湖と連結し、西に轉じて北方から流がれて来るムリガン河とフィールド河と合し、南流しヂヤマンチナ河に合す

る。下流一帯は無数の小鹹湖が分布し雨季にはエイア湖を膨大せしめる。

エイランデン河 Eilanden R.

(ニューギニア)

舊蘭領、南部にありサグル河に次ぐ大河で砂金を産する。

エウエラルド湖 Everard Lake

(濠洲)

南オーストラリア州エイア湖盆地内に横はり、他の数多の諸湖と同様に鹹湖である。

エウエレスト山 Mt. Everest (インド)

ヒマラヤ山脈中の世界の最高峰 海拔八、八四〇米。西藏人からはチヨモラングマ(國の母の意)の名をもつて呼ばれてゐる。ネパール國と西藏の國境に君臨す。

エオア島 Eoa Is. (太平洋諸島)

英保護領トンガ群島中の一島嶼にして、一六四三年發見されたとはいはれ、又別名をミツテルブルグ島といふ。丘に富み、森林多く肥沃である。

エグモント山 Egmont Mount

(ニュージールランド)

北島西部に突出せるメラナキ半島の中央部に位する死火山。南緯三十九度十九分、東經百七十四度十三分。標高八、二六一フイート。わが富士山にその形容が類似してゐる。クツク海峡西口の北門にあたり、山頂に火口を有し、千古不滅の雪を頂いてゐる。附近一帯は国立公園である。

エコ湖 Echo Lak (濠洲)

タスマニヤ島のグレート・ウエスタン山脈の西部に横はつてゐる盆地にあつて、附近には尙數多の湖沼がある。

エスカランテ Escalante (比律賓)

比島ネグロス・オクシデンタル州にあり、人口五九、八八五(一九三九年)製糖工場あり、附近より石炭を産出す。

エスピリト・サント島 Espiritu Santo (太平洋諸島)

ニューヘブリデス島をよ。ニューヘブリデス群島中最大の島、同群島の最西端。面積四、八五七平方キロ。

エチユカ Echuca (濠洲)

ヴィクトリア州の北部マレー河

の上流に位し、重要港市でありマレー盆地の東方にある。もとホープウツズ・フェリー Hopwoods Ferry と呼んでゐた。メルボンから鐵道が通じてをりその距離は二百五十一キロである。人口は六千九百八十人(一九三七年調)マレー河に臨むマレー一帯の羊の大飼養地で、葡萄酒、羊毛、木材の集散地であり且積出地で、河川取引が盛んに行はれる。

エドギンス山脈 Ekins Ruge (濠洲)

西オーストラリア州の北部、キング・レオポルド山脈の北部にあり、グレンネルグ河に圍まれこの山脈の最高點は九百メートルに達し、キンバーリー區中の最高地點である。

エナンヂヤウン Yenangyaung (ビルマ)

人口十二萬三千、イラワジ河口より約三百哩の上流にある。一九〇〇年以來三十億カロンの産油ありビルマ油田中最大のものである。ビルマ石油、ラングーン石油、ジェームス兄弟石油、

英緬石油、アングロ・ビルマ石油等々が活動してゐるが、ビルマ石油會社は十二吋パイプでシリウム精油所まで二百七十五哩を送油してゐる。一九三四年度一億三千七百四十四萬カロンの産出があつた。

エナンヂヤト油田 Yenangyat (ビルマ)

パツコクの西岸イラワジ河の右岸にあり、一八九三年より採油されてゐる。一九三四年度の産量油は二千七百七十一萬ガロン餘であつた。

エニム河 Enim (スマトラ)

パレンバン州ム河支流ルマタン河の支流で、下流地方は石油、石炭が豊にある。

エヌ島 Enoe P. (小スタンダ列島)

アル諸島中南部の小島。

エファテ島 Efato (太平洋諸島)

別名サンドウイツチ島。ニューヘブリデス諸島の一。ハヴァナ、グイラの兩港は群島中の良港である。グイラ港には無電塔がある。

エマハーフェン Emmakaven (ス

マトラ)

西海岸州首府バダンより七軒の地點にあるバダンの外港、コニギン灣に臨んでをりオンピリン炭田の石炭積出港であり、コーヒー、コブラも輸出してゐる。

エリス群島 Ellice Islands (太平洋諸島)

ミクロネシア群島中にある珊瑚礁群で、全群島の面積は在して三六・〇九四平方キロ、住民はポリネシア族、バナベン族を主とする四一五一一人である。群島の北西より南東への延長五六キロにのび、その間主なる島はフナフチ、ヌクフエタウ、ヴァイツプ、メイ、ニウタオ、ナスマガ、ナメメヤ、ヌクラエラエ、ヌラキタで、島民はキリスト教を奉じ、農業をなしコブラを主産とする。

英國直轄植民地。十八世紀の黒人誘拐の最適獵場とされ、正直で筋骨逞しい島民は中米、メキシコ方面の農園に輸出された。一七一八年エリス諸島北部ナノメア島が白人の發見するところとなり、一八一九年南部のフナ

フタイ島に至り、ついで廿年内に米人ウイルクス少將その他がエリス諸島を訪ふてゐる。

エリザベス島 Elizabeth Is. (太平洋諸島)

ヘンゲソン島を見よ。

エルフィンストーン島 Elphinstone Island (ビルマ)

メルゲキー群島、メルゲキー西方沖合にある。

エレファント・パス Elephant Pass (セイロン)

セイロン北部州、コロンボ・ジャフナ間の鐵道沿線にあり、製鹽業が盛んである。

エレファンタ島 Elephanta Island (インド)

ボムベイ市の東方六哩のワナ河口にある小島で、エレファンタ洞窟がある。アジヤンタやエローラの洞窟には比すべくもないが、洞窟内の彫刻には見るべきものが多い。

エレスミア湖 Ellesmere Lake (ニューゼーランド)

南島カンタベリー地方の東部にある鹹湖である。面積は一〇七平方哩。

エロマンゴ島 Erromango (又はエロマガ) Erromanga (太平洋諸島)

ニューヘブリデス諸島中の南の一島。同島の陸地としてテイロ湾あり、住民は約三千、曾て來島せる宣教師の名を偲んで名付けられたが、島民はキリスト教徒である。主産はコブラ。

エーロデ Erode (インド)

南部マドラス州、コインバートル地方の都市で鐵道の分岐點、七、八世紀には非常に繁榮した。二個の大寺塔がある。人口一萬七千。

エローラ Ellora (インド)

ボムベイ州、アジヤンダ洞窟とともに世界的に有名であるが、アジヤンダの西南にあり、ボムベイから鐵越マンナツドに至り乗換へてダウラバタードで下車すれば北方一〇マイルの地獄がエローラである。

佛敎窟十二、バラモン敎窟十七、ジエーン敎五で三敎のものそれぞれある。第四世紀から八世紀ごろまで窟鑿されたものである。

エンダウ Endau (マレー)

マレー半島東海岸パハン州とジョホール州の州境エンダウ河の河口にあり、大東亞戰爭に際し皇軍マレー部隊は一月十五日同地を占領。また同沖合で我が驅逐艦二隻は敵驅逐艦二隻と對戦これを撃破した。(エンダウ沖の海戦)

エンダウ河 Endau (マレー)

マレー半島ジョホール州パハン州境を流れて東海岸にそゞく小河。河口にクアラエンダウがある。

エンダーベリー島 Enderbary Is. (太平洋諸島)

フエニツクス諸島中の一でカントン島の東南、英米共同の共有であり、カントン島同様に低い小さな珊瑚礁で鑛地はないが空港としての利用價値はある。珊瑚露頭して叢林に蔽はれ完全な鑛地はない陸地ではあるが、中央に浅い水溜狀の礁湖がある。大部分裸地又は匍伏性の草地、平坦な島である。

エンガノ島 Engano (スマトラ)

ベンクーレン州南沖合にある島

エンデ Endeh (小スダン列島)

小スダン列島フローレス島南岸の港で白檀、鼈甲を輸出する。

エンデ山 Endeh M. (小スダン列島)

フローレス島南岸の山。

エンデ灣 Endeh B. (小スダン列島)

南岸の灣同名の港がある。

エンバイ Yen-Bai (佛印)

佛印トンキン中部にあり水牛、牛の飼養で知られる。

エンバイ州 Yen-Bay (佛印)

安沛。佛印トンキンの一州、面積九千五百平方キロ、人口二十四萬五千八百人(一九三八年)

オ の 部

オアタフ島 Oatafu Is. or Duke of York (太平洋諸島)

英領ユニオン諸島中の一嶼にしてニューゼーランド委任統治地區に屬し、長さ三マイル、幅二マイル半の珊瑚礁より成る島嶼である。

オアフ島 Oahu (太平洋諸島)

ハワイ島中の一、モロカイ島の西北廿二マイル、兩島間にはカウアイ海峡がある。全面積は一、五四七、一〇九七二平方キロ。人口二五七、七九八人。ハワイ諸島中最も重要な島で、ホノルルはその首都である。全島火山性で舊火山が隨所にある。オアフ島の産物として藍、棉花、砂糖、コーヒーがある。米國海軍省は昭和十六年七月この島の防備強化のため、二、三一六千ドルを計上着々戦備を盛めた。米國は一八九八年八月米西戦争によりてこの島を合併するや軍事據點となし、一八四〇年一段と強化したものである。

オアス Oas (比律賓)

ルソン島アルバイ州、人口二三、五五六(一九三九年)タリサイ河中流にあり麻を産す。マニラから、汽車自動車の便あり。

オガン河 R. Ogan (スマトラ)

パレンバン州ネシ河の支流。

オガル島 Ogar I. (ニューギニア)

舊蘭領西部マツクレル湾口にある島。

オークランド Auckland (ニュージーランド)

北島の北部ハウラキ Hauraki 湾に臨む良港、港の北部對岸をデーウオン・ポイントと稱し、軍港である。

人口二十一萬七千三百人、ニュージーランド最大の都會。附近一帯は火山帯である。産物としては羊毛、乳製品、羊肉、紙、煉瓦、ゴム、金、石炭等あり、それ等の輸出港であり、雜貨を輸入する。

バン・パシフィック・エア・ウェイの終點である。シドニーとの間にタスマン・エア・ウェイが連絡してゐる。世界各地との交通の要衝であつて、オークランド大學、博物館、美術館、圖書館、教育研究所等の所在地。わがニュージーランド航路の寄港地。水陸兩用の飛行場がある。北島北部軍司令部の所在地でもある。

オーシャン島 Ocean Is. (太平洋諸島)

一名バナバ島。マーシャル群島の南三百五十カイリ、面積千五

百エーカー、海拔七〇メートルの小島である。一九三六年の人口は土人一、七七七名、白人一三四名、支那人八八〇名、計二、七九一名、本島には多量に燐礦石を産出し、これを濠洲及新西蘭に供給してゐる。同島には「ギルバート及びエルズ諸島植民地」政廳(英本國植民省直轄)があり、島内には無電塔の設備がある。

オーステン湖 Austin Lake (濠洲)

西オーストラリア州の高原にある河跡湖の一つである。東經百十八度、南緯二十七度半、丁字形の湖で、乾季には乾燥して丁ふ。

オーストラリア・アルプス Australian Alps (濠洲)

オーストラリア大陸の南東方ヴィクトリア州メルボルンの東から起り、弓形で北東に展開し、ニューサウスウエールズ州、聯邦直轄地の南方に達し、延長は五百キロである。この名はアルプスといふが實際は高起した高原であり、その幅は七、八十キ

ロ乃至百五六十キロである。ホワイト山(一、七四二メートル)、ビューラー山(一、六〇九メートル)、ホザム山(一、三八九メートル)、フェザートップ山(一、九二三メートル)、ホゴン山(一、九八四メートル)等の山峰が並び、ニューサウスウエールズ州に入ると高原は狭くなるが土地が高起し、スノーウイエー山脈と稱し、オーストラリア最高のコーシユシコ山系となるのである。コーシユシコ山の北東にはカンベラ市を俯瞰するピムベリ山がある。

オーストハーフェン Oosthaven (スマトラ)

ランボン州首府トゥロツグアトンの外港。

オタゴ地方 Otago District (ニュージーランド)

南島南部サウスランドとカンタベリーの間に横はり、ダネーデンを中心とせる地方で、雨量が多く、西部では年三千ミリに達し、首都ダネーデン附近は千ミリに減じ、クインスタウンとオマールとの間はニュージーランド

で最も乾燥した地方で、沙漠性の土地となつてゐる。家畜の飼育盛んで、林檎の産地として著名、良質の羊毛も附近一帯に産出する。その他小麦、燕麥、金を産出する。スコットランド移民によつて開拓された宗教心の厚い土地柄、人口は約十三萬二千である。

オードナダツタ Oodnadatta (澳洲)

南オーストラリア州の一都市で、大陸南北縦貫鐵道に沿ひ南方アデレートと千九百九十九キロ、北方ポート・ダーウィンと二千七百七十二キロを隔ててゐる。駱駝によつて物資を運搬してゐる。

オードンナイ Haut-Donnai (佛印)

佛印安南の一州。面積八千八百平方キロ、人口五萬。

オード=ロヒルカンド鐵道

Oudh-Rohilkand Railway (インド)

ガンダス河中流の東印度鐵道の終點、モガール=サライを起點としベナール、ラグノウ、カウンプル、シヤージヤハーン

プールを過ぎテラ至る、延長二、六〇〇キロ、なほアリーガルからサハランプールに至る支線がある。

オネハンガ Onehunga (ニュージールランド)

北島の都邑。マ×カリ港に沿ひオークランドの南西十一キロ。小水道によつて兩港に別れ、毛織物、造船業が行はれ、木材、農産物を輸出してゐる。人口約六千である。

オネオ島 Oneo Is. (太平洋諸島)

英直轄植民地ピットカイロン島地区の一島。

オノトア O'otoa (太平洋諸島)

英國直轄植民地ギルバート諸島の一、長さ十二マイルの小島嶼で防波錨地なく、政廳駐在所のある部落「プライタン」その他がある。

オバラウ島 Ovalau Is. (太平洋諸島)

英國直轄植民地フィジー諸島の一で、ヴィテイレヴ島の東方に在り、同島のレヴカ港はフィジー諸島の物産の集散地であるが

曾てスバ港以前の同諸島の首都であつた。

オーハウ湖 Oahan Lake (ニュージールランド)

南島の南西部、クワク山下のテカボ湖、ツカキ湖とともにワイタキ河を養つてゐる。

オヒネマツ Ohinematz (ニュージールランド)

北島ロトルア湖の西方にある。湖畔に多數の温泉湧出し浴客の往來が劇しい。

オビ島 Obi Island (モルツカ群島)

群島中群に屬する島で、東西約九〇軒、南方約四〇軒、森林地帯多く最高點は一、五二〇米に達する。同島は未だ探検が十分でなくアルフル人が居住し、椰子、丁香を作り生活してゐる。

オボン Opon (比律賓)

比島、セブ島セブ市對岸マクタン島の西北岸にあり、人口三三、八一四(一九三九年)一五二一年マセランがマクタン酋長ラブラブに反撃されその毒矢にかかつた地は同町の東側である。

オマル O. maru (ニュージール

ランド)

南島東部中央部に位し、クライストチャーチの南方二百四十四キロ、ダネーザンの北方百二十六キロ。豊富な産物の集散地。羊毛、穀物を輸出する。又建築用オマル石の産地として名高い。製氷場、脱毛場が軒を並べてゐる、人口は五千餘である。

オムビリン油田 Ombili (スマ

トラ西海岸州バダグン北サワールトン附近、即ちベダグン高地にある始新世に屬する炭田で、從來オランダ政府直營により採行されてゐた。埋藏量一億九千萬トンと推定され、炭質良好一九三六年の産額四十萬トン、同炭は九五哩の鐵道によりエムマハーフェン港より輸出さる。

オムビリン河 Ombilin R. (スマトラ)

西海岸州バダグン地方にあり、炭田がある。

オヤ河 Oya (ホルネオ)

舊英領ボルネオサラワク王國の河川、全長約一二〇哩。

オラニエ山脈 Oranje Mts (ニューギニア)

舊蘭領中央山脈の一で、ナツサ
ウ山脈の東方に連る山脈。

オルモツケ Ormoc (比律賓)

比島レテイ島オルモツク灣に臨
む人口七八、四六八(一九三九
年)レイテ州最大都で附近に石
炭を産す。

オルド河 Ord River (濠洲)

西オーストラリア州北部にある
河川で、源をキンペリー地方
の山地に發して北流し、ケムブ
リツシ灣に注ぎ支流は多い。山
地を切開して流れ、縦谷を穿ち
闊達であるが、世に餘り知られ
てゐない。

オールドマン平野 Old Man Plain
(濠洲)

ヴィクトリア州の南部。マレー
河の本流と支流に圍まれ、東は
高原によつて境せられ、東西三
百キロ、南北二百キロ。氣候は
乾燥してゐる。

オンバ河 Omba R. (ニューギ
ニア)

舊蘭領、西部即ちニューギニア
島頭部にあり、ヤムル湖より發
シアラフラ海に注ぐ河。

オントン・ジャヴァ諸島 Ontong-

Java Is. (太平洋諸島)

ロードハウエ諸島をみよ。

カ の 部

カー河 S. Ca (佛印)

北部安南にあり、コン河を合流
してゐるが、全延長六〇〇キロ
でクワラオ迄平水の場合小船を
通じ、増水時には小蒸氣船を通
ずる。

海峽植民地 Straits Settlements
(マレー)

マレー半島における英國の舊植
民地でシンガポール、ピナン、
ウエレスリー、マラツカ、ラブ
アン、クリスマス島、ココス島
を含む。面積一、三六六・五平
方哩。人口百十一萬四千十五人
海峽植民地は地域的にも、歴史
的にも一八六七年に一轄して海
峽植民地と呼ばれるまでには、
轉々とした政治的過程を辿つて
來た。(シンガポール、ピナン
ウエレスリー、マラツカ等の項
参照)

海峽植民地は英國の直轄領で、
その住民は英國臣民たるの資格
を有した。

その統治機構に就いて述べれば
海峽植民地政府の最高権力者は
總督で參議會及立法議會は總督
の補佐機關となつてゐる。従つ
て或る程度の自治を容認せられ
独自の法律「海峽植民地立法會
議の命令」(Ordinances of the
Legislative Council) を有する
が實質的に獨立國の内容を具へ
たカナダ、濠洲等の自治領とは
遙かに低い自治しか許されてゐ
ない。

總督は政治上の最高権力者で司
法、行政諸機關を總括、參議會
と立法議會がこれを補佐するが
法制上參議會の決議に拘束され
ることもなく、立法議會通過の
法案に對し成否の權限を持ち、
軍司令官をも兼務したもので、
皇帝に親任され植民大臣を通じ
て英本國政府の訓令によつて政
治を行つてゐた。シンガポール
に植民地政府の中央機關を置き
ピナン、マラツカに理事廳を置
き、知事が政務を統轄、シンガポ

ール、ピナン、マラツカには市
政、郡には郡評議會による自治
政が布かれてゐた。

カイリル島 Kairiru Is. (太平
洋諸島)

東北ニューギニア北岸ムシユ島
すぐ北方の島で、山岳多く最高
峰三千三百四十五呎、ジュオが
その主都で西岸ヴィクトリア灣
の小島にあり。

カイルンス Cairns (濠洲)

クインズランド州のヨーク半島
外海岸線上にあり、コーラル海
に臨み、南緯十六度五十三分
東經百四十五度四十五分に位す
る。東部海岸縦貫鐵道の北部曲
折地點である。此の町の周邊に
は河川、溪谷多く、パロンには
見事な瀑布がある。人口一萬五
千二百人(一九三九年調)町の
西方に古い水成岩よりなる鑛産
地あり、錫、銅の産地チラゲー
もその一つである。

カイバル峠 Khaibar Pass. (イ
ンド)

北西國境州からカパールに通ず
る峠で、印度北部の軍事、交通上
の重要地點。ペシャワールから

カブールまで二七〇キロ、陸商の交通が繁く、古来から歐洲から印度への重要な幹線である。

カイバラ Kaipara (ニューゼーランド)

北島の天然の良港。オークランド半島上にあり、同島鐵道の南端。ワイロア河口まで水路百九十キロ。カウリ木材の輸出が盛んである。

カイコウラ Kaikoura (ニューゼーランド)

南島東北部にある都市。附近一帯の農牧業の中心地をなし、避暑、避寒地として著名である。

カイ河 Kaii (モルツカ群島)

北群主島ハルマヘラ島を流れる河。

カイマナ Kaimana (ニューギニア)

舊蘭領西南部カムラウ湾口にあり、オニン土侯の據所でK. P. M汽船会社の定期寄航地、コパル、ゴム、コブラ、ダマールを輸出する。

カウアイ島 Kauai 又は atauai (太平洋諸島)

ハワイ諸島中の一、オアフ島西

北三キロ余、カウアイ海峡をはさんでゐる。全面積一四一四九〇六八六平方キロ、人口三五、六三六六、全島火山性で最高六千呎。全島比較的肥沃で農産に適し、コーヒー、米、砂糖等を産す。

一七七八年キャプテン、クックのハワイ諸島來航のとき最初に発見したのがカウアイ島である。一九四一年ブクネネ南方に空軍基地を設けた。

カウイ港 Cowie (ボルネオ)

舊英領北ボルネオ、カウイ灣に面した港市、附近には良質の油田があり、將來その開發が豫想されてゐる。また良質の石炭を産しかつてはカウイ港石炭會社が發掘してゐたが、一九三一年以後採業を停止してゐる。

カウイ灣 owie (ボルネオ)

舊英領北ボルネオにある灣。長さ廿四哩の大灣でカラマタン、スルドン兩河が注ぎ如何なる大型汽船をも收容し得る。灣岸にはマワオ市がある。灣岸には良質の石炭産地があり、同灣産石炭はスエズ以東で發掘された石

炭中最良質のものであると言はれる。また石油の産出もある。

カウイテ港 Cavite (比律賓)

マニラ市南方廿四キロ鐵道を通ず、マニラ灣を扼する軍港で、米アジア艦隊の根據地であつた。ドック、無電臺、飛行場、燃料貯蔵所等がある。

カウイテ州 Cavite (比律賓)

ルソン島マニラ灣南岸地帯、面積一、二〇二平方キロ、人口二三七、二七六(一九三九年)住民はマケログ族、カウイテに州廳あり、同町は米國の比島領有時代軍港となり米アジア艦隊の根據地であつた。スペイン領有末期革命動亂の中心地をなした。なほカウイテ州の産物としては米、麻、砂糖、椰子、カカオ、コーヒー、玉蜀黍、牛馬、果實等がある。

カウカレー Kawkaireik (ビルマ)

人口三千、泰國境に近いアムハースト縣にあり、近年附近より含油頁岩の産出で注目されるに至つた、頁岩層は六呎に及び一五%—二〇%の含油量である。皇軍は昭和十七年一月二十二日

これを占領した。道路はミヤソテイを経て泰に通じてゐる。

ガーウーン河 (ビルマ)

バセーン河の別名。

ガヴツ島 Gavz (太平洋諸島)

英領ソロモン群島のフロリダ島灣内の小島で、ツラギより廿分の航程にあり、レヴアス・パシフィック椰子會社の本社あり。

ガウラー山脈 Gawler Range (豪洲)

エア半島の北部にある。東西に横はる山脈で、ゲイルドナ湖の南方に位し、ナンニン山(六一〇メートル)を主峰としてゐる。

カウリアラ河 Kauriala (インド)

カンヂス河の支流であるゴクラ河の上流をいふ。

カウヴェリー河 Cauvery R. (インド)

テカン高原ニルギリ山地に源を發しベンガル灣に注ぐ。急流をなし三〇〇米に及ぶ瀬があるが、下流はタンヂョールの肥沃な平原をなしてゐる。

カウンプル Cawnpur (インド)

聯合州、ガンダス河の右岸にあり、人口二四萬、聯合州における商工業の中心地で同時に北印度綿工業の中心地である。又東印度、ボムベイ=パロダ、中央、印度大半島、ベンガル西北、オードロヒルカンドの五大鐵道の連絡點で交通の要點でもある。附近には小麦、大麥、棉花、豆、米、は革、羊毛の産があり、それらの取引場でもある。同市の大回教寺院は名高い。

ガウハティ Gauhati (インド) アッサム州カムループ地方の首都で、ブラマプトラ河畔にあり同河による商業の一大中心地となつてゐる。市中には有名なカマキヤ寺院があり、ブラマプトラ河の中のウマナンダ島といふ岩島は印度教徒の巡拜地となつてゐる。人口一萬。

カエーリ Kajeli (モルツカ群島) 南方ブルー島の主港であるが不健康地であまり盛んでない。

カオ・キーオ山 Khao Ki (タイ) タイ國東南部パーン・バ・コン河口附近に聳え、首都バンコク

クから眺め得る唯一の峯として有名、標高八百米。

カオバン Kao-Bang (佛印) 高平。佛印東北國境に近く、玉蜀黍を多量に産する。

カオバン州 Cao-Bang (佛印) 高平。佛印トンキン第二軍政區。面積六千七百平方キロ、人口十八萬四千二百六十七人(一九三八年)

カガヤン河 Cagayan (比律賓) ルソン島カガヤン州にあり、比島第一の長流で延長二百三十哩流域一萬平方哩、地味肥沃で煙草を産す。上流八十哩まで吃水淺き汽艇を漕江し得る。

カガヤン河 Cagayan (比律賓) ミンダナオ島ミサミス州にあり長さ四十哩。

カガヤン州 Cagayan (比律賓) ルソン島極北の州、面積七、七八八平方キロ。人口二九二、一三五(一九三九年)米、赤鐵礦硫黃、煙草、牛馬、マンガン、金を産す。住民はイバナグ族を主とし、他に少數のネグリト、イロカノ族あり。

カガヤン Cagayan (比律賓)

ミンダナオ島ミサミス・オリエンタル州廳所在地、人口四八、〇七四(一九三九年)埠頭、船渠、空港を有す。

カカツブ Kukup (マレー) マレー半島ジョホール州西海岸にある小港。沿岸汽船の寄港地であるが、渡洋船は入港不能である。

カカツブ島 Kukup (マレー) マレー半島ジョホール州南西岸にある小島。

カシ高地 Khashi Hills (インド) アッサム地方パライル山脈の西端高地をいふ。

カシノ Casino (漆洲) ニューサウスウェールズ州リッチモンド地方の都邑。リッチモンド河に沿ひ、グラフトンの北方で鐵路百八キロ。鐵道の接續點。ダーリングと連結する。ダウン山脈がこの土地まで伸びて来て平野となつてゐる。附近一帯に甘蔗の栽培が盛んで、人口は約四千である。

カストル山 Castor Mount (ニュージージーランド)

南島の山嶺。タツク山の南西にあり。海拔二、五二六米。

ガスベル海峡 Gasper Strait (小スンダ列島) 東印度諸島パンカ島とピリトン島間の海峡。

カタツク Cuttack (インド) オリッサ州、カルカツクより二五四マイル、マハー・ナツダイ河に臨み人口五萬余、オリッサ州の水陸交通の要衝で、軍事、商業の中心地である。

カタインガン Cataingan (比律賓) 比島マスバテ島東南にあり、人口三八、六七〇(一九三九年)、附近に温泉あり。

カタ Katha (ビルマ) サガイン管區の同名縣の首邑。イラワジ河右岸にあり、マンガレーミチナー線はナーバ支線をもつてこれと結ぶ約十五哩である。パーモとの間には定期便船がある。ラングーン—カタ—パーモを結ぶ道路は援蔣路の線であつた。

カタンドアネス島 Catanduanes (比律賓)

北緯一三度三〇—一四度〇六、東經一二四度〇二、一四度二五アルバイ州にあり、面積一、六五〇平方キロ、石炭を産す、島内にバンガニバン、ヴィロタ、バンダン、カロールボン、バト、ブラス、ヴィガの諸邑あり。

カテナ Kadina (濠洲)

南オーストラリア州の都邑。アデレードの北西鐵路百八十八キロ。ポートワラルーから十キロ銅山を控へ小麦産業の中心地、人口は約三千。

カチヤス (achas (インド)

上部アツサム地方、一七八八年當地で始めて印度固有の菜樹が発見された。

カチャル島 Katchali Island (インド)

ニコバル群島の一島。同群島一の良港のあるナウンコーリー島の西方洋上にある。

カツススルメイン Castlemaine (濠洲)

ヴィクトリア州のヴィクトリア諸高地帯の中間にある所謂タルボト地方の町であり、メルボルンの北西鐵路百二十六キロ。鐵

道、道路の要地である。人口は五千三百二十人(一九三九年調)金の産出額頗る多く、歴史的にも著名なところ。葡萄酒、果實及び石材の産出がある。

ガツタラン Gutluran (比律賓)

ルソン島カガヤン州にあり、人口二萬、煙草、砂金を産す。

カツチ灣 Gulf of Cutch (インド)

西岸カツチ島とカーテイヤロール半島によつて包まれて出來た灣で、眞名鱈、比目魚の漁獲があり。眞珠漁場があつて一つはジャムナガール藩王の經營するものであるが、他の一つはジャムナガール王とパロード王の經營になり、ウインドー・ペインといふ一種の牡蠣から眞珠を得てゐる。

カツチ島 Cutch Island (インド)

セイロンについて印度第二の大島で、インダスの河口とカーテイヤロール半島につままれた島

カテール Gateel (比律賓)

ミンダナオ島ダヴァオ州東部カテール灣に臨む、人口八、五一八(一九三九年)木材を産す。

ガデイス河 Gadis R. (比律賓)

マバヨリ州南部アンコラ河とマングダイリン河の合した河。

カデイス Cadiz (比律賓)

比島ネグロス島のネグロス・オクシデンタル州にあり、人口四一、九七六(一九三九年)

カテイブナン Katipunán (比律賓)

ミンダナオ島サンバレス州にあり、人口三四、九六六(一九三九年)

カーテイヤワール土侯國 Kathawar (インド)

カーテイヤワール半島地方の王國。

カードー Kado (ビルマ)

サルウィン河に臨み、モールメンの對岸に位し、木材の集散地である。

カードナー島 Gardner Is. (太平洋諸島)

英領フェニックス諸島の最南端の島の一、長さ二マイル以上で土地頗る肥沃で數個の大椰子園がある。

カーナーヴァン Carnavan (濠洲)

西オーストラリア州西海岸の中

心地である。人口は約二千二百。産物としては眞珠貝が出るほかカーナーヴァンの背後地帯には牧畜が盛んに行はれてゐる。

カー・ニコバル島 Car Nicobar Island (インド)

ニコバル群島最北の島、アイグリー海峽を隔てて小アングマ島と對峙する。

カハヤン河 Kahajan (ボルネオ)

島南部を流れ一名大ダヤク河とも云ふ。バリト河に次ぐ長さを持ち、三分の二は舟行に適す、下流はネルン河、バリト河に連絡してゐる。

カバンヂヤヘ Kabangdjahe (スマトラ)

東海本州トバ湖北方のカロ高地の避暑町。

カバツドバラン Cabadbaran (比律賓)

ミンダナオ島アゲサン州にあり人口二〇、四六四(一九三九年)木材を産す。

ガビエンダ Kavieng (太平洋諸島)

濠洲委任統治領だつたビスマーク群島ニューアイルランド島の北端の要港で、二千トシ以上の

船舶を着岸せしめる天然の良港
濠洲本土との連絡船が出入して
ゐた。

カビバガン河 Kabibagang (ボル
ネオ)

舊英領北ボルネオのラプツグ河
の支流。

カピス州 Capiz (比律賓)

比島中央のパナイ島にあり、面
積四、四二八平方キロ。人口四
〇四、五五六(一九三九年)住
民はグイサヤ族で基督教徒、麻
椰子、玉蜀黍、帽子、麻布、金
石炭、石炭、花崗石等を産す。
在留邦人三二人(一九三九年)

カピス Capiz (比律賓)

パナイ島北部カピス州廳所
在。南部のイロイロ市との間に
鐵道を通ず、吃水八呎以下の船
が碇泊し得。人口二九、〇〇三
(一九三九年)

カプアス河 Kapoeas R. (ボルネ
オ)

舊蘭領西部ボルネオ州を流れる
河でソロ河の二倍ある。中央山
地に源を發し流域に廣大な河谷
平野を展開し、ボンチアナに於
いて大三角洲を形成、カリマタ

海峽に注ぐボルネオ屈指の大河
で一三〇〇軒以上舟運の便があ
る。中流に大沈降盆地があり、
ベリタ湖、ルアル湖と濕地を抱
いてゐる。

カプール河 Kabul R. (インド)

インダス河の支流でアフガニス
タンのヒンズークシ山脈中に源
を發し、同國の首都カプールを
經てペシャワール附近でスワ
ート河を合し本流に注ぐ。印度語
ではカーブル河と讀む方が正し
い。

カプーンダ Kapunda (濠洲)

南オーストラリア州の都邑。ア
レードの北北鐵路七十キロ半。
大理石と銅の産出がある。人口
は約五千。

カホラウエ島 Kahoolawe (太平
洋諸島)

ハワイ諸島中の一、東マウイよ
リアアラケイキ海峽を隔てて位
し、全島の面積一一四、三五一
五八平方キロ、殆ど無住に近く
一般に低い島であるが最高千四
百五十呎である。全島岩石で覆
はれ不毛に近い。

カマール Kamal (ジャバ)



カヒ—カマ

餘の良港
出入して
hg(ボル
ブツク河
り、面
。人口四
九年)住
教徒、麻
織布、金
を産す。
三九年)
麻所在
との間に
以下の船
〇〇三
(ボルネ
を流れる
中央山
に河谷
ナに於
イマ

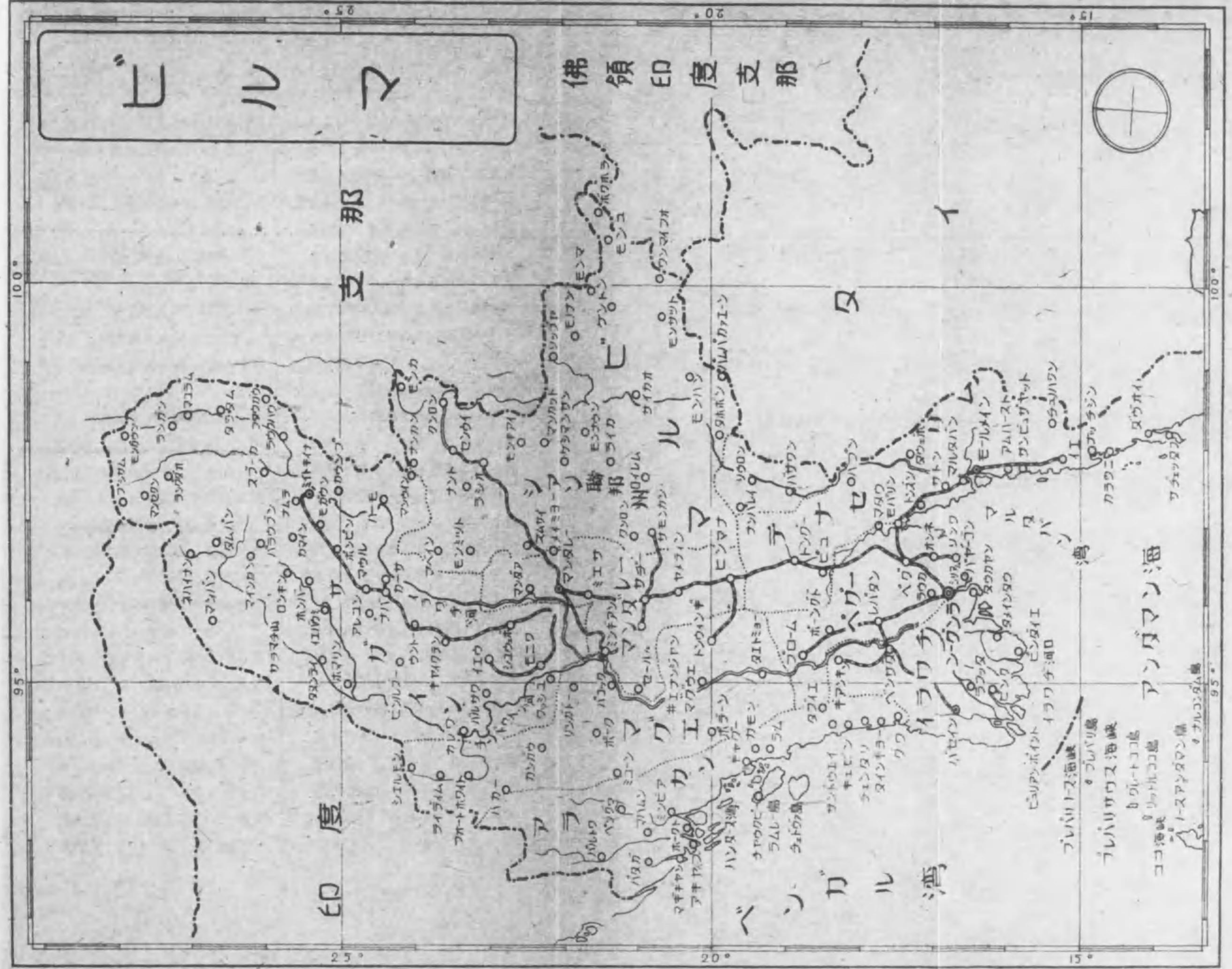
海峽に注ぐボルネオ屈指の大河
で一三〇〇軒以上舟運の便があ
る。中流に大沈降盆地があり、
ペリヤ湖、ルアル湖と濕地を抱
いてゐる。

カプール河 Kabul R. (インド)
インダス河の支流でアフガニス
タンのヒンズークシ山脈中に源
を發し、同國の首都カプールを
經てペシヤール附近でスワー
ト河を合し本流に注ぐ。印度語
ではカーブル河と讀む方が正し
い。

カブーンダ Kaponds (婆洲)
南オートラマヤ州の都邑。アテ
レードの北北鐵路七十キロ半。
大理石と銅の産出がある。人口
は約五千

**カホラウエ島 Kahoolawe (太平
洋諸島)**
ハワイ諸島中の一、東マウイよ
リアララケイキ海峽を隔てて位
し、全島の面積一四、三五一
五八平方キロ、殆ど無住に近く
一般に低い島であるが最高千四
百五十呎である。全島岩石で覆
はれ不毛に近い。

カマール Kamal (ジャバ)



東部ジャワマヅラ島輕鐵の始驛

カマカ・ワアレル湖 Kamaka

Waller (ニューギニア)

舊蘭領西南部ツウリイン灣東方の湖。

カマリダ Camalig (比律賓)

ルソン島アルバイ州、人口二二、二二一(一九三九年)住民はピコル族で附近に石灰石を産す。

カマリネス・ノルテ州 Camarines Norte (比律賓)

ルソン島ピコル半島基部にあり面積二、〇一八平方キロ、人口九七、九〇四(一九三九年)住民はピコル、グイサヤ、タガログ等基督教徒と少数のネグリティ族あり。産物は麻、玉蜀黍、煙草、金、銅、鐵、木材である。

カマリネス・スル州 Camarines Sur (比律賓)

ルソン島ピコル半島西南にあり面積五、三六六平方キロ、人口三八四、一〇一(一九三九年)住民はピコル、グイサヤ、タガログの諸族、産物は椰子、籐、麻、酒、金、銅、水銀、石炭、木材等、在留邦人八四(一九三九年)

上メコン Hau-Mékong (佛印)

佛印ラオスの一州、面積一萬二千九百平方キロ、人口二萬五百万
カミギン島 Camiguin (比律賓)
北緯一八度五五、東經一二二度五五の地點にあり、パタン州にあつて、島内はほとんど平地を有せず海拔五百乃至七百米の山脈走が走つてゐる。面積一五九平方キロ。

ガムビール諸島 Gambier Islands (太平洋諸島)

一七九六年、船長ウイルソンの発見と傳へる太平洋上の一諸島で、佛領植民地、五つの大島と數多の珊瑚礁でかこまれた小島嶼から成つてゐる。住民の大部分はローマン・カトリック教を奉じてゐる。面積六平方マイル、人口千五百六十餘、主島はマンガルヴァ島で椰子、蝶貝、コーヒーを産す。

カムンダン河 Kamoendan R.

(ニューギニア)

舊蘭領、西部フオーヘンコツブ南側を流れる河。

カムール河 Kamoor R. (ニューギニア)

舊蘭領、南部イアンプルグ山麓に源を發し南下してアラフラ海に注ぐ河。

ガム島 Gam (ニューギニア)

舊蘭領西北端近くのライグ島南側の小島。

ガムコノラー山 Gamkonora (モルツカ群島)

群島主島ハルマヘラ島北部にあり、標高は三〇〇〇米に達する。

カムラン Cam Ranh (佛印)

佛印安南東南岸にあり、廣さ四十二億平方メートル、出口のピンバ島で強風を防ぎ自然の良港をなし、海軍基地となりドック造兵、造船工場、燃料貯蔵所がある。

カムファ Cam Pha (佛印)

佛印トンキンの東南岸にあり、露天掘によつて多量の無煙炭を産し、カムファ港から積出される。カムファ港は岸壁九百八十四メートル、近代的な積込設備を有する。

カムフェタウン Campheltown (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の小都邑。カンバーランド地方にあ

り、シドニーの南西鐵路五十五キロ、古い植民地である。人口約千五百。

カメツト山 Mt. Kame (インド)

聯合州北端、チベット國境のヒマラヤ山脈中の高峰で、高さ二五、四三一呎。

ガヤ島 Gaya (ボルネオ)

舊英領北ボルネオ西海岸の小島ガヤ灣といふ投錨地を作つてゐる。

ガヤ Gaya (インド)

ビハール州、カルカッタの西方四四〇キロで、ガヤ縣の首都、人口七萬、この地方はラツクの主産地でラツク工場がある、産業都市としてよりは印度教徒の聖都として有名で、ヒンズーの主神ヴェイシイニエ神の足跡を祀る八角の大殿堂がある。

ガヨ地方 Gajobanden (スマトラ)

アチー州中央部のタワル湖附近より南方にかけての四圍山岳に圍まれた地方を指し、今世紀に入り開發さる。ガヨ路が海岸より通ふに到つた、人口稀薄であるが、米、馬、水牛が移出される。

カラシ Karang Asem

(小スタン列島)

バリ島デイルンテク王の王宮の所在地、海岸に王侯の禁苑オイジョンがある。

カラサン Kalasan (ジャワ)

チョクヂヤカルタ州チョクヂヤの東方にあり、ヒンドウ教の遺跡がある。

カラス島 Karas (ニューギニア)

舊蘭領、ボンベライ半島西岸の島。

カラシ山 Karang M. (ジャワ)

西部ジャワ省バンタム州中央や、北寄にある山で、標高一七八米。

カーラーキーリー山脈 Kalakiri (タイ)

タイ國領マレー半島の南端部舊英領マレーとの國境地帯にある山脈で、ナコーン・シータムマラート山脈の南端である。標高四百一十五米。

カラシ Klang (マレー)

マレー半島セラゴール州にあり、昔時富裕と強豪で同地方に覇を稱へたカラシ王朝の都があつた所、現在は人口一萬二千の

静かな町である。

カラバカン河 Kalabakang (ボルネオ)

舊英領北ボルネオ南東海岸カウイ灣に注ぐ河。概して急流で下流數マイルは舳で航行し得るが、上流地方は航行不可能である。沿岸は良質の木材の産出地として有名である。

カラダン河 Kaladan (ビルマ)

アラカン地方の唯一の重要河流で、上流ホイマー河はチン山地に源を發しチン・ルーシアイ兩山地を迂曲して北アラカンを流れてアキヤア海に注いでゐる。全長三百哩、アキヤア附近まで川蒸汽船が通ずる。

カラモアン Caramouan (比律賓)

ルソン島東南部カマリネス・スル州にあり、人口二二、五七四(一九三九年)

カラベ Calape (比律賓)

比島ホホール島カラベ灣に面し人口二一、〇七九(一九三九年)東方山中に石炭を産す。

カラシバ Calamba (比律賓)

ルソン島南部ラゲナ州にあり、人口三二、三六三(一九三九年)

比島革命家ホセ・リサールの生れた故地、製糖工場、飛行場あり。

カラガ Caraga (比律賓)

ミンダナオ島ダヴアオ州にあり人口一〇、八七七(一九三九年)木材を産す。

カラトラヴァ Calatrava (比律賓)

比島のネグロス島ネグロス・オクシデンタル州にあり、人口三八、七三三(一九三九年)附近に少量の石炭、金を産す。

カラヤン島 Calayan (比律賓)

北緯一九度二〇、東經一二一度三〇、バタン州にあり面積一一〇平方キロ、中央に海拔五四三米のカラヤン山あり、また島南岸に同名の小村あり。

カラングミート湖 Carangamite (漆洲)

ヴィクトリア州の湖沼で、ジェロンの西方八十キロ。周辺百五十キロ。湖形は南北に長く約三キロに達してゐる。無口湖で附近に数多の湖沼散在して一つの湖群を形成してゐる。

カラチ Karachi (インド)

カムベイ州北方でシンドの首都

アラビア海に面し西北印度第一の開港場である。アフガニスタン、イランとの貿易の重要拠点で港は一八四〇年に築港工事に着手し、一八七三年に完成した。人口二六萬餘で、附近には米、小麦、大麦、棉花、羊毛等を産し各種工場も多い。河港からも小麦、羊毛、皮革等を輸出、砂糖、綿布、鋼鐵、油、機械、食料品等を輸入する。

カラコルム山脈 Karakoram Range (インド)

パミール高原よりカシミールの北端を東に走る、世界第二高峰である。ゴツドウイン、オーステンはこの山脈中にある。グシャルブルーム峰(八、〇三五米)マシヤルブルーム峰(七、八二一米)、ゴールデン・スローン(七、七四六)の峻峰相並んで無数の氷河が懸つてゐる。

カラツト土侯國 Kalat (インド)

ベルチスタン地方、首都カラツト、イラン高原の周邊をなし極めて乾燥した氣候で半沙漠が多く、人口稀薄で遊牧的牧畜地方である。獣毛、毛皮などの産が

あるにすぎない。

カーランプーラ Kalanpura (インド)

ビハール・オリッサ州、炭田地区で一九三四年度三九萬餘トンの産があつた。

カリマタ海峡 Karimata St. (ホルネオ)

ホルネオ島とスマトラ島を隔てる海峡。

カリマタ諸島 Karimata Is. (ホルネオ)

ホルネオ島西岸にある諸島、主島はカリマタ島。

カリヂヤテイ Kalidjati (ジャワ)

西部ジャワ省バタビヤ州バタビヤ附近バヌマカン・チアムス地方にあり、陸海軍航空部隊の練習場と飛行學校がある。

カリアンゲツト Kalianget (ジャワ)

東部ジャワ省マヅラ島にあり固鹽工場所在地。

カリ・ブサル街 Kari besar (ジャワ)

バタビヤ舊市街の商業区で日本の臺灣銀行、横濱正金銀行、三井物産等の支店はじめオランダ

および歐洲人の主なる銀行、會社の支店がある。また他方は支那人商店が櫛比し繁榮してゐる

カリアンダ Kalianda (スマトラ)

ランボン州南端東部ラヂャバサ山麓にある町。

カーリーカツト Calicut (インド)

人口九萬餘、印度西海岸の開港都市、一四九八年ポルトガル人ヴァスコ・ダ・ガマが始めて歐洲より到着し、ヨーロッパと印度の交渉が始つたといふ因縁の地。椰子皮纖維、同製品、ゴブラ、コーヒー、茶、胡椒、ゴム魚肥の産あり、これを輸出し、金屬、機械、食料品等の輸入港である。

カーリー・ガンダツク河 Kali Gandak R. (インド)

ガンダス河の支流ガンダツク河の上流

カーリー河 Kali R. (インド)

ガンダス河の支流であるゴアラ河の上流をいふ。

ガルヴェツ島 Galvez Is. (太平洋諸島)

英保護領トンカー群島ハバイ島の別名。ハバイ島を参照。

カルステンツ峰 Carstensz tpm
(ニューギニア)

舊蘭領の中央山脈中の最高峰であるとともに東印度最高の山で四時雪を頂く、一九〇六年蘭人が頂上を極めた。

ガルンゲン山 Galoenggoeng (ジャワ)

西部ジャワ省ブレアングル州ガルーの東方の火山、標高二二四〇米

ガル—高原 Garoet Hills (ジャワ)

西部ジャワ省ブレアングル州北部ブレアングル山地の高原。ガルーの項参照。

ガル— Garai (ジャワ)

西部ジャワ省ブレアングル州ガルー高原にあり、海拔七六二米十四座の火山に囲れた風景絶佳なる避暑地で、近くには狩獵に適する森林あり、また保養向の温泉もある。人口約三萬、副理事官駐在地。

カルバウエンハツト Karbouwenngat (スマトラ)

西海岸州パダン高原フォト・ダコック附近にある谷で勝景の地

カルバウエンハツトとは水牛ヶ淵の意。

ガル Galle (セイロン)

セイロン島第二の港で、コロンボの港の築港されるまでは同市が唯一の港であつた。港内は水が浅く大型船は入れない。コロンボを距る七二哩。

カルタラ Kalutara (セイロン)

セイロン島コロンボの南二七哩の鐵道沿線にあり、茶、ゴムの栽培の中心地である。

カルゴールリー Kalgoorlie (濠洲)

西オーストラリア州、奥地の乾燥諸地方に屬し、パースの東方約六百十一キロの地點にある。南部海岸の縦貫鐵道と同地を起點とする内奥北部ラヴアートンに通ずる鐵道の分岐點である。人口四十六萬七千二百二十六人(一九三九年調)附近一帯は六千五百キロに亘る豊富な濠洲第一の金鑛地であり、附近のメラホア平原には石炭の産出もあり、木材の搬出も相當量に上つてゐる。荒涼たる沙漠地の都會であ

るので、遠く六百四十キロの地から鐵管で清水を導き飲用してゐる。

カルゴア河 Culgoa River (濠洲)

オーストラリア大陸最大のマレー河に注ぐ主流ダーリング河の大支流で、源をカンダミン河と稱し、クインズランド州の南東ツーウームバ附近の山脈に發して、北西に向ひ、南西に轉じて南緯三十度に至つて本流と合流する。

カルカツタ Calcutta (インド)

ベンガル州、ベンガル灣よりフグリー河を遡ること一二〇キロの地點にある。ベンガル州の首都であると同時に印度第一の大都會で人口は百四十萬を數へる印度の開港場としてもつとも古く紀元一七〇〇年ごろ英國はこの地を貿易港とし印度侵略の據點とした。

ガンヂス・デルタの肥沃な土地を背景に同港は印度黄麻の輸出港で約九五%は同港から積出され同時に世界的な黄麻工業地であつて、フグリー沿岸には八十餘の大工場があり三十萬の勞務

者が働いてゐる。このほか綿糸紡績、ガラス、製紙、製粉、製糖の輕工業を始め鐵道、機械製作の重工業が盛んである。

石灰、雲母、ラック、鉄鐵の集散市場でもあり、石油、綿布、鹽、砂糖、鐵鋼、セメント等の重要物資の莫大な量が取引されてゐる。同港は印度貿易總額の三五%を占め黄麻、茶、石炭、マンガン鐵、鉄鐵の輸出は全印輸出額の七分の三を占めてゐる

カルダモム丘陵 Cardamom Hills (インド)

南部マドラス州の高地で、アナイムデイ山を最高峰として高峻なる丘陵地帯をなす。

カレンニ土侯國 Karenni (ビルマ)

南シャン州の南部タイ國と國境を接し、サルウィン河に擴がる面積四千二百八十平方哩、人口五萬八千七百六十六名の土侯國で、印度の土侯國の如く獨立國であつてビルマの中にあるが、ビルマでも英領でもない。三つの國に更に分れてゐるが、最も大きなものはカンダラアデイと

云ふ面積三千十五平方哩、人口三萬六百七十七名、住民の大部分はカレン族である。ロイカイにはジャン聯邦事務官の派遣官吏がゐて、ジャンの各土侯國と同様監督をしてゐるが、土侯は鑛産、林産物の権利を有し独自の活動をしてゐる。資源はチーク材、ウォルフオラム、亞鉛の産があり、モオウチ鑛山は有名である。

カレミヨ Kalemyo (ビルマ)
上チンドウインのカレワより當地を経てアツサムのアイジャルに通ずる道あり。

カレワ Kalewa (ビルマ)
チンドウイン河右岸にあり、チン山地派遣軍事警備隊の駐屯である。

カロ高原 Karoogulakte (スマトラ)
東海岸州トバ湖北方の高原地帯で別荘地として外來客が多い。

カロリナ群島 Kapolinen Arch (太平洋諸島)
一五二七年ポルトガル人の発見でセクイラ群島といはれたが、次いでスペイン人がヤツブ島の

東ウルシ諸島を発見し、スペイン領とし、一五二九年クサイを発見全諸島をカロリナ群島と稱した。一八八五年獨逸艦隊はヤツブ島を占領し種々の協定を結んだ。群島の總面積二百七十萬平方キロ、バラオ諸島を除けば二百萬平方キロであるが、陸地は千四百五十平方キロで、バラオ諸島を除けば千平方キロである。多くの島は玄武岩からなる大島で土壤に富んでゐる、ボナベ、ヤツブ、トラツク、クサイのほかは合して二百平方キロの七百餘の珊瑚礁である。最東端のクサイ島から最西のアンガウル島迄の航程は千七百哩である。

カロ Kalaw (ビルマ)
南ジャン州にあり、海拔四、二九二呎でタウンチ方面に良道あり鐵道もある。

カローカン Calocan (比律賓)
ルソン島リサール州にあり、マニラ市から八キロ、人口五九、九六四(一九三九年)

カローツクビリー山脈 Currock Billy Range (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の東岸にある海岸山脈で、南は南緯三十六度から北は同三十四度四十分に通じ、西から北はショールヘヴン河によつて切斷される低山脈である。

カツームバ Katoomba (濠洲)
ニューサウスウェールズ州クック地方にあるグルー山脈中の主要都市。シドニー西方百六キロ觀光地として著名。附近に炭田がある、人口は約四千である。

カワウ島 Kawau Island (ニュージーランド)
北島の北西部に位するハウチキ湾にある岩島。オークランドの北方四十八キロ 周囲四十サロ。

カワ・カモチヤン Kawah Kamoljan (ジャワ)
西部ジャワ省ブレアンゲル州カルーより行程約一時間半のところにある泥火山の一種の沸泥池がある。

カンエン Kwang-Yen (佛印)
ハイフォン(海防)の東北にあり石炭を産す。

カンガル Kangar (マレー)
マレー半島パリス河口から五

哩の上流地點にあり、サンラングとともにパリス州の海上交通の要點で高潮時にはジャンクが溯江する。

カンガル島 Kangaroo Island (濠洲)
南オーストラリア州に屬する島で、首都アデレードの先端セントヴィンセント灣を覆ふが如く横はつてゐる。北はイングレスチゲート海峡を隔てヨーク半島の南部に對し、東はバツクストレート水道によつてヒンドマーシ半島に面し、面積は東西百四十四キロ、南北五十八キロ、四千五百五十二平方キロの島であり、人口は僅か一千餘人である。氣候は一年を通じて變化なく、快適である。

島の東北部は水河の運搬した漂土より成つてゐて農業に適し、西部と南部とは砂質で岩壤の全土いたる所にある。交通はアデレードと本島第二の町ホツクベーとの間に舟運がある。船は毎木曜と土曜との二回就航してをり、冬季は一回で土曜日のみ就航してゐる。

島の西端には動植物を保護する

フリンダース禁獵區がある。またこの島には鐘乳洞が数多あり有名である。産物としては農業では大麥、小麥、果實類を産出し、野獸ではカンガルが捕獲され、工業ではユーカリ油が精製されてゐる。この島のキングスコートは商業の中心地である。

カンダガン Kandangan (ボルネオ)

舊蘭領南東ボルネオ州パンヂェルマシム東北百四十軒のところにあり、附近最大の街で兵舎があり、農業・工業も行れてゐる。

カンチャナブリー Kanch. dbari (タイ)

タイ國クエー・ナイ河及びクエー・ノイ河の合流点にある都市、昔時タイ國とモーラ國との關門に當つてゐたのでビルマ軍の進撃は此處から行はれタイ國はこゝに兵力を常駐してゐたといはれる。現在は同地方のチーク等の木材類、サファイヤ、黒煙石等の寶石類、金、鐵、煙草、甘蔗の集散地。

カンタン Kantang (タイ)

タイ國マレー半島の西海岸にあ

る開港場、同地方一帯は錫産地帯であるが、一九三一年の國際錫協定の結果ツンソン以北及び以西産の錫は全部同港から輸出することを規定された。

カンタベリー地方 Canterbury (ニュージーランド)

南島中央部東側、カンタベリー平野を中心とする地方。クライストチャーチが中心都市である。カンタベリー平野は地味肥沃で、黄土、ロームで覆はれてゐる。幅三十マイル乃至六十マイル、長さ百マイル餘にわたつて絶好の肉用細羊、コリアール細羊の飼育地であり、小麥の産出も亦豊富である。

一九三七一三八年は穀物作付は總面積の六三%を占め、小麥の作付面積はその八十四%を占めてゐる。西部にニュージーランド最高峰のクック山が横はり、クライストチャーチの他にアカルア、リツテルトンの兩港があり、そのうちリツテルトン、オマル、イマワルが開港場である。

カンタラワデイ土侯國 Cantarawadi (ビルマ)

カレンニ土侯國の項参照。

カンドル Kandal (佛印)

カンボジアの一州。面積三千八百平方キロ、人口四十一萬八千六百。

カントー Can-tho (佛印)

交趾支那の一州。面積二千三百平方キロ、人口三十七萬二千七百。

カンドギリ丘陵 Khandgiri Hills (インド)

オリッサ州、ブバネーシワールから西北六マイル、ジャイナ教佛教に屬する古い洞窟がある。

ガンヂス平原 (インド)

デカン高原、ヒマラヤ山脈、スリマン山脈等に圍まれ、世界の大河ガンヂス河が中央部を流れ廣大にして豊饒なる沃野をなして人口密度も印度中で最も稠密で、一億八千萬の人口を包容してゐる。恒河はその東部でブラマプトラ河と合し偉大なるガンヂスデルタを形成し、黄麻、米の農産物を生み、カルカッタ、バトナ、アグラ、ラクノー、デリー、ベナレスの大都市はいづれもこの平原にある。

ガンダツク河 Gandak R. (インド)

ガンヂス河の支流ネパールの山中に源を發し南流してハジプールの本流に注ぐ。

ガンヂス河 Ganges R. (インド)

中央ヒマラヤ、ネパールの山中に源を發しヒンドスタン平原の中央を東に流れ、ベンガルでブラマプトラ河を合して南流し、ベンガル灣に注ぐ。延長三、〇〇〇キロ、その流域は百七十三萬平方キロで宗教的にも經濟的にも、印度における最も重要な河川である。ゴクラ、ラプテイ、ガンダツクの諸支流は中央ヒマラヤ山中に源を發し南流して本流と合し、グインディヤ・チャル山地に源を發するチャムバルソンの諸河は北流してこれに合しガンヂス平原に網の目の如き水系を作つてゐる。

カンチンジュンガー山 Mt. Kinchinjunga (インド)

印度語ではキンチエンヂユンガーと呼ばれる、エヴェレストの東方ネパールにあり、海拔八、五〇〇米。

カンディ Kandy (セイロン)
人口四萬、セイロン島コロomboを距る七十四哩の鐵路沿線にあり中部州の首都で海拔一、六五四呎の高地にあり、避暑地として有名、昔時の土人王國のカンディ王國の古都であつた。

ガンネダー Gannedah (濠洲)
ニューサウスウェールズ州の都邑である。パツタランドに屬してをり、ニューカッスルと鐵路三百七キロを隔てをり、ナモイ河に沿つてゐる。石炭を産出する。人口は約四千五百である。

カンバル河 Kampar R. (スマトラ)
東海岸州を流れスダ海に入る河。

カンバル Kampar (マレー)
マレー半島西海岸中部ベラ州にある小邑。西部鐵道の要驛で地方交通經濟の中心地。大東亞戰爭に際し皇軍のマレー西岸部隊は一月二日同地を占領した。

カンボジア Cambodia (佛印)
一八六三年佛國の保護領となる面積一八一、〇〇〇平方キロであつたが、タイ・佛印協定によ

つて約三分の一程度をタイ國に譲渡したため、約十三萬平方キロとなつた。首都プノンベンは人口十萬二千、カンボジアの米を主とし、ほかに煙草、カボツク、棉花、胡椒、玉蜀黍、砂糖ゴムがあり、米の年産は百萬乃至百萬トンである。

カンボジア保護領は次の十三州一市から成る。

カンボ、カンダール、カンボンクナン、カンボンチユナン、カンボンズプー、カンボントン、クラチエ、ブレイベン、ピユルサ、ソアイリエン、スチユントラン、タケオ、市一プノンベン

ガンビア群島 Gambier Islands (濠洲)

南オーストラリア州の南岸スペンサー灣にあり、南緯三十五度六分の地點にある群島。其の中のウェッジ Wedge 島が最大である。

カンバーウエル Camberwell (濠洲)
ヴィクトリア州の都邑。メルボルンの東方九キロの地點にあり人口は約一萬三千である。

カンバーダウン Camperdown (濠洲)

ニューサウスウェールズ州。シドニー郊外の地區であり、數多の學校が存在し、特にシドニー大學があり、人口約五千である。

カンホア Khanh-hoa (佛印)
慶和。安南の一州。面積四千三百平方キロ、人口十二萬四千六百。

カンボンシヤム Kompong-cham (佛印)
交趾支那の一州、面積七千七百平方キロ、人口四十五萬。

カンボンクナン Kompong-chhnang (佛印)
カンボジアの一州、面積五千六百平方キロ、人口十六萬五千七百。

カンポ Kampot (佛印)
佛印カンボジアの一州、面積一萬七千六百平方キロ、人口二十一萬九千。

カンモン Cam-mon (佛印)
佛印ラオスの一州、面積二萬六千四百平方キロ。人口十萬五千三百。

カントン島 (マリー島) Can-

ton Is. or Mary Is. (太平洋諸島)

フェニックス諸島の一で英領か米領か所屬は未定である。一九三六年英國短權帆船レイス號がきて英國旗を樹立し、翌年再航してクリスマス島に無電柱を設置同年六月ウエリントン號は日使觀測隊員を乗せて寄港した。これと時を同じうして米艦アグオセツト號も同目的で來泊し、米領を宣言、互に主張したが一九三八年三月米國政府はカントン、エンダーベリー兩島の宗主權宣言、兩國間に問題を起したが、米國は着々施設をなして無電局を設置、海軍省直轄の下にミッドウエー、ウエーキの兩島と同一條件で汎米空輸會社に同島の使用を許可した。同年八月英米兩國主權問題はとにかくとして商業、航空國際通信機關として同島を利用する權利を有する協定が成立し、米國は海陸兩用の空港を設けた。

キの部

キエンアン Kiên-an (佛印)

建安。トンキンの一州、面積九百平方キロ、人口四千五萬三千百三十四 (一九三八年)

ギスボーン Gisborne (ニュージラッド)

北島の東北海岸に臨む都邑。マヒア半島の北方に位し、ボグアーチー灣に面し、南西方のナビール港と毎日汽船を通じてゐる。東北地方の物資の集散地。羊毛、羊肉を輸出する。人口約六千二百である。(一九三八年調) 一七六九年キャップテン・タックのニュージラッド島最初の上陸地である。

キストナ河 Kistna R. (インド)

西ガッツ山脈に源を發し東南に流れボムベイ州ムイダラバードを貫流し、延長千三百キロに及ぶ。ベスダラ附近ではダムを作り灌漑を行つてゐる。

ギゾ Gizo (太平洋諸島)

ソロモン群島に含まれるニュージョージヤ諸島の支離所在地で島の中央部がかなり高くなつた

美しい島。ロヴィアナ湖からギゾに至るまではダイヤモンド海峽やホーソン水道などの風浪より遮蔽された水路を辿つて航行することができる。

北センイ土侯國 North Hsenwi

ビルマシヤン聯邦州、北シヤン州の一土侯國で面積六千三百三十平方哩、九三九の村から成つてゐる。

北シヤン州 Northern Shan States (ビルマ)

シヤン聯邦州の項参照。

北アングマン島 North Andaman

アングマン群島中最高峰の二、四〇二呎高地あり、コーン・ウオーリス港は本島にある。アングマン群島の項参照。

北ボルネオ(舊英領) North Borneo (ボルネオ)

ボルネオ島北部にあつて南は舊蘭領ボルネオに西部はブルネイ王國に接する。面積七萬五千五百八十六平方呎、人口二十七萬二百二十三人 (一九三一年)

地形は概して高峻で平野に乏しいが河の流域には地味肥沃な平地がある。住民はブスン族、支

那人、バゲヤウ族、ムルツト族等で全人口の四分の三は西海岸地方に住んでゐる。

英領北ボルネオは英領ボルネオ會社 The British North Borneo Co. の統治する所で、勅任の重役がロンドンに重役會を組織して居り内務大臣の承認を経た總督を選任派遣し、外交官以外の諸権限は總督の掌握する所である。總督は六十名の英人官吏の補佐をうけ大審院長をも兼ねてゐる。

全領をサンダカン・クダツ、西海岸、中部、ヌワオの四理事廳二十一郡に分けてゐる。主産物はゴムで外にココ椰子、サゴ椰子、米等を産する。

北小島 (新南群島)

新南群島の項参照。

北二子島 (新南群島)

新南群島の項参照。

龜甲島 (新南群島)

新南群島の項参照。

キツサル島 Kiar (小スンダ列島)

小スンダ列島チモール島北方にある島。

キツセライウ島 Kisatraiug Island (ビルマ)

メルグアイー群島。メルグアイー市の南方洋上にある。

ギトジツト Gitgit (小スンダ列島)

バリ島、シンカラジャより一時間の行程、で行ける町で豊饒な耕地の山腹にありブーヤン、タンプリンゲン、プランタン山湖へは徒歩で行ける。

キナバタンガン河 Kinabatangan

(ボルネオ) 舊英領北ボルネオ最大の河川。海岸から百二十哩の地點までは六呎の船脚を有する船は遡江可能であり、小船は支流タンクラップ河まで遡江出来る。下流地方は人口少く燕巢の集散地スカンを敷へうるに過ぎない。

キナバル山 Kinabalu (ボルネオ)

舊英領北ボルネオにある花崗岩質の高山。標高一三 四五五呎。

キナバタンガン平野 Kinabatangan (ボルネオ)

舊英領北ボルネオ、キナバタン河の流域平野で、米、煙草、椰

子、ゴム等を産出する。

畿内七州 (タイ)

タイ国のメコン河流域にあるクルン・テープ、アユタヤー、ナコーン・チャイシー、ラーチャブリー、ナコーン・サワーン、ピサヌローク、プラーチンブリー(舊行政区劃)諸州を包括する地方でタイ米の産地として有名で「タイの穀倉」と云はれ、タイの總米作面積の五八%を占め、アユタヤー州はその主産地で、その三〇%餘が本州に産してゐる。

キーネタウン Kynetown (濠洲)

ヴィクトリア州の都邑。カンバズ河に沿ひ、メルボルンの北西鐵路九十二キロ、人口は約三千、農業及び産金の中心地。観光地でもある。

ギノバタン Guinobatan (比律賓)

ルソン島アルバイ州、人口二七、三七六(一九三九年)附近の山中から石炭を産し、麻の名産地

キヤンベラ Cambera (濠洲)

ニューサウスウェルズ州、シドニーの西南約三百三十キロ、メ

ルボルンの東北約六百キロの地點にあり。マールンビギー河の上流に當る。濠洲の最高峰コッシーエシコ山脈の丘陵の間に介在する。面積は二千四百三十五平方キロ 人口一萬四千八人。濠洲聯邦政府の所在地。

市街の北方に工場區、中央部に市政廳區、行政区あり、西方に住居區、大學町あり、また田園區もあり、放射狀市街が計畫されて近代的都市の模範をなしてゐる。この附近一帯は聯邦政府の直轄地となつてゐる。

ギヤンヤール Gaujar (小スンダ列島)

小スンダ列島バリ島にある町。

キラルニー Killarney (濠洲)

クイーンズランド州ワルウィツクの都邑。ワルウィツクから來る鐵道支線の終點。海拔五百五十四米。産物としては小麦が主として出され、牧場が多い。人口は約二千である。

キラキラ Kirakira (太平洋諸島)

英領サンクリストヴアル島北岸の港で、保護領支廳所在地。

キリワナ諸島 Kiriwana Is. (太

平洋諸島)

トロンブリアン諸島を参照。

キリワナ島 Kiriwana Is. (太平洋諸島)

バプア東南部地區、トロンブリアン諸島の主島で南北廿八マイル幅員五マイルの低平な珊瑚島。中部の西岸ロスミアはその首都である。

ギリ Giri (ジャワ)

東部ジャワ省スラバヤ州グリセイより約十軒のところであり、ジャワに於けるイスラム朝の遺蹟がある。

キーリング島 Keeling (マレー)

ココス島の項を参照。

キリガルボタ山 Mt. Kirgalpota (セイロン)

セイロン島の中央高地の山名。

キリンデイ・オヤ河 Kirindi Oya (セイロン)

セイロン中央部高地に源を發し南岸にそゞぐ。

キルビー山脈 Kirby Range (濠洲)

クイーンズランド州の中部に位し北部カーベンタリヤ灣に排水するフリンダー河等と南方エイア

河等との分水嶺に當る。東西走る山嶺の一つで、西はセワイン山脈に連り、東は東經百四十三度の子午線を過ぎて尙ほ東方に向ひ、その餘脈は大分水山脈に合する。

ギルバート諸島 (別名キングスミル群島) Gilbert Islands or Kingsmiel Group (太平洋諸島)

我が南洋委任統治領のマーシャル群島と米領サモア諸島を結ぶ一線のほゞ中線を西南に廿五度の環狀珊瑚礁が一連の鎖となつて連つてゐるが、これらの中赤道以北がギルバート諸島である。以南はエリス諸島と呼ぶ。ギルバート諸島を北部・中部・南部と三分し、マキンブタリタリ、マラケイ、アバイアン、タラワ、マイアナ、クリア、アラヌカ、アベママ(以上又北部ギルバート諸島)、ノノワチ、タビトイア(以上中部ギルバート諸島)、オノトア、ベル、ヌクナウタマナ、アロイ(以上南部ギルバート諸島)と分ち 以上十六個の島の總面積は四二七 九七二平方キロ、住民はマー系ホ

リネシヤ族、バナハン族の人口二八、六三一人である。大部分は極めて低地の珊瑚礁で、主産物はコブラであり、住民はクリスチャンである。

タララ島は多数の岩礁による絶好の投錨地で、ポリネシヤとメラネシヤの混血人が多く、群島中の重要港をなし最新式の無電局がある。英国直轄植民地。

ギルドフォード Guildford (濠洲)

西オーストラリア州スワン地方の都邑。パースの北東鐵路十四キロ半。スワン河植民地最古のもの。人口は三千二百である。

ギルギット河 Gilgit R. (インド)

インダス河の支流でパミール高原に源を發し、カシミール地方で本流に合してゐる。

ギルギット盆地 Gilgit Basin (インド)

北部カシミール州、スリナガルの北部に位し、カラコルム、ヒマラヤ兩山地間に介在し、ギルギットはその中心地となつてゐる。

キルサー山脈 Kirthas Mountains (インド)

スライマン山脈はクヴェツタまで延びて、更にその以南に及ぶが、その東方の褶曲山脈をキルサー山脈といひ、インダス河に沿つて海岸に達してゐる。延長二五〇キロ。

キングマン島 Kingman Is. (太平洋諸島)

米領バルミラ島北方にあり、米の前進基地として有名である。

キングストン Kingston (ニュージラランド)

南島南端ワカチア湖の南端にあり、カメルタウンからの鐵道の終點である。避暑客が雲集する。

キングス島 Kings Island (インド) 印度半島南西四八〇キロ、マルダイク群島の主島で、ココアコブラの産がある。別名マリー島。マルダイク群島の項参照。

キングソーン King Son (濠洲)

西オーストラリア州の北方に位し、ダンヒール半島の東方にあり、南北百十キロ、東西六十キロ。北東部にベツカニール群

島が横はり、その南西のサンデー群島との間にサンデー海峡がある。

キンタマニ Kintamani (小スンダ列島)

小スンダ列島バリ島、同島都市中最高地にあり、ペンリより田園丘陵地を経て漸次登つて達する。海拔五千呎、涼氣甚しく夜は布毛を必要とする。附近のヘネロカンからはバートルの湖と火山が指呼の間に見え同地より俯瞰する光景は雄大である。

キンタ谷 Kinta (マレー)

マレー半島ペラ河上流にあり、附近一帯は産錫地帯である。

キングストン Kingston (濠洲)

南オーストラリア州の東南にあり、マウントガンビアの北部に位し、南海岸に臨んでゐる。鐵道はマウントガンビアに通じてゐる。人口は五千四百九人(一九三九年推定)此の土地は小麥栽培の中心地であり、牧羊も盛んに行はれてゐる。

ギン・ガンガ河 Gin Ganga River (セイロン)

セイロン中部の高地に源を發し

南岸カレ市の附近で印度洋に入る。

キンドト Kindat (ビルマ)

チンドウィン河畔の一邑。同地まで四季を通じて航行の便がある。

キング島 King Island (ビルマ)

メールグイー群島中の最大の島で面積一七〇平方哩、ゴムの栽培が行はれてゐる。

ク の 部

グアダルキヤナル島 Guadalcanal (太平洋諸島)

英領ソロモン群島中最大の島でフロリダ島の南にあり、地形は極めて峻險、最高峰は八千呎に達してゐる。島の東海岸は肥沃で椰子園多し。

クアラ・ルムプール Kuala Lumpur (マレー)

吉隆坡。別名コーランゴ。マレー半島にあり。舊マレー聯邦州首都。セラングール州首都、クラン河口四十軒、半島の略中央部にあり約四十年前に建設され

た都市で、官衙、銀行會社、病院、俱樂部等近代的設備の整つた街である。舊聯邦州經濟、文化の中心地であるとともに英國植民地行政の本據であり、同地の農事試験場は各種の熱帯産植物が試植され、マレー産業開發の指導開發に寄與してゐる。公園も立派でメイヒンの公園と併稱せられる。

郊外は一帶にゴム栽培地で、英人經營のエステートゴム園があり、また半島一の大規模錫鑛發掘が米國のユーコンゴールド會社によつて行はれてゐた。ポートスウェツテンハム港との間に鐵道の便あり。

大東亞戰爭に際し、我がマレー西岸部隊は一月十一日同地を占領した。

クアラ・カンサー Kuala Kangsar (マレー)

マレー半島ペラ州にあり、舊ペラ州王の都で半島における唯一のマレー人の都だけあつてマレー人が多い。

クアラ・カプアス Kuala Kapuas (ホルネオ)

舊蘭領南東ホルネオ州南部バンザエルマシンの都市であるが、バンザエルマシンのにおされ盛んでない。

クアラ・ベレイト Kuala Belait (ホルネオ)

舊ブルネイ王國の小港市でアルネイーラアアア—クアラ・ベレイト—リムバン間に定期船の便があり、物資を集散する。

グアル・プリオク Gual Perioh (マレー)

クランタン州の北部タイ國々境に近いバシル・マス地方にあり滿掩鑛の鑛山がある。鑛山は露天鑛で鑛石は輕便鐵道によつてグアル・プリオク驛に運ばれ、ついで聯邦鐵道によつてトウムバットに出しそこから汽船に積み込まれる。一九三五年の積出量一萬六百七十八噸。

クアラ・トレンガヌ Kuala Trengganu (マレー)

マレー半島トレンガヌ州東海岸トレンガヌ河口の港市。高潮時には十二、三呎までの吃水の船が入港し、ケママンとともに沿岸各地との間に小蒸汽船及びモ

ーターボートが往復して物資を集散してゐる。

大東亞戰爭に際し皇軍マレー東岸部隊は十二月十八日同地を占領した。

クアラ・クライ Kuala Krai (マレー)

マレー半島クランタン州東部縦貫鐵道沿線の小邑で無線電話局あり。

大東亞戰爭に際して皇軍マレー作戦部隊は十二月十八日同地を占領した。

クアラ・セラシゴール Kuala Selangor (マレー)

セラシゴール州にあり、オランダ覇權時代にオランダが此處に錫購買の商館を開いた古い都市である。クアラ・ルムブル、ポートスウェツテンハムとの間に鐵道の連絡がある。

クアラ・リピス Kuala Lipis (マレー)

舊英領マレー半島州にある、地方の中心都邑で無線電話局がある

クアン Kuala (マレー)

マレー半島セラシゴール州にあり、同地とバンタンベルジャン

タイ間には鐵道連絡の便あり、同地方の物資集散地。

クアンタン Kuantan (マレー)

マレー半島パハン州の東海岸クアンタン河の河口にある小邑。無電局がある。

大東亞戰爭に際し我海軍航空部隊はクアンタン沖合で英國戦艦ブリンズ・オブ・ウエルズ及レパルスを撃沈した。また皇軍マレー東岸部隊は十二月卅一日同地を占領した。

クインスタウン Queestown (濠洲)

タスマニヤ州の西海岸にあり、ポートデヴィーの北岸に位し、背後にライエル山脈が連なり、ライエル南部溪谷から流れるゴルドン河河口にある。交通はデウオンボートへのモントリーエル鐵道による他は地上の交通は不可能である。

この町はライエル、ピスタヨフセーハンの諸山脈から採掘される金、亜鉛、石炭、銅等の天然資源に恵まれた鑛業街である。鑛産資源はタスマニヤ島第一である。また林産資源も豊富で製材

所もあり、煉瓦製造所もある人口約四千である。

クインスクリッフ .Qaenseliff
(濠洲)

ヴィクトリア州の海港。ポートフイリツプ湾の人口にあり、メルボルンより南西方五十一キロ半の地点にある。海水浴地として著名。人口約二千である。

クインスタウン Queenstown(ニュージーランド)

南島南部ワカチア湖の中央北部に位する遊覧都市。風光明媚で避暑地として著名。

クイロン Quilon(インド)

印度南部西岸にある小港で、マルコポーロがこの港をコクルムといふ名で呼んでゐた。

クエー・ヤイ Kwe Yai(タイ)

タイ國にある河。メーナム・メークローン河の一支流で、西方國境北緯十五度附近に發源する。大河の意でカーンブリー附近でクエー・ノーイ(小河)に合流してメーナム・メークローンとなる。流域には亜鉛、鉛及び少量の銀を含む方鉛礦の脈がある。

クエー・ノーイ Kwe Noi(タイ)

タイ國にある河。メーナム・メークローン河の一支流で、西方國境一六度附近に發源する。小河の意でカーンブリー附近でクエー・ヤイ(大河)に合流してメーナム・メークローンとなる。

クエツタ Quetta(インド)

バルチスタンの西部、ラホールより一、一〇〇キロの地点、チヤマンを経てアフガニスタン及びイランに通ずる交通の要衝都市は海拔一、四〇〇米の高地にある。農牧畜が行はれ果實、羊毛、綿布、金物、砂糖等の取引の中心地であり、人口は約六萬軍事上にも要衝の地である。

クサイエ島 Kusai Is. (太平洋諸島)

我が委任統治領カロリナ群島の最東にある玄武岩島で、長さ八哩、幅六哩、面積百十平方キロ多丘で中央に山あり、ブツヘル山は五百八十二メートル、ヌクロチエール山は六百五十七メートルで、この兩山の間に深い隙隙があつて島を兩断し、その兩

端にシャプロール港とコツキール港がある。公學校、ホナベ醫院分院、警部補派出所あり、島民にはクリスト教が盛んである
グシャルブルム Gusharbrum(インド)

カラコルム山脈中の一峰、海拔八、〇三五米。

クズダル Khudar(インド)

バルチスタン地方シンドに近く附近は鐵、鉛の産地である。

クタパン Ketapang(ボルネオ)

舊蘭領、西ボルネオ州、南部の都市で分州の首府である。

クタチヤネ Koutajan(スマトラ)

アチエ州南部アラス地方の中心地で、水田耕作が行はれてゐる。其他農産物を多く産出する

クダラヂヤ Kutaradja(スマトラ)

アチエ州の首都、メダンより北上した鐵道の終點で、外港にウレリエウがある。人口一萬五千、サルタンの王宮がある。米、バナナ、コブラ、胡椒を輸出する。

クータマンドラ Cootamaundra

(濠洲)

ニューサウスウエールズ州ハルダンの都邑。鐵道の接續點に當り、シドニーと四百十四キロ隔つてをり、農牧業及び鑛山地の中心である。人口約四千。

クダツ Kudat(ボルネオ)

舊英領北ボルネオの東北部にあり、マルツ灣に面する良港でシンガポールとの間に航路があり、ゴム、煙草の集散地である。また附近には良質の油田があり將來の發掘を豫想されてゐる。

クチン河 Kuching(ボルネオ)

別名サラワク河。舊サラワク王國の河川で西部舊蘭領ボルネオとの國境から北流して北海岸に注ぐ全長百哩内外であるが千餘噸の汽船は二十哩の上流のクチンまで遡江出来る。上流地帯には水銀礦、金礦、アンチモニー、金剛石を産出する。

クチン Kuching(ボルネオ)

ボルネオ島舊サラワク王國の首都、同國の北西部海岸サラワク河の上流二十哩の地點にあり、同國の中央行政機關、學校、圖書館、博物館、寺院、商社等が

あり、政治、経済、交通、文化の一大中心地であつた。大東亞戦争に際し皇軍は昭和十六年十二月二十五日同地を占領した。

クツクタウン Cooktown (濠洲)

クインズランド東部高地北方海岸の港町。ヨーク半島の外海岸線上にあり、コーラル海に臨んでゐる。人口は三千五百七十人(一九三九年調)

この町の四周には花崗岩山脈が連り、奥地のラウラ金鑛地の山入口である。ラウラ地帯から金銅、石炭等が積出される。甘蔗糖産地の中心地であり、眞珠採取船の根據地である。

クツク山 Cook Mount (ニュージーランド)

南島南アルプス連峰の最高峰。標高一二、三四九フイート。南緯四十三度三十五分、東經百七十度十分にある。雪線を凌ぎ、數多の氷河を有し、タスマニヤ氷河は延長二十九キロに及んでゐる。

クツク海峡 Cook Strait (ニュージーランド)

ニュージーランド南島と北島の

間にある海峡、北西から南東に向ひ北島のテラウイチ岬と南島のアダバワ島との間が最も狭くその距離は約二十二マイル。本海峡は一七六九年クツクが発見したものである。

クツク諸島 Cook Islands (太平洋諸島)

ハーヴェイ群島ともいひ、ニュージーランドの統治下にあり、島數大凡十五、南北の兩群島より成り、火山岩を以て構成する面積三六八平方キロで、人口はポリネシヤ族を主とする一萬二千、主なる島はマンガイア、アテイウ、ハーヴェイ、ラロトンガの諸島である。島民はサモア島から移住したものといはれ、一八八八年英領となつた。本島は英船長ハーヴェイの発見といひハーヴェイと命名したが後キャプテン・クツクが來航してクツク諸島と稱するやうになつた。一八二三年英人宣教師が來て教化運動をなし、島民の殆どはクリスト教徒である。一九〇一年ニュージーランドの統治下となる。柑橘、バナナ、椰子、

トマト、蝶貝を主要物産とす。

グツドエナフ島 G o i e n u g h I s. (太平洋諸島)

バブア東部地区、ダントカスト群島の一つでフェルグツワン島西方にあり、その間はモレスビー海峡で、又ニューギニア本島との間はワードハント海峡で隔てられてゐる。全島山岳多く最高峰八、五〇〇呎。低き部分は東北部にあるにすぎない。火山質で火口の間歇泉あり、又硫黄を産す。首都モラタは東岸の南部にある。

クッラム河 Kurram R. (インド)

インダス河の支流でアフガニスタンのサフエド・コー丘陵に源を發し、イサ・ケールで本流に注ぐ。

クテイ Koetei (ボルネオ)

舊蘭領、南東ボルネオ州バンゲヤルマシン分州にあり、歐式農園によるゴム、コーヒーが栽培されてゐる。

クテイ河 Koetei R. (ボルネオ)

ボルネオ島南東部ボルネオ州を流れる河。マハカム河の別稱同

項参照。

クデイリ Kediri (ジャバ)

東部ジャバ省クデイリ州首都。國鐵線に沿ふ都市。同地方の農産物集散地。

グーデフーフ岬 Goede Hoop Tng. (ニューギニア)

舊蘭領西部フォーヘルコツプ半島北端の岬、ヤムルスバ岬ともいふ。附近からは良質の米を産す。

グデ山 Gede (ジャバ)

西部ジャバ省ブレアングル州北境にある火山で山腹にバイテンソルフ市がある。標高二、九五八米。

クードウス Keedoos (ジャバ)

中部ジャバ省スマラン州スマランの東北方ムリア山麓にあり、商業が盛んで砂糖工場が多い。

クーナムブル Coonamfle (濠洲)

ニューサウスウェールズ州ライヒハルトの郡邑。カツスルー河に沿ひ、シドニーと六百三キロを隔て、農業の中心地。州立農業試験所、駝鳥飼育場がある。人口は約四千である。

クヌンシトリ Goenoengaitoli (ス

マトラ)

タバヌリ州沖のニアス島の港で
コブラ、肉荳蔻を輸出する。

アノン・アピ山 Goen. eng Api.
(小スンダ列島)

バンダ島の活火山、高度五二〇
米、マレー語でアノンとは山を
指しアピは火のことでありアノ
ンアピは即ち火山を意味する。

クバイアン Kepahiang (スマト
ラ)

パレンバン州ムシ河上流西境に
あり上ムツ、河上流の中心地、
煙草を産す。

クーパー河 Cooper's Creek (濠
洲)

クインズランド、南オーストラ
リア両州に跨内り、地流域の河
川に属しエイア湖に注ぐ主要河
川で、オーストラリア第二の大
河である。源をクインズランド
州の中央高原に登してゐる。流
程千三百七十キロ。雨季には水
量は増大するが、乾季には減水
し水が中断するところもある。

クーバン Kuebang (小スンダ列
島)

小スンダ列島チモール島の西岸

にあり州府所在地、因みに同州
は小スンダ列島中スンバワ島以
東の全島嶼を包含し、面積六三、
三二四方軒、人口一九三〇年一
六五萬七三七六六人である。海拔
四五米、平均気温二六度一分。

クマムバ諸島 Koemamba (ニュー
ギニア)

舊蘭領、北東部にある諸島。

クムバコナム Kumbakouam (イ
ンド)

南部マドラス州、印度最大の塔
といはれる大塔をもつて名高い
この塔はヴィシニユーを祭る寺
院の入口にあるもので十一階、
一四七フイート。

クムナ Kumuna (セイロン)

セイロン島南岸クンブカン・ア
ル河の河口にある小邑。

グラシオサ灣 Graciosa Bay (太
平洋諸島)

サンタクルズ諸島中でも完全な
船舶の碇泊地。

クラチエ Kratie (佛印)

佛印カンボジアの中央東部にあ
り、メコン河を見下す断崖の上
にあり、ここまでは稍々大型の
船も通行可能で、地方貨物を集

散せしめる。

クラチエ州 Kratié (佛印)

カンボジアの一州、面積二萬八
千四百平方キロ、人口六萬九千
八百八十。

クラバット火山 Klabat M. (セ
レベス)

メナド州東北端にある火山。標
高二、〇一八米、山麓にメナド
ケマ間の道路が通じてゐる。

クラテン Klaten (ジャワ)

スラカルタ知事州西部メラヒ山
の麓にあり、煙草栽培試験場の
所在地。

クラカ湖 Klakab L. (ジャワ)

東部ジャワ省オーストフツタ
(東端)バスマン州ラモンガ
ン火山の湖。

クラムボン Krampon (ジャワ)

東部ジャワ省マツラ島の小邑、
同所の附近で採取した鹽を一定
の型に固める固鹽工場がある。

クラワング地方 Krawang (ジ
ャワ)

西部ジャワ省バタビヤ州クラワ
ング分州北部チタルム河兩岸の
平野で、同地方は元來濕地帯で
排水悪く人口稀薄であつたが、

近年灌漑工事により面目一新し
て農産物が飛躍的に増加しつづ
ある。

クラワング Krawang (ジャワ)

西部ジャワ省バタビヤ州にあり
バタビヤよりチエリボン方面へ
通ずる鐵道驛であるとともに附
近への輕便鐵道の起點で、同地
方農業の開發進捗とともに榮え
つつあり、支那人の精米所があ
る。

グランヴィル Graurille (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の都
邑。シドニーの西方二十一キ
ロ。工業の中心地。人口は約一
萬七千五百。

クラフトン Grafton (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の都
邑。シドニーの北東五百六十キ
ロ、クラレンス河口の上流七十
二キロ。ベーコン・クリーム、
木材、タンニン等を産し、沃野
の中心地である。砂糖、玉蜀黍
オランダ等を集散し附近には炭
田がある。人口は七千余。

クラドル山 Cradle Mount (濠洲)

タスマニヤ島の北西にあるサー
リー丘の南東部にある山。海拔

一千五百四十五米。同島第一の高山である。

グラッドストーン Gladstone (濠洲)

ヴィクトリア州の海港。ブリスベーンの北北西五百七十一軒、モルゲン嶺山に近く、金、銀、マンガン等の集散地。附近一帯に牧畜業が盛んである。人口は僅か二千にも足りない小都市。

クラウチー湾 Cloudy Bay (ニュージーランド)

南島の北東端クック海峡に面してをり、その北岸にクラウチー港がある。その東の入口は南緯四十一度二十分、東経百七十度十分に位し、ワイラウ河が注入してゐる。

クラ運河 Kra canal (タイ)

タイ國領マレー半島の最狭部クラ地峽を開鑿して運河にする計畫があつたが、巨費と國際的關係のため差止みとなつた。

クライ Kulai (マレー)

マレー半島ジョホール州の南部にありマレー縦貫鐵道の要驛。大東亞戦争に際し皇軍マレー作戦部隊は一月廿日同地を占領し

た。

クラン島 Klang (マレー)

マレー半島セランゴール州西海岸の小島。

グラ山 Grah (マレー)

マレー半島ペラ州とケランタン州の境界に聳える高山。標高二〇九〇米。

クライスト・チャーチ Christchurch (ニュージーランド)

南島中央部の東側カンタベリー平野の中心地。畜産物、農産物の集散地。人口十三萬四千百である。英國基督教徒によつて開拓された牧場地帯の中心地をなし、街の中央に名高い教會が聳えてゐる。その他カンタベリー大學、博物館、美術館等あり水力電氣を利用し工業が著しく發達し、大凍水所があり、羊毛、羊肉、皮革を輸出してゐる。鐵道は東岸各港と連結してゐる。南島軍司令部の所在地。

クラ河 Kra River (ビルマ)

タイ、ビルマ國境を流れヴィクトリアポイントでベンガル灣にそゞ。干満の差極めて多く、三十キロ上流のクラブリー附近

でも七、八米に達する。

クラカタウ火山 Krakatau P.

(スマトラ)

スンダ海峡ジャワ島とスマトラとの中間南部にある活火山島である。同島はかつて海拔二千米に達する島であつたが大爆發で爆破し特に一八八三年八月廿六日の大爆發によつて現在の島になつた。この爆發の際數千の犠牲者を出したが、これは爆發噴出物によるのではなく、三十米に及ぶ大津浪がスンダ海峡兩岸の人畜を襲つた結果である。爆發音は三千軒の外地に及び火山灰は上層氣流に乗り地球を三回轉したと傳へられてゐる。

クリンチ地方 Kelintji (スマトラ)

西海岸州インドラブラ山西麓地帯、水田多くコーヒー、茶を産す。

クリンチ山 Kelintji M. (スマトラ)

西海岸州南部インドラブラ山の別名。

グリセ Grisee (ジャワ)

東部ジャワ省スラバヤ州スラバ

ヤ北方二十五哩のところであり現在は人口約二萬の小都市であるがかつては東印度會社の根據地であつた。現在數の舊蹟(神聖な墓)があるほか石灰岩丘、造船場があり、食用燕巢を産し、附近に養魚池、鹽田がある。

グリム岬 Grim Cape (濠洲)

タスマニヤ島の北西端にある岬。南緯四十度四十四分に位しタスマニヤ島の極北地を占め、北方はハンター島に對し、北西方はキング島に對してゐる。

グリマス Greymouth (ニュージーランド)

南島ホキチカの北々東に位し、クレー河口に沿ひ、ウェストランドの中心地。良港で金、石炭の輸出港である。煉瓦工場、製材工場があり、附近から金、石炭を産出する。

クリスマス島 Christmas (マレー)

ジャワ島南方印度洋上にあり、面積六〇平方哩、一八八八年英國に合併され海峽植民地總督の行政下に置かれ、一九〇〇年にシンガポールの一部となつた。

燐鉱石が多い。

グリーン諸島 Green Islands (太平洋諸島)

ニツサン諸島を参照

グリンヴィル島 Grenville Is. (太平洋諸島)

ロツマ島を参照。

クリア島 Kuria (太平洋諸島)

英國直轄植民地、ギルバート諸島の小島嶼で長さ四哩、幅二哩、主な部落としてトアンガオナあり、政廳駐在所がある。

クリスマス島 Christmas Is. (太平洋諸島)

印度洋にも同名の島あり、英國直轄植民地クリスマス諸島の南端の島。ハワイ群島の南に當りバルミラ、ワシントン、フアニング島等とともにラインランド或はアメリカン・アイランドと呼ばれ、海面に低く露出した大環礁である。ギルバート群島民及びタヒチ島民が移住してクアノ生産に従事してゐる。島の周囲約百マイル、面積六萬エーカーに過ぎない。英國は定期的に軍艦を派遣し、米國はクリスマス島を含む同諸島の三島を航空

基地として獲得せんとし、英國は無電塔を設置した。英國の中央太平洋椰子會社は一九一四年以來七十五ヶ年間同島を租借してゐる。英國は同島の所有を確認するため一九三八年更に公式手段を講じた。島内にカトリック教會あり。

グリーン島 Green Island (ピルマ)

アムハースト海岸沖にあり、燈臺がある。

グリツク Grik (マレー)

マレー半島ペラ州上ペラにある小邑。無電局がある。

クリアス河 Klias (ボルネオ)

舊英領北ボルネオのブユーフォート、メンバクツト間の沼澤地に發源する河川沿岸にはサゴ椰子が豊富に産出する。

クルネガラ Kurunega'a (セイロン)

セイロン島西北州の首都で、コロンボから五十八哩の地點にあり茶、ゴム、ココアの栽培が行はれる。

クルジヤ Khurja (インド)

首都デリーの南東に位し、商工

業が盛んで、且鐵道の中心地である。附近は棉花の栽培が行はれ、紡績工場も多い人口、二萬七千。

グルダスプール Gurdaspur (インド)

パンジブ州の中央部、アムリットサル北東七五軒に位し小麦、甘蔗、米等を産出する、人口一萬餘。

クルー Kros (スマトラ)

ランボン州西岸にある農産物輸出港。

グールバーン Goulburn (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の一都市。シドニー南西二百十六軒ウオロンゲー河に沿つてゐる。農牧業の中心地。煉瓦、紙、酒麥粉等の工業が盛んであり、壯大な新舊兩教寺院がある。人口は約一萬五千である。

クルンクン Kloerkoeng (小スンダ列島)

バリ島の小邑木彫、金銀細工の製作中心地で附近に有名なゲルゲル寺院がある。

クルート山 Kelot (ジャバ)

東部ジャバ省バスルマン州クダ

イリ州境にある火山、標高一、七三一米突然爆發し火口湖水を現出する。山麓はサイザル、甘蔗が栽培され、高所には、コーヒー園がある。

クルドウ島 Koeroedoe (ニューギニア)

舊蘭領フェールフィンク灣ロヤーベン島の東方にある小島。

グレートケイ島 Goroot Kei (小スンダ列島)

ケイ諸島中東側の主島。

クール島 Koer (小スンダ列島)

ケイ諸島の北西の小島であるがアンボイナ州に屬しケイ諸島の主島とは種族も言語も異なる點が注目されてゐる。

クールガルディー Coolgardie (濠洲)

西オーストラリア州の都邑。カルゲルリーの南西三十七キロ。金産地の中心地であり、南方に廣大なダングラス産金地がある。カルゲルリーと鐵道を通じてゐる。人口は約四萬。

クルーサー河 Clutha River (ニュージーランド)

南島南アルプス連峰中のワカチブ湖を源とし

南流し、マナコ湖、ハウエヤ湖を貫きベルクルーサー地方に出て南太平洋に注ぐ大河。流程二百十哩。この國第一の流量の多い河川であり、舟運の便も大である。

クルアン Kluang (マレー)

マレー半島ジョホール州の中部にある小邑。マレー鐵道の要衝で地方經濟、交通の要點。

大東亞戦争に皇軍マレー作戦部隊は一月廿六日同地を占領した

クールグ州 Coorg (インド)

マイソール藩王國西南國境地方辨務官州、面積四、一四一・八平方キロ、人口一六萬三千、土地高峻で文化の發達遅れ、米コーヒーが主産物である。

クルティー Kurti (インド)

ベンガル州、一八七五年當地にベンガル鐵鋼會社が熔鑄爐を設置し、現在タタ鐵鋼、印度鐵鋼の二會社とともに、近代的科學的方法により大規模な製鐵會社として活動してゐる。五基の熔鑄爐を有し、現在四十萬トンの生産能力があり、一萬名の職工が居てシングブーム地方に鑛區

を有してゐるが、他に六萬トンの生産能力を有するレール鑄造工場もある。

グレートヴィクトリヤ沙漠 Great Victoria Desert (濠洲)

西オーストラリヤ州南東部にあり西は同州中央區東部から、東は南オーストラリヤ州東部に入り、北は南緯二十六度附近に従つて東西に走り山地に連し、南は南緯三十度の高原地に達する大沙漠で、西部は數多の河川狀の鹹湖があり、南部には横斷鐵道が東西に通じ、その一部は砂金地帯である。

グレート・デヴァイディング山脈 (大分水嶺山脈) Great Dividing Range (濠洲)

オーストラリヤ・アルプスの支峰。その西方に位し、メルボルンの北方から弓形を描いて北東に走り、クールバーン河で主山脈と區別されてゐる。平均高度千五百米内外。トルプレック山(一、五二〇米)を主峰として以西は次第に低下してビレンネー山脈となり、高度は六百米内外になり、西方のグランピア山脈と



ルークレ

ヤ道
に備
置二
量の
も六

中部
要街

職部
した
地方
ハ
、土
米コ

地ニ
を成
織銅
塔基
論世
の道
ンの
職工
織匠

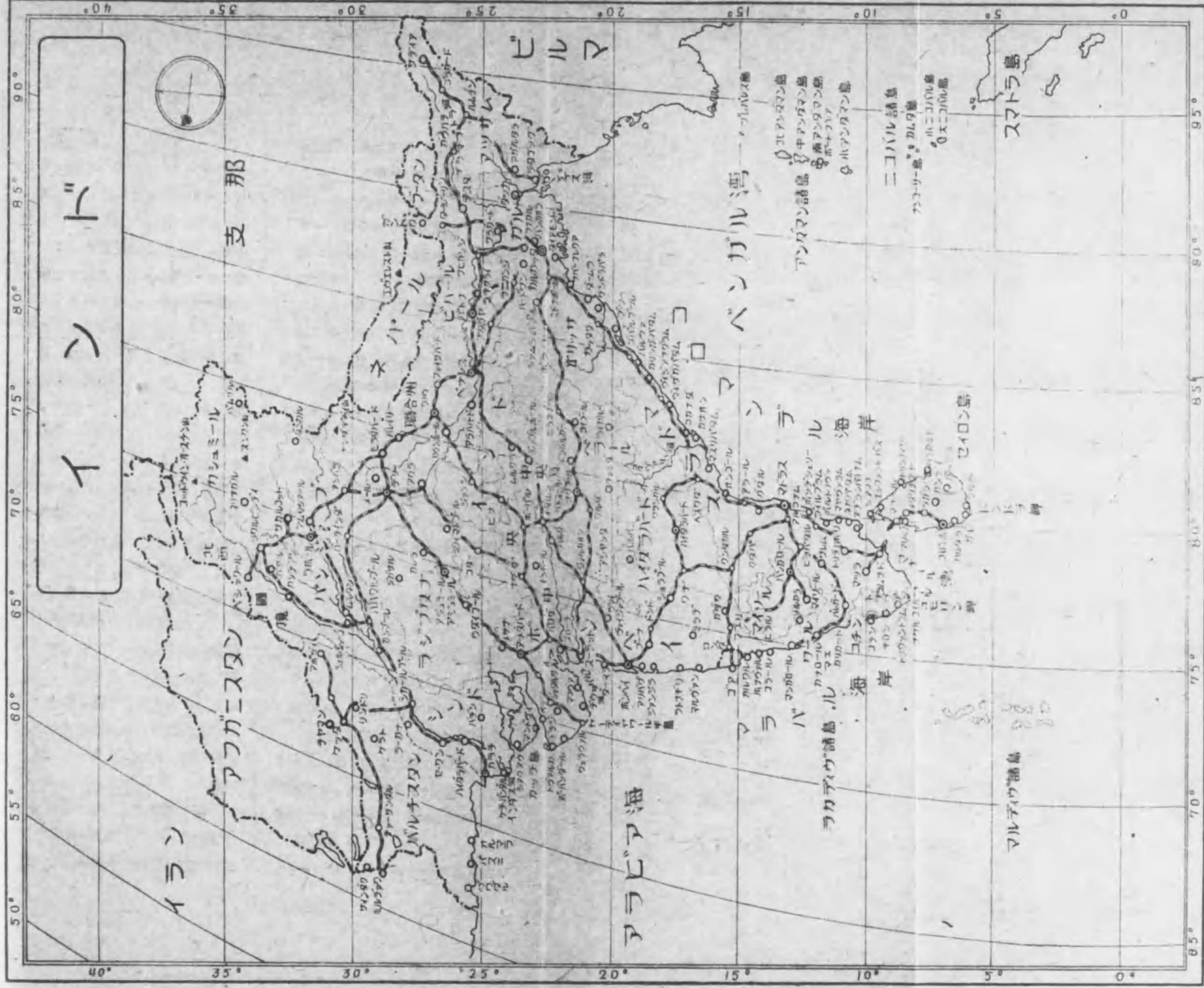
を有してゐるが、他に六萬トンの生産能力を有するレール製造工場もある。

グレートヴィクトリア沙灘 Great Victoria Desert (沙漠)

西オーストラリア州南部にあり西は同州中央區東部から、東は南オーストラリア州東部に入り、北は南緯二十六度附近に從つて東西に走り山地に達し、南は南緯三十度の高原地に達する大沙漠で、西部は數多の河川狀の蝸湖があり、南部には横断鉄道が東西に通じ、その一部は砂金地帯である。

グレート・デヴアイディング山脈 (大分水嶺山脈) Great Dividing Range (濠洲)

オーストラリア・アルプスの支峰。その西方に位し、メルボルンの北方から弓形を描いて北東に走り、クールバーン河で主山脈と區別されてゐる。平均高度千五百米内外。トルブレック山(一、五二〇米)を主峰として以西は次第に低下してビレニー山脈となり、高度は六百米内外になり、西方のグランビア山脈と



連絡する。

グレイヴ島 Grave (太平洋諸島)

ソロモン群島のニュージョージヤ諸島のギゾ島から椰子樹を並木とした堤道によつて連なる小島。中央部が高く、海岸には潤潤な平地がある。丘の上の碑は白人の男女の墓で、丘の下の平地には一九一四年赤痢で斃れた数百の島民の墓がある。

グレート・サンド砂漠 Great Sand Desert (濠洲)

西オーストラリア州キンバリーの南方。東經百二十一度半乃至百二十九度、南緯約十九度半乃至二十四度にわたる大沙漠。南はギブソン沙漠に接し、南西部と南東部に数多の鹹湖が横はり荒漠無邊の荒地である。

グレート湖 Great Lake (濠洲)

タスマニア島ウエストモアランド地方に属す湖沼である。グレートウエスタン山脈の南方に横はり、長さ十四軒、幅三軒である。

グレート・オーストラリア灣 Great Australian Bight (濠洲)

オーストラリア大陸の南岸にあ

る大灣、東はエイア半島の西方イングエスチゲートル群島と西は西オーストラリア州のイースターン群島との間に横はる大海灣である。延長一千キロ、深さ百五十メートル、海岸線は殆んど單調で良港なく、陸岸には荒涼たる土地が多い。

グレート・ウエスタン山脈 Great Western Mountains (濠洲)

タスマニア島中央東部にあるタマル河と西方盆地との分水嶺にあたり、クラウド、アイヨンストーン(一、四四四メートル)ドライスブラツクの諸山がある。

クレイン・ケイ Klein Kei (小スンダ列島)

ケイ諸島西側の主島で、同島にはツウアル港がある。

クレルモント Clirmont (濠洲)

クインスランド州クレルモント地方の一都市。ロツクハンプトンの西方鐵路二百六十七キロの内地にあり。金、銅、石炭を産出する。人口は約千三百。

クレン・インネス Glen Innes (濠洲)

ニューサウスウエールズ州ニュー

ーイングランド高原の首邑。シ
ドニーの北方鐵路六百八十キロ
クインズランド鐵道の幹線に沿
ふ。錫嶺山の中心地。ウオルフ
オラム、モリブデンも産出する
人口は約五千。

グレート・バリア島 Great Barr-
ier Island (ニューゼーランド)
北島北部のホウラキ灣外にある
島嶼で、南緯三十六度乃至二十
分、東經百七十五度三十分にあ
つて、南北に長く沿岸線の出入
多く、土地が高起し、最高地は
ホブソン山(七一〇メートル)
である。銅の産地として著名で
ある。

クレダン山脈 Kledang (マレー)
マレー半島ケルバウ山脈とピン
メン山脈の間を走る低山脈。花
崗岩及珪岩より成る。

クロヤ Kroja (ジャバ)
中部ジャバ省バンユマス州南部
の町で交通の要衝。

クーロン湖 Cuorong Lake (濠
洲)
グイタトリア州エンカウンター
灣頭にある潟湖。ヤングハスバ
ンド半島によつて同灣と隔てら

れてをる。湖の西北部は膨脹し
てアレクサンドリナ湖となり、
オーストラリア第一のマレー河
を容れる。

クロムウエル Cromwell (ニュー
ゼーランド)

南島南部オタゴ地方の山岳部に
あり、アレクサンドラとともに
林檎の主産地をなす。鐵道の終
點にある。

クローン・マカーム・タオ Klong
Mahkam Tao (タイ)

メナム河の一分流の名。メナム
河の項参照。

クロード・タウン Claude Town
(ボルネオ)

舊サラワク王国、パラム河上流
約六十哩の地點にある小邑。パ
ラム河流域の物資を集散する。

クロツカー山脈 Croker (ボルネ
オ)

舊英領北ボルネオの山脈、ババ
ー河は當山脈に發源する。

クワ河 Gwa R. (ビルマ)

アラカン地方サンドエー縣を流
れる河名。

グワム島 Guam (太平洋諸島)

マリアナ諸島最南端の島で、長

き五十キロ、幅五乃至十六キロ
面積五四四平方キロチヤモロ族
を主とする。二萬餘の人口を有
する古くはスペイン領であつた
が一八九八年米西戦争の結果米
の領有に歸してゐたもの、古く
ラドロン即ち海賊島、マリアナ
と呼ばれた。米國領島嶼中最遠
距離のものであつたが、太平洋
航空路の發達によつて航行四十
八時間の圏内にあり、着々軍備
設備をなしてゐた。米國海軍省
の直轄で重要な基地だつた。南
部は山多く、西岸に沿うて七百
呎から千三百呎位の小丘が連り
數多の河流が東海の海に注いで
ゐる。同島沿岸は珊瑚礁を以て
かこまれてゐるが軍港アバラ、
商港ビテイのほかには首都たるア
カニヤ港がある。

グワリオール藩王国 Gwalior(イ
ンド)

中部印度、面積六八、五五四・
二平方キロ、人口三、五二三萬
一千、小麥の産多く。砂岩、
石灰岩、鐵、雲母の産出もある。
綿布製造も行はれてゐる。北部
のグワリオールが首都。

グワリオール Gwalior (インド)

ラーチア地方アグラの南方
七〇マイル、グワリオール藩王
國の首都で、ジャブイプールの
東方にあり人口九萬、棉花、阿
片、油種子の栽培が盛んである。
市内には製革、陶器、カーベツ
トの工場がある。有名なグワリ
オール大城がある。

グワダル Gwadar (インド)

バルチスタン、行政上オーマン
國の一部となつてゐる。

クワンダン Kwadang (セレベ
ス)

メナド州北部東北半島の中央部
北岸にある小港。

クワンエン州 Quang-yen (佛印)

廣安。佛印トンキンの一州、面
積三千四百平方キロ、人口十九
萬三千人(一九三八年)

クワンビン州 Quang-binh (佛
印)

廣平。佛印安南の一州、面積八
千平方キロ、人口三二萬五千

クワンナム州 Quang-nam (佛印)

廣南。佛印南安の一州、面積一
萬二千平方キロ、人口百萬。
甘蔗の栽培が盛んである。

クワンガイ州 Quang-gai (佛印)

廣義。佛印安南の一州、面積四千二百平方キロ、人口四四萬七千八百、甘蔗の栽培で知られる。

クワントリ州 Quang-tri (佛印)

佛印安南の一州、面積四千七百平方キロ、人口十八萬一千四百、同州のツージャは製米業の中心地である。

クワムツト河 Kwamut (ボルネオ)

舊英領北ボルネオの河、急流で船舶の航行に適せず、小型の舟筏の航行を許すのみである。

クワンタン河 Kuantan (マレー)

マレー半島パハン州北部の小河

クンタン山脈 Kuntan (タイ)

泰國北中央部にある山脈。

グンドウル山 Goentoer (ジャワ)

西部ジャワ省ブレアンゲル州カールの西北にある火山、標高二、二四八米。

クンデン山 Kendeng (ジャワ)

中部ジャワ省ルンパンゲ州北東部にある山で、山腹にチークが繁茂してゐる。

クンブカン・アル河 Kumbukkan

Ar. River (セイロン)

セイロン島中央部高地に源を發し南岸クムナで印度洋にそそぐ。

クンロン Kunlong (ビルマ)

北シアン州、ロー・ステーツの支那國境に近く、ラシオーセマイを経て支那に通ずる交通の要衝である。

ケの部

ケアン州 Que-an (佛印)

九安。安南の一州、面積一萬六千平方キロ、人口七十一萬三千。

ケイ諸島 Kei Inseln (小スダン列島)

南列の東北端ニューギニア島ボンブライ半島南方八五哩、面積一四八二方軒の群島、大ケイ、小ケイ等よりなる、人口約三萬、同諸島にはアルフル族及びマレー族とバプア族の混種が居住し、玉蜀黍、甘藷、大薯、サゴ、バナナ、ココナを産し、チーク樹の産が多い。

ケオンジヤール Keonjhar (イン

ド)

オリッサ州中央部鐵礦産地として有名で年二十萬トンの産がある。又の名をニジガルといふ。

ケガラ Kegalla (セイロン)

セイロン島、コロンボの東北四十九哩の地點にあり、茶栽培の中心地で附近から黒鉛礦の産出もある。

ケダー州 Kedah (マレー)

マレー半島の舊非聯邦州の一州、面積三六四〇平方哩、人口約四三萬人。古くはタイ國の支配下にあつたが、一六五四年—一七一一年までオランダの勢力下にあつた。一八二一年タイ國人が侵入して四ヶ國に分れて國を樹てゐるが、一九〇九年英暹條約の結果英國の支配下に入り一九二三年以來英國の保護國となり顧問を置いてゐた。産物ゴム、米。

ケダー山 Kedah (マレー)

マレー半島ケダー州にあり、標高一二二二米、珪岩より成る。

ケダー河 Kedah (マレー)

マレー半島ケダー州北部にあり同州西海岸に注ぐ河。

ケダーシンゴラ山脈 Kedah Singgora (マレー)

マレー半島ケダー州とタイ國國境に連る山脈で珪岩及花崗岩層より成る。

ケタム島 Ketam (マレー)

マレー半島セララゴール州西海岸の小島。

ゲヂ山 Gede (ジャワ)

西部ジャワ省バンドム州西北端にある小さき山。

ケデイリ州 Kediri (ジャワ)

東部ジャワ省に屬する理事州で面積六千六百平方軒、人口二四一萬一千、首都はゲナイリである。

ケドウ州 Kedoe (ジャワ)

ケヅ州と同じ、中部ジャワ省に屬する理事州で、面積五千四百平方軒、人口二五三萬六千、首都はマゲランにある。

ケバ火山 Keba (スマトラ)

レヤング火山群に屬し標高一九七八米。

ゲマス Gemas (マレー)

マレー半島ジョホール州境に近いネグリスマラン州の南部にあり、マレー半島縦貫東西兩岸線

の分岐点で、地方交通、経済の中心地。

大東亞戦争に際し皇軍マレー部隊は昭和十七年一月十六日同地を占領した。

ケママン Kemaman (マレー)
マレー半島トレンガヌ州、鐵礦滿庵嶺の産地として有名。日本鐵業会社の經營にかゝるケママン鐵山、石原産業經營の鐵山があり。鐵石の殆んど全部はケママン港から日本に輸出される。

ケママン Kemaman (マレー)
マレー半島東海岸にあるトレンガヌ州の港市。日本向け鐵礦の積出港であるが東海岸は十一月半から三月半にかけて北東季節風が吹き、海上が荒れるために積出不能になる缺點がある。附近一帯に錫を産す。

ケムプシー Kempsey (濠洲)
ニューサウスウェールズ州の都市。マツタリー河に沿ひ、シドニーと舟運の便あり、海路三百六十二キロ。穀物、牛酪及びセダー材を輸出する。人口は約三千。

ケラントン河 Kelantan (マレー)

マレー半島ケラントン州にありネンギリ、ベルガウ・ルビル等の各支流を合しケラントン州を南北に貫流してタイ國々境近い東海岸に注ぐ。クムプ迄はモーターボートが週江し得る。大型土人船はバハン州境のプライ附近まで週江出来る。

ケラントン州 Kelantan (マレー)
マレー半島の舊非聯邦州の一州面積五、七五〇平方哩、人口約三六萬二千人。十二世紀末には佛教國であり、十四世紀にはジャワのマジャパイト王國の支配下にあつた。歴史を持つ。

ポルトガル、オランダの勢力時代をへて十九世紀の始タイの勢力下にあつたが、一九〇九年の英暹條約によつて英國の保護國となつた。産物ゴム、古々椰子、米、滿庵。

ケラニ河 Kelani River (セイロン)

セイロン中央部に源を發しコロンボ郊外でアラビア海に入る。

ケラン Kerang (濠洲)
ヴィクトリア州メチエラの都市メルホルンの北北西鐵路二百九

〇キロ。マレー河支流沿岸に臨み、ヴィクトリア人工灌漑地の中心地となつてゐる。人口は約二千餘である。

ケラニヤ Kelania (セイロン)
セイロン島コロomboを距る東北三マイル、ケラニヤ河に臨む一寒村で有名な佛塔がある。

ケリント火山 Kerintji V. (スマトラ)
西海岸州南部ケリント火山群の火山にしてスマトラ島の最高峰標高三、七八三米、別稱インドラブラ山。

ケリント火山群 Kerintji (スマトラ)
西海岸州レヤング火山群の北にある火山群。

ケリント湖 Kerintji (スマトラ)
西海岸州南部七三八呎の高地にある湖名。

ケルマデツク諸島 Kermadec Islands (太平洋諸島)
一八八七年以來ニュージージーランドの屬領で、その主島はサンデー島面積十三平方マイルの岩礁群であるが、極めて土壤肥沃である。本群島は太平洋航空上極めて重要な島で、ニュージージー

ランドより東北にのびてケルティス、マコーレー、サンデーの順に並んでゐる。

ケルタパチ Kertapati (スマトラ)
バレンバン州ムシ河とその支流オガン河合流點に位置し、バレンバンより五軒の上流、大型船舶のためにつくられた浮棧橋があり、南スマトラ鐵道の終端驛になつてゐる。

ケルト山 Kelot (ジャワ)
ケルト山に同じ同項参照。

ケルバウ山脈 Kerbau (マレー)
マレー半島の中央部を南北に走る主山脈で、主峯ノーリン山一八八八米、ダラー山二一〇三米がある。別名中央山脈。

ケンブリツチ灣 Cambridge Gulf (濠洲)
オーストラリア大陸の北海岸、南緯十五度、東經百二十八度にある。ロンドンアリー岬の南東に位する灣名。

ケントン Kertung (ビルマ)
シヤン聯邦、ケントン土侯國の首都、往時の城壁があり、廟が多く、わが京都を偲ばせるといふ。満月の夜メテンザヨウ(満

月祭)が行はれる。五日目ごとに市場が開かれ近在の住民が娯集する。

ケントン土侯國 Keng Tung (ビルマ) シャン聯邦、南シャン州土侯國、面積一萬二千平方哩二千三百三十八の村より成る。首都ロイモイには軍事警察隊司令部があつた。住民は日本人の子孫と稱してゐる。

ケンラツブ Kenglap (ビルマ) ビルマの最東端でケントン土侯國にありメコンに臨んでゐる。

コ の 部

ゴア Goa (インド)

印度西海岸マドラス州中のポルトガル領で、面積三、〇六五平方キロ、一四九八年ヴァスコ・ダ・ガマが始めてカーリーカットに足跡を印し、ポルトガルと印度との通商が開始され、一五一〇年に至りポルトガルは當地を領有し、印度におけるポルトガル領の首府とし、各地に商館商業居留地を建設し東方貿易の據點とした地である。現在のゴ

ア市は東七マイルの地點の舊ゴアから移つたもので、人口僅かに一萬、舊市も荒廢してゐる。

コイムバトール Coimbatore (インド) マドラス州、棉花培養發達が盛んである。郊外五キロの地點に有名なペルール寺院がある。人口六萬五千。

コカナダ Cocanada (インド) マドラス州、ゴダワリ河三角洲に近くベンガル灣に臨む人口六萬の都市で、同港からは棉花、植物油、砂糖、米等を輸出し、雜貨、綿糸を輸入してゐたが近時は貿易港としてよりも英國の印度防衛の據點であつた。昭和十七年四月わが皇軍により爆撃された。

紅河 Fleuve rouge (佛印) 佛印にあり、源を支那雲南北部の高地に發し東南に流れて、トンキン(東京)に至り黒河、湄河等の支流と合してトンキン灣に注いでゐる。紅河は河口附近にトンキン・デルタを形成し米作地を提供してゐる。この河は酸化鐵を含有する泥土を含み水

色を變じてゐるがゆゑにこの名がある。夏季はモンスーンの影響を受け毎年水量を増しデルタ地帯は洪水を起す。總延長一、一七〇キロ(佛印領延長四七五キロ)

ココス Kokas (ニューギニア) 舊蘭領ボンベライ半島西端マツクレアル灣口にあり、ダマール木材の輸出港。

コーカレイ Kakwareik (ビルマ) カウカレイの項参照。

コ・クート島 Koh Kut (タイ) タイ灣の東岸にある小島。

ゴグラ河 Gogra R. (インド) ガンダス河の支流、ヒマラヤ山中に源を發しカウリアラ河、カーリー河(下流はサルダ河、チャウカ河)を合しガンダスに平行して東流しチャブラで本流と合する。

ココス島 Cocos (マレー) 舊英領マレー所屬の小島、一名キーンガ島。面積一・五平方哩。一八五七年英領を宣言、一九〇三年海峽植民地に合併されてシンガポール區に編入されてゐた。

ココス島 Cocos Island (ビルマ)

アンダマン諸島の正北に位置し二島より成る。

ゴコン Gocong (佛印)

堀公。佛印交趾支那の一州、面積七百平方キロ、人口十一萬五千。

コ・サムイ Koh Samui (タイ)

タイ國マレー半島東海岸バンドン灣沖合にある島で、面積二五五方軒、燕巢の世界的名産地で、その採取は政府による入札法によつて支那人が請負ひ、採集品はバンコックから香港に送り、同地で精製の上各方面に配給せられる。産物—海産物、鐵錫、椰子等。

コ・シーチャン Koh Sichang (タイ)

タイ國メナム河口を距る四六軒の地點にある小島。バンコック港は水深約八米内外で遠洋船を入港せしめ得るが、河口には氾濫による土砂が堆積して淺瀬を作り満潮時には吃水四米位の船を辛うじて通し得る程度故大型汽船は同島に假泊して、積荷

の一部を卸して船脚を軽くする。産物—龜、貝等の海産物。

コタ—Kedah (インド)

ラージプターナ地方コタ藩王国の首府で、アゲラの南西三〇六キロ、鐵道の接續點である。人口五萬三千。

コタティンギ郡 Kota Tirggi (マレー)

ジョホール州南東隅の一郡で、郡内のバムン河の地帯には金を産す。

コ・タオ Koh Tao (タイ)

タイ國領マレー半島東海岸にある小島。燕巢の世界的名産地でその採取は政府による入札法によつて支那人が請負ひ、採集品はバンコックから香港に送り同地で精製の上各方面に配給せられる。産物—海燕、各種海産物。

コタバト河 Catabato (比律賓)

ミンダナオ島コタバト州にあり、ミンダナオ島第一の長流で延長二百哩、ラナオ、アキドノン、ダヴァオ三州境に源を發しモロ海に注ぐ。

コタバト州 Catabato (比律賓)

ミンダナオ島西南部を占む、面

積二四、九一六平方キロ、人口二九九、三六五(一九三九年)モロ族を主とする未開發の状態にあるが、硫黄、麻、コブラ、金を産し、森林資源は豊富である。在留邦人一三七(一九三七年)

コタテンガ Kotatenga (スマトラ)

東海岸州のトバ湖北西コタチアネ町の近くの寒村、今次獨英戦開始後蘭領にゐたドイツ人がここへ收容された。

ゴダヴァリー河 Godavarai R.

(インド) テカンに源を發し、東南に流れてラヂヤールムンドリノを経てベンガル灣に入る。延長一、五〇〇キロ、三萬方キロの流域を作り印度ラインの別名がある。

コタバール Kota Bharu (マレー)

マレー半島ケランタン州の首都で、同州の東海岸にあり、地方交通、經濟の中心地。大東亞戦争に際し皇軍マレー東岸部隊は十二月九日同地に敵前上陸を敢行した。

コタバール Kota Baru (ホルネオ)

南東ホルネオ州東南端にあるブール・ラウト島の石炭積出港人口五千。

コタワリンギン土儀國 Kota Warirgin (ホルネオ)

ホルネオ島東南ホルネオ州の一割、西ホルネオ州と境を接し東はベンブアン河で區切られ暹國ぐらゐの面積あり。

コ・チャン Koh Jang (タイ)

タイ灣の東岸にある面積一八〇方呎の小島、燕巢、鹽、海産物ゴムを産出す。

コーチン・チャイナ Cochin-China (佛印)

交趾支那。一八六二年佛領となる、面積二六、四七六平方マイル、人口四六一五、九六八(一九三六年)うち華僑一七〇、六九八、佛人一五、四四九。米年産二百三十五萬トン(輸出高百萬トン)で全佛印の四〇%、その他玉蜀黍、馬鈴薯、豆類、棉花、ゴム、砂糖、煙草、コーヒー、ココ椰子等を産す。畜産としては馬一萬三千頭、水牛五十萬頭、豚六十六萬八千頭、牛二十三萬二千頭、漁獲高年六千三

百萬フラン、一九三八年輸出高二十二億フラン、輸入十一億フラン。

交趾支那植民地は次の二十一州から成つてゐる。

バクリニー、バリア、ベンチエ、ピエンアア、カント、聖ジャック岬、ショードク、堤岸、ギアティン、ゴコン、ハチエン、ロンシエン、ミト、ラツシユギア、サタク、ソクチャシ、タンアン、ヌイニン、ツードーモ、チャグイン、グインロン

コーチン Cochin (インド)

マドラス州西海岸、トラヴァンコール地方の開港場で鹽魚、魚肥等を印度各地に出してゐる

コツキール Cocuilla (太平洋諸島)

我委任統治領クサイエ島の西側にあり水深ある良港である。

ゴツドウイン・オーステン山 Mt. Godwin Austin (インド)

カラコルム山脈中の最高峰でエグレストに次ぐ高山 海拔八、六二〇米、又の名ダブサン、舊名 K₂ 峰といはれた。探検家カーネル・ゴツドウイン・オー

チンの名をとつたものである。

コディヤール湾 Koddiyar Bay
(セイロン)

セイロン島東部ベンガル湾に臨む小湾で、湾頭にトリンコマリの市街がある。

コーナー入江 Corner Aulet (濠洲)

ヴィクトリア州の東南端に突出したウイルソン岬の東側に沿ひ前方にサンケ其の他の小島横はつて風波を防ぎ、沿岸に数多の澤湖と沙洲とがある。

コニンギン湾 Koninginne (スマトラ)

西海岸州バダシ附近の小湾で、バダシ外港エマハーフェン港がある。

コハット Kohat (インド)

西北國境州、パシヤールの南四十マイルの地點にあり、ランカルからアフガニスタン國境ゴールに至る鐵道の沿線にある。

コ・パンカン Koh Bhangon (タイ)

タイ國領マレー半島東海岸にある小島、魚類、各種海産物、錫等を産す。

コ・パンサン Koh. Pansan (タイ)

タイ國領マレー半島東岸にある小島、燕巢の世界的名産地、採取は政府による入札法によつて支那人が請負ひ、採集品はバンコックから香港に送り同地で精製の上各方面に配給せられる。

コバル Cobar (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の都邑。プールの南方百五十七キロ、南緯三十一度四十分、東經百四十六度弱に當つてゐる。附近一帯は牧畜が盛んに行はれ、金、銅の産出も著しい。人口は約五千である。

コブルグ半島 Coburg Peninsula

濠洲オーストラリア北岸アーンヘンランドの北方に突出してゐる半島で、沿岸の出入著るしく西方アラフラ海方面のメルヴィル島と相對し、ヴァン・ジーン湾を東から北に圍み、その延長は八十キロ以上である。

コブロール島 K. broor (小スンダ列島)

アル諸島に屬し同諸島五大島の中心の島。

ゴブログ Gobleig (小スンダ列島)

小スンダ列島バリ島ムンドウの近くの村で一見の價値ある寺院がある。

コ・マー Koh Hinak (タイ)

タイ湾の東海岸にある小島。

ゴマントン Gomanton (ホルネオ)

舊英領北ホルネオのキナバタン河の流域にあり燕巢を産する、穴洞がある、同地産の燕巢はユカンに集散される。

ゴーマツト河 Gomat R. (インド)

インダス河の支流、アフガニスタンのザルダーン地方に源を發し、西北國境の有名なワゲリスターン地方を流れて本流に入る。

コメラシ島 Komoran (ニューギニア)

舊蘭領南部フェデリック・ヘンテック島の東にある島。

コモリン岬 Cape Comorin (インド)

北緯八度、印度最南端の岬、印度語ではラース・クマリーと

いつてゐる。

ゴラン島 Gorang Is. (小スンダ列島)

アンボイナ州に屬するセラムラウト諸島の小島。

ゴラクプール Gorakhpur (インド)

聯合州の南東部にあり都市で、同名地方の首都であり、附近には米産が多い。人口五萬八千。

コラール Kolar (インド)

マイソール藩王國、バンガロールより約八〇キロ、人口約九萬産金地として有名で全印度産金額の九九%はこゝから産出してゐる。マイソールの推定金埋藏量は四三萬トンであるが、大部分はコラールにある。もつとも多量に産出したのは一九〇五年で六一六、七五八オンスが採取され、最近は三二九、〇〇〇オンス余で、その價格は二五〇〇萬ルピーであつた。一萬九千の労働者を持ち、現在では印度最大の金坑である。このほか米、絹等の産もある。

コラク Colac (濠洲)

ヴィクトリア州の都邑。コラク

湖岸にあり、メルボルンの西方
鐵路百五十三キロに當り、一八
三七年植民した歴史がある。面
積二十六平方キロの豊富な炭田
を控へ、鐵山も附近にある。人
口約四千である。

コランブガン Kolanbugan (比律
賓)

ミンダナヤ島ラナオ州バングル
灣に臨む。人口三八、四九七(一
九三九年) 英人投資のミンダナ
オ島最大の製材所あり。

コーランボ Kuala Lumpur (マレ
ー)

別名クアラ・ルムプール。ネゲ
リスムピラン州の首邑で舊英國
統治時代には聯邦州中央政府が
ありマレー半島の政治、經濟、
文化の中心地であつた。また無
電局があつてジャバ(バンドン)
マカッサル北部スマトラ、フィ
リピン、タイ等の間に通話の
便あり。

コーラート Korat (タイ)

別名ナコン・ラーチヤシマー。
ブーカウドン山脈の東方コーラ
ート高原の中心都市、人口一萬
五千人。東部タイの商業、文化

の中心地、紫檀、タガヤサン、
花欄等の木材、獸皮、ゴム、牛
馬等を集散し、一九〇〇年バン
コック—コーラート鐵道開通
以來急速の發達を遂げた。同地
は頗る要害の地でタイ族の侵入
を逃れた「ラオス」人の王國と
して長い間未開發の地方であつ
た。現在は開發され、縣廳と師
團司令部の所在地であり、歩
兵、騎兵、砲兵の各大隊が駐屯
し、軍用及び民間飛行場があつ
て軍事上の要衝でもある。

コーラート高原 Korat (タイ)

タイ國東部にある高原、東經百
十度以東北緯十四度以北に位す
る尅大な山嶽地帯を云ふ。西北
部は海拔一三〇—二〇〇米、
東南部は海拔五〇米、一般に乾
燥してゐて經濟的價値比較的乏
しく、未開發の地帯であるが、
ナム・ムーン河がメーコン河に
流入する東部地帯は有名な米作
地帯で、タイ總米作面積の二四
%を占める。

コリダ Korida (ニューギニ
ア)

舊蘭領西北部フェールフインク

灣外にあるスピオリ島の部落。

香料群島 Gewürz in ehn (モルツ
カ群島)

モルツカ群島の別稱、同群島は
古來世界香料の獨占地として知
られこの名稱出す。

コリオン島 Cullion (比律賓)

北緯一度五〇、東經一二〇度
周圍六十カイリ、面積三九〇平
方キロ、住民九千のうち大部分
が癩患者で島内に Lepor Colo-
ny 療養所あり、收容人員七千
二百。

コーリングウッド Collingwood
(濠洲)

ヴィクトリア州ブルクの都
邑。ヤラヤフ河の近く、メルボ
ルンの北東四キロの地點にあ
り、メルボルンの郊外住民地區
として知られてゐる。人口は約
三萬四千二百である。

ゴールデン・スローン峰 Golden
Throne (インド)

カラコルム山脈中の一峰、海拔
七、七四六米。

コリー Collie (濠洲)

西オーストラリア州ウエリント
ン地方の都邑。パースの南方二

百キロ、百三十キロ平方にわた
る炭田の中心地。コリー河流域
に位置してゐる。人口は約三千
である。

ゴールデン灣 Golden Bay (ニ
ュージージーランド)

南島の北方タスマン灣の北西に
位し、セパレーション岬によつ
て兩灣を境してゐる。

コールフィールド Caulfield (濠洲)
ヴィクトリア州の都市。ブル
ク地方にありメルボルンの南東
十キロに位置する。人口は一萬
六千余である。

コレヒドール島 Corregidor (比律
賓)

ルソン島カグアイテ州、マニラ灣
口にあり周圍六哩、面積四平方
キロでお玉杓子の形をなしてゐ
る、米國は同島に要塞を構築し
大東亞戰爭に執拗な抵抗を試み
たが五月七日陥落。

コロムバングラ島 Kolombangara
Is. (太平洋諸島)

ソロモン群島ニュージョージヤ
諸島中の一島で、ニュージョー
ジヤ島の西方にあたり、圓錐形
をなした死火山であるが、青草

に蔽はれた美しい島である。

コロ河 Koro R. (セレベス)
リアンゲ河の別名。

ゴロンタロ港 Gorontalo (セレベス)
メナド州トミニ湾に臨みコブラの輸出港で林産物の取引がある

ゴロンタロ湾 Gorontalo B. (セレベス)
トミニ湾の別稱。

コロマンデル海岸 Coremandel Coast. (インド)
マドラス州東部ベンガル湾に臨む海岸一帯の呼稱である。同海岸附近は完全な灌漑が行はれ、米、落花生の産がある。

コロマンデル Coromandel (ニューギニア)
北島北部カウ半島の西部中央にあり、ホウラキ湾に臨む要港。

コロイト Korait (濠洲)
ヴィクトリア州の都市。メルボルンから鐵路二百七十四キロ。沃土地帯であり、農牧業が盛んで牛酪とクリームを産出する。人口約三千。

コロンボ Colombo (セイロン)
人口三十萬余、セイロンの首都

で政治、經濟、文化の中心地であり、しかも世界的な海港として有名でありわが歐洲航路も寄港してゐた。同港は印度洋上の交通の要衝であるにも拘はらず天然の良港ではなく、一八七五年から一九一二年まで四十年の年月と四十六億ポンドの巨費を投じて防波堤を築き、モンスーンの大波を完全に防ぎ港としたのである。

市街はフォート、ベター、マラダナ、スレーヴイランド等に分けられ、フォートは棧橋に近く大建築物滿ち最も歐化してゐる。これに反しベターは純粋の土人街で土人の商店が並んでゐる。

コワン湖 Cowan Lake (濠洲)
西オーストラリア州南部高原地の河跡湖。レフロイ湖の南方に位置し、往時は附近の諸湖と共に河川であつたが、氣候の乾燥のため陸化したものである。この湖は三日月形であり、北東より南西の方が約百キロ長い。

コントム Kontum (佛印)
崑崙。佛印安南の一州、面積一

萬七千五百平方キロ、人口十六萬六千。

コーン Khong (佛印)
佛印ラオス南部にあり、一八九四年から一八九九年まで下部ラオスの行政官廳の所在地であつたが後に行政委員の駐在地となつた。

コンボチヤム Komporg cham (佛印)

佛印カンボジアの中央稍々東部にあり、メコン河に臨み狩獵の中心地で特に氾濫の時は獸類が水の無いところに集るのでこれをとることが容易である。

コンジューベラム Conjeeveram (インド)

マドラスの西南方、かつて玄井三蔵の遊んだ地で達磨大師の生地といはれる。

コンケムル山 Kingkemoer M. (ボルネオ)

南東ボルネオ州東部バツイ山脈とタバダン山脈との連絡點にある山で標高一八四七米。

濠洲地中海

東印度群島中にある總ての海を總稱して濠洲地中海と稱す、主

なる海には次の如きものがある
アンダマン海、南支那海、ジャワ海、フローレス海、サウー海、ベンダ海、セレベス海、スールー海、モルツカ海、セラシエ海、アルフル海。

サの部

サイゴン Saigon (佛印)

西貢佛印交趾支那の首府で人口十五萬、ドナイ河の支流サイゴン河の右岸にあり、南佛印の政治、經濟の中心地で、また交趾支那、カムボジア師團の所在地である。市街はパリを模し文化施設が完備し市街井然としてゐる。總督、市立劇場、教會堂市廳、裁判所の海軍造船所があり、植物園、動物園、公園等も設けられてゐる。また佛印第一の高港で總貿易額の三分の二を取扱ふ、河幅はさほど廣くはないが二萬トン級の大船舶を出入せしめ得、また岸壁には中型以上の船舶二十餘隻を停泊せしめ得る。輸出品の太宗はサイゴン

米で、その他獣皮、水産物、玉蜀黍、ココ椰子、コブラ、胡椒ゴム、チーク材、輸入品は小麦粉、果實、砂糖、煙草、石炭、石油、瀝油、鐵および金屬製品綿糸布等である。またサイゴンは佛印最大の海軍基地で海軍工廠、ドックがある。

サイゴン河 Saigon (佛印)

サイゴン河は佛印交趾支那にあり、ホンカン高原に源を發し南流しトゥーモを経てサイゴンに至る。水量多くサイゴンでは十八メートルに達し二萬トン級の船舶を航行せしむることが出来る。

サイパン島 Saipan Is. (太平洋諸島)

マリアナ諸島の主島で面積百八十五平方キロ、海岸は出入少なく東岸で二つの半島が突出してラウラウ灣をなし、珊瑚礁は東岸になく、マナカツサ島は同島北岸の海中に突出した珊瑚礁でできたものである。そしてマナバク港がある。島上に珊瑚石灰岩が火山岩を蔽つてゐる山多く、マボチャウ山は海拔四百六

十六メートルである。島民はチャモロ族及びカナカ族である。

サイ・ライレン山 Sai Lai Leng (佛印)

佛印のラオス安南境界にあり、高さ二、七一一メートル。

サウエージ島 Savage Is. (太平洋諸島)

ニウエ島をみよ。

サウスランド地方 Southland District (ニュージューランド)

南島南部オンヴェルカーギルを中心とする地方で、地味肥沃で綿羊、乳牛の飼育及び小麦の産地として著名。

サヴァンナケ Savannakhet (佛印)

佛印ラオスの一州、面積二萬一千七百平方キロ、人口十六萬七千七百七十。

サウスアリゲーター河 South Alligator River (濠洲)

北オーストラリヤ州の北部アーヘンランド地方のアラフラ海斜面にある河で、グアンヂーメン灣に注ぐ流。流程は長くはないけれども、舟航距離五、六十キロに及ぶ。

サウザンクロス Southern Cross. (濠洲)

西オーストラリヤ州パースの東方三百四十キロの地點にあり、附近一帯は見渡す限りの小麦と牧羊地帯が展開してをり、小麦、牧羊、牛、馬の産出がおびただしい。

サウダル灣 Saundal (ホルネオ)

舊英領北ホルネオ西海岸の小灣

サヴォ島 Savo Is. (太平洋諸島)

ソロモン群島中の一小島、タントルカスター海峡の海上に屹立する火山性の一小島で、處々に噴煙、熱泉が地面の龜裂から噴出してゐる。同島附近の海洋は鯨の被害が多く船舶の出入は不便で、商人一名に僅かの島民が住んでゐる。

サヴァイイ島 Savaii Is. (太平洋諸島)

英領サモア諸島中最大の島で、面積七百三平方マイル、同諸島中最も肥沃であり、鬱林が覆ひ活火山、死火山がある。ムア山が最高で五千四百呎もある。

一八三〇年英人宣教師ジョン・ウイリアム、ジョン・バーフの兩人が八名のタヒチ土人傳道師と共に、この島に上陸して布教し六年間に二千人の信者を得たといはれてゐる。

サウー海 Sawee Sea (小スンダ列島)

小スンダ列島中フロレス島とスンバ島とチモール島に圍繞されて出来てゐる海。

サウンスツブ Saisawang Isup (ビルマ)

上チンドウイン地方チンドウイン河とマニプールの中間にある英國の直轄地土侯國。面積五百二十九平方哩、人口七千二百三十九人、この地方にはシンカリン・ハムテイ、ハムテイ・ロンの二土侯國がある。

サオネク Saonek (ニューギニア)

舊蘭領フォーヘルコツブ半島西北端ワイゲオ島の村落、鐵木、海參、貝類の集散地。

サガイ Sagay (比律賓)

比島ネグロス・オクシデンタル州にあり、人口五三、六六二(一九三九年)

サガイン Saging (ビルマ)

人口一萬一千(一九二一年) 舊王朝時代の首都の一つで、典型的なビルマ人都市である。イラワチ河右岸にあり、マンダレーの下流欽哩の地點にある。同名の管区並びに縣の主市である。

サガイン管区 Segaing (ビルマ)

サガインを首都とするビルマの行政区劃、パーモ、ミツチナ、シユワンボ、サカイン、カサ、上チンドウイン、下チンドウイン地方はこれに包含されてゐる。

サクーン・ナコーン Sakon Nagorn (タイ)

別名サコール・ナコン。タイ國にあり、メーコン河左岸から移住して来たヨー族の居住地帯。麻、各種農産物の集散地。

サコール・ナコン Sakoi Nagorn (タイ)

サクーン・ナコーンの項参照。

サセツクス半島 Sussex (濠洲)

オーストラリア大陸の南西部に突出する鈍状の小半島。西オーストラリア州に屬してゐるニューイツ岬はオーストラリア大陸の

南西端に當つてゐる。

サダン河 Sadang (セレベス)

セレベス島西南半島根元を流れマンダラ灣に注ぐ、下流のデルタでは米がつけられる。

サツカー島 Saker (ホルネオ)

舊英領北ホルネオのダーベル灣内にある小島。ダーベル半島とともに良港ラハツド・ダツを形成してゐる。

サデツク Sadee (佛印)

佛印交趾支那メコン河に臨み、米産地の中心地をなす。

サデイヤ Saliya (インド)

アッサム地方最北端の小邑。

サデツク Sadee (佛印)

佛印交趾支那の一州、面積千五百平方キロ、人口二十三萬三千七百。

サトプーラ丘 Satopra Rang (インド)

デカン高原の北部ナルバダ河をはさんで、ヴインダイヤチヤル山脈と並行して東西に走る丘陵山脈。

サドン河 Salong (ホルネオ)

ホルネオ島舊サラワク王國內の河で汽船航行の便があり、流域

に石炭を産出す。

サハランプール Saharanpur (インド)

聯合州北西部の一都邑、アリーの北方一五〇キロ、ジユムナ運河會社がある。鐵道の集中點で小麦、大麥等の農産物の集散地。人口六萬二千。

サバン Sabang (スマトラ)

アチエー州北方即ちマラウカ海峽の北の入口にあるブルー・ウエー島に在り、アチエー政府の首府コタ・ラヂヤの北方五十軒の地點で東アジアと太平洋西部への航路上にある。港は自然的條件に恵れ理想的な石炭積出港となつてをり、設備もよく五千噸、三千噸の浮乾船渠を有してゐる。この港はサバン港灣石炭會社の管理下にあつた。

サフル陸棚 Sabul Shelf (小スンダ列島)

ニューギニア島と濠洲の間にあるトーレス海峽、アラフラ海一帯の深度二百米に及ばない淺海を指す。

サブライズ島

フォン島をみよ。

サブタン Sabtaang (比律賓)

北緯二〇度一九、東經一二一度五三、パタン州にあり、面積二五平方キロ、牛、馬、山羊、豚を移出す。

サマテ Sinate (ニューギニア)

舊蘭領サラワテイ島の項参照。

サマライ Samarai (太平洋諸島)

ニューギニア本島東南端を距る二哩の小島サマライ島にある開港場、濠洲とニューギニア間定期船寄港地であり、奥地の金山並に附近海面の漁船の基地である。東部地區政廳所在地、無電局、學校、病院あり、木曜島より六百川哩、シドニーより千五百哩、島の長さ半マイル、幅員四分の一マイル、面積六十エーカーだが風光明媚である。雨量は多いが健康地である。

サマリンド Samarinda (ホルネオ)

舊蘭領南東ホルネオ州東岸の小邑、百八十年前船頭孫太郎がミンダオ島に漂流し同地に奴隷として連れられて来たところとして知らる。石炭、石油製品、木材の輸出港。支那人、マレー人、ブギス人による林産物取引所が

盛んである。

サマラハン河 Samarahan (ホルネオ)

舊サラワタ王国の河川、流域のクチン附近には鐵鑛を産出す。

サマール島 Samar (比律賓)

比島第三の巨島、サマール州(面積一三、五七六平方キロ)中にあり、面積一三、二七一平方キロ、全島三分の二は山地で煙草、カカオ、米、麻を産す。人口約五十四萬六千(一九三九年の在留邦人三〇人) 氣候は稍涼しく健康地帯である。

サマール州 Samar (比律賓)

比島第三の巨島サマール島その他大小四一七個の島嶼から成り面積一三、五七六平方キロ、人口五四六、六二〇(一九三九年) 住民はタカログ、グイサヤ、ホホール族、氣候は健康に適す、森林資源多きも未開發、麻、椰子、煙草、玉蜀黍を産す、在留邦人三〇(一九三九年)

サミ Sami (インド)

ベルチスタン、ダシト河上流の小都。

サムバル湖 ambhar Lake.

(インド)

ラーサプタナ地方、サヤイプールにある湖名。

サムバルプール Sambalpur (インド)

オリッサ州、マハーナツダイ河に沿ひ鐵鑛の産あり。

サム・ロイ ヨート山嶺 Sam Roi Yod (タイ)

タイ國北緯十二度餘の半島東岸に連つて聳える石灰質の裸山で三百一六百米の小峰が約三百位ある。

サムドブラカン Samudh Prakarn (タイ)

別名バクナム。タイ國メナム河口にあり、タイ國漁業の中心地。

サムドサコン地方 Samudh Sagon (タイ)

タイ國バンコックに近い地方で海岸地帯では米作が盛であり、海濱には鹽田があり、漁撈が盛んである。サムドサコンはその中心都邑。

サモア諸島(米領) Samoa Islands (太平洋諸島)

英領サモア諸島の東に當り、全面積二〇〇平方キロ、人口はボ

リネツヤ族を主とする一、九〇六人である(一九三七年度) 東、西サモア群島は一八九九年—一九〇〇年に互り獨米兩國間の協定によつて二分され、ツツイラ島(面積一〇四平方キロ)はじめマヌア群島、スクイン島及び無人の環礁ローズ島は米領となつた。本諸島中の最東端にあるロース島は飛行艇基地としてツツイラ島のバゴバゴより勝れてゐる。長官は大統領によつて任命され、海軍大尉統治の下に行政区を六つに分けてゐる。土地の賣買並に飲酒は嚴禁されてゐる。

サモシア Samosia (スマトラ)

スマタラ州のトバ湖内の島。

サラワティ島 Salawati Is. (ニューギニア)

舊蘭領フオーヘルコツツ半島西北端にある島で、ザコ、ココ椰子を栽培し北岸サマテには土侯がある。

サラマ Salama (ジャワ)

中部ジャワ省ケドゥ州東部のホロブドール佛蹟の所在地。

サラマテイー山 Mt. Saramati

(ビルマ)

一、五五七呎。印緬の國境シンガリン・カムテイの縁邊にあり、ビルマの高峰といはれたが、支那西康省との境には一萬九千呎の高山がある。

サラテイガ Salat'ga (ジャワ)

中部ジャワ省スマラン州南部の高原都市で外來客多く、兵營、山地栽培試所がある。

サラ山 Salak M. (ジャワ)

西部ジャワ省バタビヤ州南部バインゾルフ市の南西、即ちゲテ山の西方にあり、標高二、二一〇米、ゲテ山とともに景勝の地をなす。

同山の形狀はわが國の富士の麗容に似てジャワ住民に崇高の感を與へてゐる。

サラブリ又はスラブリ Sra Buri (タイ)

中部タイの都市で地方商業の中心地、家畜を集散する。

サラワク河 Sarawak (ホルネオ)

クチン河の項参照。

サラヴァヌ Saravane (佛印)

ラオスの一州、面積一萬六千二百平方キロ、人口九萬四千二

百。

サラマウア Salamaua (ニューギニア)

濠洲聯邦屬領ニューギニアのニューギニア准州の港街である。北西方のエディ溪谷は本島唯一の産金地であり、採掘された金はワウとサラマウア港へ交通不便のため空輸されてゐる。サラマウアは金礦労働者の出入港となつてゐる。

サラワク三國 Sarawak (ホルネオ)

サラワク王國はホルネオ島の北西部を占める舊英國勢力下の一王國であつた。面積十二萬九千四百九十五平方呎、人口四十四萬二千九百人(一九三五年)北東方は英領北ホルネオに東、西、南方は舊蘭領ホルネオに接してゐる。

國境にはホルネオ島諸大河の分水嶺をなす山脈があり、國內のレジヤン河、サラワク河、サドン河は汽船の航行が可能である。概して國內には山岳が多いが、海岸及び諸河川の流域には平野が展けてゐる。住民はマレー人

メラナウ族、ダイヤ族等約廿種に上る。

この王國は十九世紀中葉までブルネイの سلطان に屬したが一八四〇年内亂勃發、スルタンの依頼によつて内亂鎮壓に成功した英人ジェームス・ブルックがその統治權を委囑された。

一八六三年英國により獨立を認められ、一八八九年條約により保護國となり外交權を英國に譲つたが、内政上は獨立國である最高統治權はブルック王朝のラジャの手にあり、君主政體で專制政治制である。

ラジャの下に諮詢機關として國內の最高會議(Suram Council)と英本國のサラワク國顧問會(Sarawak State Advisory Council)があり、人民の代表機關として國民會議(General Council)があるが、外交は條約によつて海峽植民地總督の指揮を受ける。中央行政機關は首府チタンにあり、地方行政区は五區に分れて各區に理事官が駐在する。

主なる産物はゴムと石油である

が胡椒、サゴ椰子、ココ椰子、米、木材、金等をも産する。

サリヴァン島 Sullivan Island (ビルマ)

メルグイー群島中の一島で同島と本土の作る海峽はフォレスト・ストレート(Forest Strait)といふ。

サリガン島 Sarigan Is. (太平洋諸島)

マリアナ諸島中の一で、全島黒色の沃土で、高さ五百メートルの休火山、海鳥群棲す、スペイン時代は囚人の配流地だつた。

サリバス Saribas (ホルネオ)

舊サクラワ王國の河川、全長約一〇〇哩。

サルウイン河 Salween River (ビルマ)

イラワダ河とほぼ平行は流れ、その長さにおいて後者を凌いでゐる、その水源は人跡未踏の支那山中であつてその間左方からナム・ティン、ナム、カ、ナム・ピン河を右方からナム、バウン、ナム・トゥン(二五〇哩)、ナム・ボーン(三〇〇哩)等の諸支流を加へ、カレン領に入

りサルウインの傍邊を通つてタイ領との境界をなしてゐる。タートン縣でドーナ山地から發したタランガン河を合しヨンザリン、ヂャインアタランの諸河を更に合流して約六百五十哩を流れ、モールメンの下手二十八哩でマルタバン灣に入る。

水流速くタウゲン河との合流點よりヤム下流にハトサといふ急瀾があつて航行を妨げてゐる。シアン、カレン等よりモールメン上流の集散地カードに向けられる木材搬送に利用されるところが多く、景觀の美はつとに喧傳されるところである。

サルミ Sarimi (ニューギニア)

舊蘭領北方マンベラモ河東方約六十哩、K. P. M.の寄港地。附近の平原からはサゴ、ココ椰子、ダマールが産出し、高瀬貝、蟹の集散地。

サルナート Sarnat (インド)

聯合州、ベナーレスの北方四マイル、有名な鹿野苑精舎の跡がある。フマーヨーンの塔、その他極めて貴重な遺跡に富んでゐる。

サルセツト島 Salsette Island
(インド)

ボムベイ州、ボムベイ市のあるボムベイ島の北方にある島で鐵路、橋等でボムベイ島と結ばれボムベイから印度本土に行くには同島を経て行かねばならぬ。島といふ感はなく半島の突端の如くで、気温も温暖である。

サワンカローク Sawarngalok(タイ)

別名スワンカローク。タイ國メーヨム河畔にあり、歴史的都市であるとともに同地方の中心都市で果實、綿、煙草等の農産物を集散する。

サワレント Sawahlento (スマトラ)

西海岸州パダン東方の町歐洲工都の觀あり、鑛山監督養成の鑛山學校がある。

サワル山 Sawal M. (ジャワ)

西部ジャワ省ブレアンゲル東北部タシクマラヤ北方にある山で、標高一、七八二米。

サワイ Sawai (モルツカ)

群島南方のセラム島北岸にあり、捕鯨でその名を知らる。

サン・カルロス San Carlos (比

律賓)

比島ネグロス島ネグロス・オクシデンタル州第一の大都會。人口六九、六五三(一九三九年)沿岸貿易行はる、郊外に大砂糖工場あり。

サンタ・クルス Santa Cruz

(比律賓) ミンダナオ島ダヴアオ州ダヴアオ灣西にあり、人口三三、七七五(一九三九年)

サンタ・バルバラ Santa Bar-bara (比律賓)

比島バナイ島イロイロ州にあり人口三五、七〇九(一九三九年)

サンタクルス島 Santa cruz Is.

サンタクルス諸島の主要島。

サンタクルス諸島 Santa cruz Islands (太平洋諸島)

ソロモン群島の東三百哩にある群島で、一七六七年英人カーチレットの発見にかかり、ティン・シヤロツト或はニテンデー島とも呼ばせ、佛人ラロペーズが遭難した處である。一八九八年英領となつた。面積九四〇平方キロ、人口約五千でメラネシヤ族とポリネシヤ族の混血族である。この諸島の主要島はサン

タクルス島、ウツプア島及びヴァニコロ島でこのほか活火山ティナクラ島その他の小島がある。

サンタアナ島 Santa Anna(太平洋諸島)

英領ソロモン群島サンクリストヴァル島東海岸にある離島で、コブラの植樹極めて多く、コブラ商も多い。また都市計畫がよく出来てゐる。この島の島民の女はソロモン群島中でも踊で有名。

サンチヤゴ Santiago (比律賓)

ルソン島東北イサベラ州第一の大邑で人口三四、二四九(一九三九年)煙草の産地。

サン・ミゲル San Miguel (比律賓)

ルソン島中部ブラカン州のサンミゲル河畔にあり、人口二六、一三六(一九三九年)住民は富裕である。マニラから七六キロ汽車の便あり、米、煙草、木材鐵を産す。

サンバレス州 Zambales (比律賓)

ルソン島中央西部にあり、面積三、六八〇平方キロ、人口一〇

六、九九五(一九三九年)地味瘠せ農産森林資源は乏しきもクロームを産す。住民はサンバルイロカノ、パンパンガのほかネグリの蕃族あり、文化低き州である。

サンボアンガ州 Zamboanga (比律賓)

ミンダオ西部を占め面積一六、五二二平方キロ、人口三五六、八六六(一九三九年)住民は基督教徒たるグイサヤ、タカログのほかモロ、ヤカン、スバヌ族あり、山岳多く木材を産する、鑛産資源は未開發の状態にあり。在留邦人三四五(一九三九年)

サンボアンガ Zamboanga (比律賓)

ミンダオ島サンボアンガ州首都、人口一三一、七二九(一九三九年)州廳、市廳あり、港内は深さ九メートルの船を着け得る埠頭の長さ百八十三メートル。

サン・ジャック St. Jacques (佛印)

サイゴン東南三十里、海水浴場として知られてゐる。

サンチー Sanchi (インド)

中央印度洋の東北二五
マイルの地点にあり、佛塔が丘
上に聳え、佛蹟地として訪ふ人
が多い。

サンダカン Sandakan (ホルネオ)
舊英領北ホルネオ、サンダカン
灣に面する北ホルネオ最大の都
市。附近一帯はゴム園ココ椰子
園があり、シンガポール及香港
との間に貿易が盛である。舊サ
ンダカン理事廳の所在地でもあ
り、同國政治、經濟、文化の中
心地であつた。大東亞戦争に際
し皇軍部隊は一月十九日同地に
無血上陸を敢行し、監禁中の邦
人五百名を救出した。

サンダカン灣 Sandakan (ホル
ネオ)
舊英領北ホルネオ東海岸にある
灣。灣内には良港サンダカンが
ある。

サンカムベン山脈 Sankampheng
(タイ)
タイ國のアユチャー附近にある
山脈でドン・ブラー・エンの
支脈である。

サンボン・ギリ鑛床 Sambon
Giri (スマトラ)

バンカ島錫鑛床。

サンブ港 Sambon (スマトラ)
リオウ州リオウ諸島に屬し、昭
南島の南方にあるサンブ島に
あり、バタフーサ石油會社の貯
油槽がある。

サンパン Sampang (ジャワ)
東部ジャワ省マヅラ島南岸、養
魚池、水田多く鹽田もある。

サンバス Samba (ホルネオ)
舊蘭領西ホルネオ州西北岸サン
バス河に臨み、附近よりゴム、
コブラを産す。

サンガサンガ Sanga Sanga (ホ
ルネオ)
舊蘭領南東ホルネオ州東部サマ
リンダ近くにある、マハカム河
に沿ひ人口一萬の石油町。

サンシット Sangit (小スンダ
列島)

バリ島シンガラジャより五哩の
海岸寄の地點にあり、バリ島で
結構最も壯麗善美をしたサンシ
ット寺院があることで有名であ
り同寺院の廣い内苑は屢々バリ
舞踊に使用される。

サンガサンガ油田 Sanga Sanga
(ホルネオ)

南東ホルネオ州東岸マカラム河
下流サマリンド南方の小流サン
ガサンガ河附近の油田で、南部
クタイ油田、サマリンド油田、バ
リクババン油田、南東ホルネオ
油田とも稱せられる。一九四〇
年の産油は九十八萬三千瓩、ア
スファルト基重油質、同輕油質、
パラフィン油の三油質を産す。

サンクリストバル島 San Chris-
toval (太平洋諸島)

英領ソロモン群島中の一、山嶽
に富んでゐるが、グアデルキヤ
ナル島ほどでなく、北部海岸キ
ラキラの支廳には時々巡察官が
くる。椰子園が島内數ヶ所にあ
り、島の東端スター港は良好な
る碇泊地である。

サンデー島 Sunday Is. (太平洋
諸島)

ニューージーランド屬領ケルマア
ツク群島の一島で、同群島の首
都であり、中心地である。同島
には火山活動があり、一七二三
四の山がある。別名ラオール島
といふ。

サンドウイツチ諸島 The Sand-
wich Islands (太平洋諸島)

ハワイ群島を見よ。
三角島 (新南群島)
新南群島の項参照。

シの部

シアク河 Siak R. (スマトラ)
東海岸州を流れスンダ海に入る
河。

シアク・スリ・インドラプラ Siak-
Sir-Indrapura (スマトラ)
スマトラ島東海岸州シアク河上
河の港。

シアンタル Siantar (スマトラ)
東海岸州メダンの南方アリ地方
にある茶栽培の中心地。

シエーボ Shwebo (ビルマ)
人口一萬 (一九二一年) イラワ
ヤ河左岸の古市、ミチナー鐵道
沿線の都市でアラウンバヤ王出
生の地であつて、同王朝の首都
としての名残りを止めてゐる。

シエーリー河 Shweli River (ビ
ルマ) イラワヤ河の支流で、支
那雲南省に源を發しパーモー下
流でイラワヤに合流す。

ジエームス山脈 James Range (漆

洲)

オーストラリア大陸の中央部、南緯二十四度十分乃至同十分。東經百三十度十八分乃至三十三度三十五分に位し、弓形を描いて南方に延び、北から来るフィンク河の本支流がこれを数個の塊状に切斷してゐる。南北縦斷電信線が本山脈上を通つてゐる。南北に通越がある。

シエツバートン Shepparton

(濠洲)

ヴィクトリア州の都邑。ゴールバーン河沿岸。メルボルンの北北東鐵路百八十二キロ。人工灌漑が盛んに行はれ、綿布業、凍肉業が榮え、地方物資の集散地。人口は九千餘である。

ジセルトン Jesselton (ホルネオ)

舊英領北ホルネオ西海岸ガヤ灣に面し、ガヤ及バンガー島によつて護られてゐる港市。シンガポールとの間に定期航路の便あり、また北ホルネオ鐵道の要驛でもある。官衙、學校等整然とした近代的都市。

ジエイラン石灰洞 Jenolan Cave

(濠洲) ニューサウスウェール

ス州東部のアルー山脈の東側、南緯三十三度五十分。東經百五十度十分にある。洞窟内の奇觀美麗なるその比を見ずと稱せられてゐる。この洞窟はデヴオンの前紀の石灰岩層に中ある。石灰岩は數キロに延長し、その厚さ百五十メートル乃至二百餘メートルに達し、二流の小河が通じて數多の洞窟や洞門、隧道を作つてゐるのである。

グラッド・アーチ。夜の穴。ネツトル洞。ルーカス洞。リヴァー洞窟。パール殿洞。マインクヴァー洞窟などがある。一八六六年公共天然物に指定され、多大の費用を投じ保護されてゐる。

ジエルヴィス灣 Jervis Bay (濠洲)

ニューサウスウェールス州の港灣。面積二百平方キロ。聯邦首府キャンベラの外港。シドニーと汽船航運の便がある。陸上交通も頗る便。

ジエリヤ Jeria (インド)

ビハール・オリッサ州、印度最大の炭田で一九三四年の産出量は九百五萬八千トンであつ

た。

ジエラム河 Jhelum River (インド)

インド支流五河の一流でヒマラヤの麓に源を發し、ジャング地方でチエナブ河と合し南流して本流と合してゐる。

ジエライ河 Deelai (ホルネオ)

ホルネオ島南部を流れる河。

ジエラルトン Geraldton (濠洲)

西オーストラリア州西部東岸の首都パースの西北部四百三十四キロに位し、チャンピオン灣に面してゐる。奥地マグネツト山脈を越えてサンダストーンに通ずる鐵道の起點である。

人口は四千七百三十五人(一九三九年調)近郊は南部海岸のアルバーニー方面に伸びてゐる小麦地帯に屬し、大量の小麦が産出され、また牧羊も盛んに行はれ、ヤルゲー、マルチソン、マグネツト、ナンニン等産金地の門戸であり、金、銀、鉛等の産出が多い。近海からは眞珠貝が採取されてゐる。

シカルプール Shikarpur (インド)

シンド地方の都市でインダス河右岸にあり、ベルチスタンに至る鐵道に沿つてゐる。ポーランドを越えてアフガン、イランとの交通の要衝で羊毛取引の中心地である。人口五萬五千。

シキアナ島 Sikiana Is. (太平洋諸島)

ソロモン群島最東端、マライタ島東方約百十マイルの小島より成る環礁であるが、この環礁は礁湖への入口がないので有名であり、この環礁から僅か數米の外海は船測深索では測り得ない程深さがある。また大浪のうねりのために島に近づき難い原因となつてゐる。

島民はポリネシア系で容貌美はしく體格も優れてゐる。産物はコブラが出るが、交通船の缺除と船積み困難なため積出しが容易でない。島民はカヌー製造とリーフに寄せる波をカヌーで乗切るのに熟練してゐる。

シグリ港 Sigli (スマトラ)

アチエ州東北岸にある港都。

シツタン河 Sittang R. (ビルマ)

水源をヤメティンに發しチナ

セリム管區を北から南に縦走し
 流程三百五十哩でマルタバン灣
 に注ぐ。海より高潮があり、高
 さ九呎、時速十二哩に及ぶとい
 ふ、かつてシツタン・チャイタ
 トー運河はこれがため破壊され
 た。

シデイカラシ Sidikalang (スマ
 トラ)

マバヌリ州トバ湖西方のタイリ
 イ地方の中心地で、附近は香樹
 たるベンゾエ樹と樟樹を産す。

シデレン湖 Sidereng L. (セレ
 ベス)

南西部半島の湖でテンベ湖の北
 にあり、雨期に大きく乾期に小
 さくなる。

シトウボン Siteobondo (ジャ
 ワ)

東海ジャワ省オーストフツク
 (東端)ズスキ州北岸の都市。
 人口稠密で砂糖の産出が多い。

シドアルチヨ Sidoardijo (ジャ
 ワ)

東部ジャワ省スラバヤ州東部に
 ある都市で、スラバヤ—オー
 スフツク線に接しこの附近に東
 岸は鯨魚が盛んである。

シドニー島 Sidney Is. (太平洋
 諸島)

英領フェニックス諸島中の一で
 フェニックス島の西南にあり、
 面積は極めて小さく二、三の
 ココ椰子園がある。

シドニー Sydney (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の英
 首府。州内東海岸の主要港で、
 タスマン海に臨み背後にオー
 ストラリヤ・アルプスの峯が聳え
 てゐる。

面積は二十四萬六千七百二十一
 平方キロ、人口は百二十七萬九
 千八十人(一九〇〇年調)シド
 ニーは一九〇〇年までは濠洲各
 植民地の母體首府として通商上
 は勿論、政治上においても重要
 な大都會であつたが、聯邦成立
 以後聯邦政府はメルボルンにお
 かれ従つて政治上の中心的活動
 はメルボルンに移つた。シドニ
 ー港は開港兼軍港でジャックソ
 ンの中央部に位する。港内は風
 光明媚で、シドニー市の表玄関
 として重要役割をつとめてをり
 小麦、羊毛、銅、鉛、金、肉類
 牛酪等を米國方面に輸出し、綿



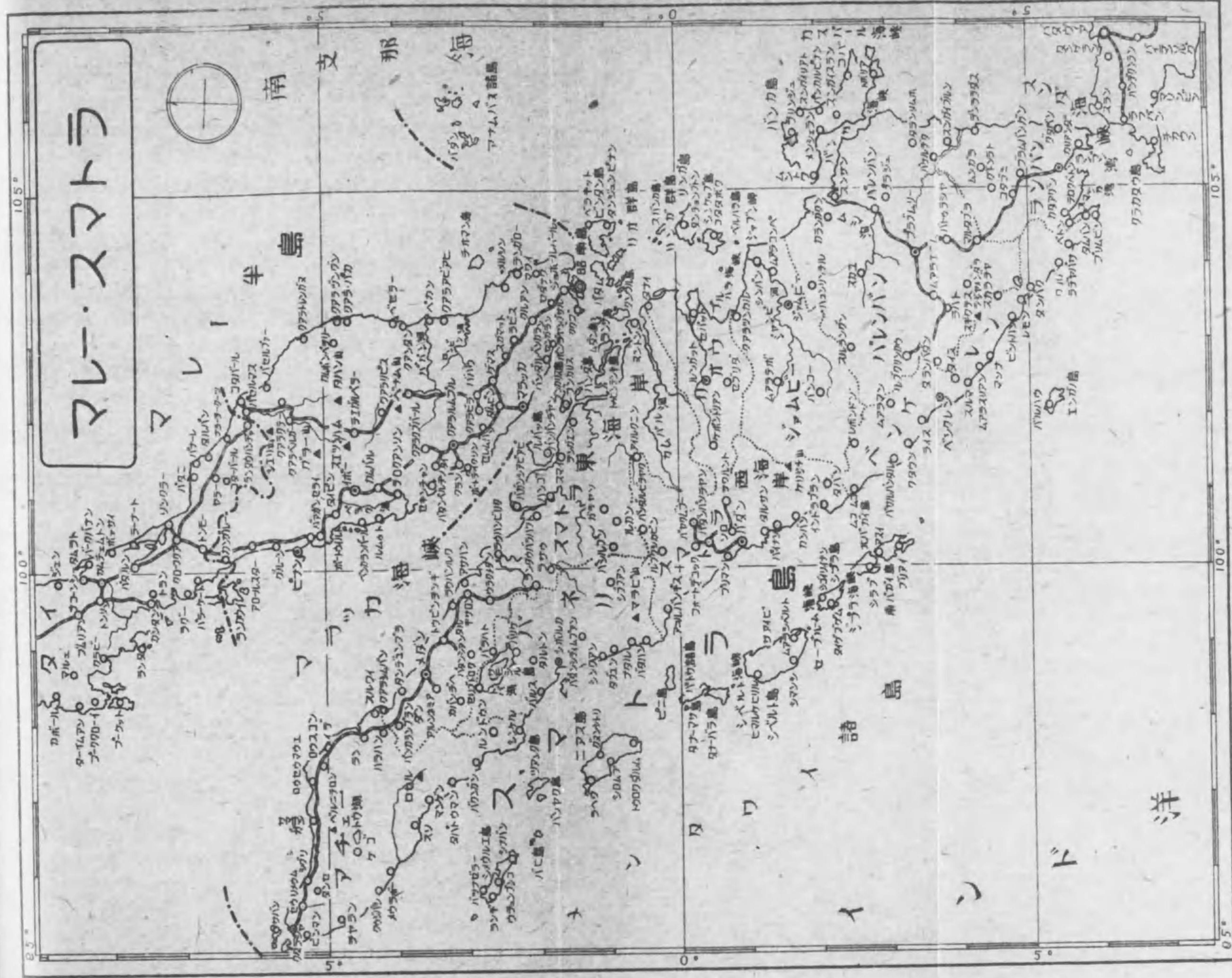
シドニー島 Sydney Is. (太平洋諸島)

英領フェニックス諸島中の一でフェニックス島の西南にあり、面積は極めて小さく二、三の椰子園がある。

シドニー Sydney (漆洲)

ニューサウスウェールズ州の英首府。州内東海岸の主要港で、オスマン海に臨み背後にオーストラリア・アルプスの峯が聳えてゐる。

面積は二十四萬六千七百二十一平方キロ、人口は百二十七萬九千八十人(一九三七年調)シドニーは一九〇〇年までは漆洲各植民地の母港首府として通商上は勿論、政治上においても重要な大都會であつたが、聯邦成立以後聯邦政府はメルボルンにおかれ従つて政治上の中心活動はメルボルに移つた。シドニー港は開港兼軍港でジャクソン港の中央部に位する。港内は風光明輝で、シドニー市の表玄関として重要役割をつとめてをり小麦、羊毛、綿、鉛、金、肉類牛酪等を米國方面に輸出し、鐵



物、被服、機械、鐵、銅を輸入してゐる。工業もまた附近は小麦地帯、牧羊地帯、鐵產物資源に恵まれてゐる關係から頗る盛んである。

市街は廣濶で、天文臺、大學、市廳、議事堂、圖書館、博物館、各寺院等の建物多く、植物園、ムール公園、タロンガ公園等見るべき名所も多い。

シナブン火山 Sinaboeng (スマトラ)

東海岸州西方にある火山、標高二、四一三米。

小ニコバル島 Little Nicobar Island (インド)

ニコバル群島中の一島セント・ジョージス海峡を経て大ニコバル島と對峙してゐる。

シーパウ土侯國 Hsipaw (ビルマ)

シャン聯邦州、北シャン州の一土侯國。面積五千八十六平方哩一、六六一の村より成る。

シバヤ火山 Sibajak (スマトラ)

東海岸州トバ湖北部地方の火山、標高二〇九四米。

シバロン Sibalom (比律賓)

バナイ島のアンテイケ州シバロン河の中流にあり、人口二、一四五(一九三九年)

シブ Sibul (ボルネオ)

舊サラワク王國の北部にあり、當國の經濟動脈であるレジヤン河上流六十哩の上流にある河中の小島にあり、人口約一萬、林産物をはじめ各種の物資の集散地である。

シブ島 Sibul (マレー)

マレー半島南部東海岸にある小島。

シブラ島 Sipoera Is. (スマトラ)

ムンタウエー諸島に屬する島。

シブルト島 Siberat (スマトラ)

西海岸州西方にあるムンタウエー諸島に屬する島。

シボルガ港 Siboga (スマトラ)

タバヨリ州の首府でタバヨリ灣に臨む主要港、人口六千人。

シボンガ Sibonga (比律賓)

比島セブ島にあり、人口二、八〇三(一九三九年)

下ビルマ Lower Burma (ビルマ)

一八二六年、一八五二年の、第一第二兩次英緬戰爭により英國に併合された地區で、アラカン、

テナセリム、ペゲー、イラワナ
四管區並びにマクエー管區の一
部を呼稱してゐる。沿海低地で
米産額が多い。

シムラ Simla (インド)

パンジアーブ州、デリーの北方
四〇〇キロの前部ヒマラヤ山中
にあり、海拔二、四〇〇米、遊
藝地として名高く夏期は印度政
廳がこゝに移轉する。同地から
は六、七千米級のヒマラヤの峰
々を一望のうちに望見すること
が出来る。

ジムナ河 Jumna R. (インド)

ガンダス河の支流、ヒマラヤに
源を發し南流してデリーを過ぎ
アグラを経てアラハバードで本
流と合す。

**シメウルー島 Simeuloe (スマト
ラ)**

アチエー州西側にある島。

シーモア Seymour (濠洲)

グイクトリヤ州アングレーシー
の都邑。コールバーン河沿岸、メ
ルボルンの北方鐵路九十八キロ
農産地、牧場地の中心。人口は
約二千余。

シモガ Simoga (インド)

マイソール藩王国、マンガンの
産地として有名。

シヤンタル Siantar (スマトラ)

東海岸州西部メダンの東南シヤ
ンタル高地にあり、茶の集散地

**シヤンタル高原 Siantar Hills
(スマトラ)**

東海岸州西方山地、茶の栽培地
として有名である。

**シヤンデルナゴール Chandern-
agore (インド)**

カルカッタの北々西二十六軒、
一六八八年佛國東印度會社の手
によつて佛國植民地となる。面
積五平方キロ、ボンデシエリー
のフランス政廳がこれを管理し
てゐる。人口二萬五千で、土民
が主である。

ジャブア J. abua (インド)

印度中央州西部、マンガン礦の
産地として有名。

**ジャグタルプール Jaldalpur
(インド)**

中央州、バスマル藩王国の一都
邑。

**ジャツゲルナウト Jaggernaut
(インド) プーリーの別名。プ
ーリーの項参照。**

ジャオラ Jaora (インド)

中央州の一地方で、面積一、四
七一キロ、人口七萬六千、棉
花、穀物の産が多い。

**ジャウンプール Jaunpur (イン
ド)**

聯合州の都市で、ベナーレスの
北西五五キロ、大麥小麥の集散
地で、砂糖製造も行はれてゐる
人口三萬。

ジャンボ河 Djanbo (スマトラ)

アチエー州南部を流れマラツカ
海峡に注ぐ河。

**シヤン聯邦州 Shan States (ビル
マ)**

ビルマの直轄地で上ビルマ東部
にあり、支那、佛印、タイと國
境を接してゐる。面積千八百平
方哩、人口約百五十萬、主とし
てシヤン族である。三十五の小
土侯が集つてゐるが一九二二年
ビルマ副知事クラドツクの斡旋
で聯邦を組織し、各土侯は世襲
的に一定の制限内で領内の統治
を行つてゐる。同地方は一般に
北シヤン州と南シヤン州に分け
てゐる。

北シヤン州は面積二萬五十六平

方哩、人口六十三萬、六つの土
侯國より成つてゐる 北センキ
土侯國、南センキ土侯國、シー
バウ土侯國等である。

南シヤン州は面積三萬六千五百
十七平方哩、人口八十七萬余で
メンナイにはアメリカ・バプテ
イスト教會が往時よりある。二
十九の土侯國があるが、主なる
ものはケンテユング、ヤウエ、
メンナイ、モンナウン、ライカ
等である。

同地方は經濟的にも極めて重要
であつて鐵、銅、亞鉛、銀、鉛、
錫、翡翠、ルビーを産し、未開
發の褐炭層もある。林産はビル
マの四分の一を占めてゐる。同
地方の北シヤン州のボードウイ
ン礦山は、世界有数の鑛山であ
る。

**シヤン高原 Sian Plateau (ビル
マ)**

雲貴高原の延長で、印度支那半
島の中核をなし平均海拔九百メ
ートル、その中央をサルウイ
ン河が流れてゐる。シヤン高原
は南方でタイとの境界線をなし
次第に山脈状となつてマレー半

島に延びてゐる。主として古生代の石灰岩、片麻岩よりなり、片麻岩中には有名な紅玉鏡山がある。同地方は藩王国が多く、英領當時もシャン・ステイツとして特殊行政区となつてゐた。シャン族が住んでゐる。

シャプリ島 Shapuri (ビルマ)
アラカンとベンガルとの境界であるナーフ河中の一島で、印緬でその領有を争ひ、一八二三年の英國の占領が直接原因となつて、第一次の英緬戦争が生じたのである。

ジャービス島 Jarvis Is. (太平洋諸島)
南緯三度、西經百六十度にある無人島である。クリスマス諸島の南方に在り、少量の燐礦を産す。一八三五年捕鯨船長ベーカーによつて発見され、米領を宣されたが、一八八九年英船コルモラント號がきて英領とし、その後一九三五年米船が占領を宣した。

ジャーヴィス港 Port Jarvis (太平洋諸島)
ロアホア島をみよ。

ジャブルポール Jubbulpore (インド)
中央州、ナーグプールの北方にあつて人口十二萬五千、中央州第二の都市で、大印度半島鐵道と東印度鐵道の交叉點である。土地肥沃、灌溉もいゝので農産物に富んでゐる。米、小麥、棉花、油椰子が主なもので、大理石の大規模な採掘も行はれてゐる。

ジャム Jammu (インド)
南部カシミール、アムリツツアルの北に位し、チエナブ河に沿ひ人口三萬六千の都市。

ジャム・カシミール土侯國 Jammu & Kashmir (インド)
パンジアーブ地方北方、面積二一九、七四一・六平方キロ、人口三、六四六萬三千、首都はスリナガルである。

ジャイプール土侯國 Jaipur (インド)
ラーガプタナ地方北部の藩王国で面積四萬三百五十平方キロ、人口二百六十四萬。大麥、棉花、綿糸、毛織物を出し、鹽の産もある。主都はジャイプールであ

る。
ジャイプール Jaipur (インド)
ラーガプタナ地方にあるジャイプール藩王国の首都で、人口一四萬五千、古典的色彩をもつ都市であるが綿布、更紗、木綿、大理石細工、硝石、陶器、眞鍮製品の製造が盛んである。市は城壁を巡らし王室その他の壯大な建造物があるが、中でも風堂「ザパレス・オブ・ウインズ」は著名である。

ジャインテイヤ高地 Jaintia Hills (インド)
アッサム地方バライル山脈西方の高原。

ジャムシダプール Jamshedpur. (インド)

ビハール州、人口十萬の新興工業都市で、有名なタタ鐵鋼會社がある。唯一の印度系資本で拂込一萬三千ルピー、印度重工業の最大單位となり、同社はオリッサ州のメイワールベンジ地方、中央州ライプール地方に鐵礦を有し、同州のバラガット地方にマンガン鐵、マイソールにマンガン、クローム鐵、ジェリヤ炭

田等の採掘權を有してゐる。メソポタミヤ、エジプト、パレスチナの鋼鐵レールは同社が供給し、前ヨーロッパ大戦には四萬トンの鐵の注文をうけた。現在五基の熔鐵爐を有し、年約六〇萬トンの鋼鐵、三〇萬トンの鐵を産出す。

ジャテイン Gia-dinh (佛印)
嘉定。佛印交趾支那の一州、面積千八百平方キロ、人口二十九萬八千六百。

ジャルガーオン Jalgaon. (インド)
ボムベイ州ボムベイの北二六〇マイル、有名なアジアック洞窟への入口となつてゐる小驛である。

ジャロ Jaro (比律賓)
比島バナイ島イロイロ市北三キロにあり、人口二五、七九〇(一九三九年)なほ同名の町レイテ島にあり、人口二三、九七〇(一九三九年)

ジャワ Java
ジャワ島は赤道南側東經一〇五度——一一四度の間にある長さ一千六〇軒の島で、マツラ島

(五四七一平方軒)を含め全面一三萬二一七四方軒、日本内地の約三分の一に當り、一九四〇年の推定人口は四一七一一萬八千人内歐洲人一九萬二千、原住民四〇八九萬一千、支那人五八萬二千、その他の外國人五萬二千であり、密度は三一五人となつてをり世界有数の稠密地である。行政的には西部、中部、東部の三省とスラカルタ、チヨクヂヤカルタ兩知事州(王領地)の五つに分たれ、省はさらに理事州に區分される。

ジャワの地形は火山系に屬し、全島を大火山脈が走り活火山が多く、高原地帯もあるが低地も開けてゐる。低地より高原へと地形の多變は高度により気温の變化(百米上昇につき約五度五分)を生ぜしめ適作農産物の種類を多様にし、熱帯産物より温帯産物に亘り椰子、バナナ、米、砂糖、玉蜀黍、煙草、ココ、ゴム、キナ、紅茶、コーヒー等を産出する。農産物のほか鑛産物としては石油を産し、初歩的工業も行はれてゐる。

ジャワ油田 Java (ジャワ)

レンバン州、ホシヨネゴロ州、スラバヤ州、マヅラ州にある油田の總稱。

ジャフナ Jaffna (セイロン)

島最北端のジャフナ半島にありコロンボを距る二四五マイルで、セイロン第二の都會である。タミール人が多くオランダ人の築いた城跡がある。煙草、コナツツの集散地である。

シャージヤハーンプール Shah-jahanpur (インド)

聯合州、ロヒルカンドの都市でバレーリー市の南々東六九キロ精糖業が盛んで人口八萬、グワリオールにも同名の都市があり人口一萬。

シューテン諸島 Schouten (ニューギニア)

舊蘭領フェールフィンク灣外にある諸島で、ピイアツク、スピオリ島等を含む。

シュワーネル山脈 Schwaner G. (ホルネオ)

舊蘭領、西ホルネオ州と南東ホルネオ州の境をなす山脈でミユレル山脈の延長部、岡山脈中に

ブキツト・ラヤ(二二七八米)がある。

ジュニー Junee (濠洲)

ニューサウスウエールズ洲クラレンドンの都邑。シドニー南西四百七十九キロ。シドニー=メルボルンに至る鐵道沿線で、ムラムビチー河の支流沿岸にあり舟運の終點。人口約四千。

ジュブルポール Jubbulpore (インド)

中央印度、大印度半島鐵道と東印度鐵道の接續點で、交通の要衝。

小ダヤク河 Kleine Dajak (ホルネオ)

舊蘭領南東ホルネオ州南部バリト河西方の河。

昭南市 (マレー)

昭南島東南側にあり、嘗ての英國東亞侵略の一大據點であつた人口六十萬うち、支那人が四十五、六萬を占めてゐた。印度人マレー人、英人等世界の殆んど全部の民族を網羅し、人種の展覽會場の稱があつた。中心街はグダンにあつて此處には各國の銀行、商社、船會社等の大建築

物が聳えてゐた。戦前の在留邦人は約四千人に上つてゐた。

昭南島 (マレー)

マレー半島の尖端を扼する面積五七〇平方軒の小島。全島平坦低濕で最高の丘ブキテマも一五一米に過ぎない。島の東南側に昭南市がある。同島の歴史は相當に古く、十二世紀頃スマトラバレンバン、ミナンカバツ地方からの移民によつて開拓せられ、十四世紀には相當に存在を知られてゐた。

一三六五年ジャワのマジャパヒト王國の襲撃を受け、この時同島を追はれたシンガブラウ最後の王、イスカンドル・シヤアはマラツカに逃れてマラツカ王國を建設したが、マジャパヒト王國の勢力下に入つたシンガポール島は長く荒廢せる小島としてその存在を忘れられてゐた。一八一九年シンガポール經營の大恩人ラツフルスは、ジョホール王との交渉によつて六百ドルで同島を買収、こゝに英國の據點を置いた。最初スマトラのベンタレーンに従屬してゐたが、一

八二三年以來ベンガル政廳下に置かれ、一八二六年ピナン及マラツカと合せて、合併植民地議會における總督に所屬した。一八六七年に印度事務局から植民地事務局に移され、ついで戦前の英國海峡植民地を構成することとなつた。

ジョージタウン George Town
(マレー)

ピナン港の別名。

ジョホール・バル Johore
Bahru (マレー)

マレー半島ジョホール州にあり同州の首邑で、同州政治、經濟交通、文化の中心地である。大東亞戦争に際し皇軍マレー部隊は昭和十七年一月卅一日同地を占領した。

ジョホール州 Johore (マレー)
半島の舊非聯邦州の一州、面積七、三三〇平方哩、人口約五〇萬五千。十七、十八世紀にはポルトガル、オランダの勢力が強かつたが一八一九、一八二四年の條約によつて、シンガポール島が英國領になつてからイギリスの勢力下に入つた。

一八九五年英國が顧問官を入れて以來、同國の政治は英國の支配する所となつた。産物はゴム古々椰子、油椰子、パイナップル、鐵がある。

ジョホール海峡 Johore (マレー)
マレー半島の南部尖端と昭南島との間にある海峡。

大東亞戦争に際しシンガポール攻撃の皇軍は昭和十七年二月十日同海峡の決死的渡河を敢行した。

ジョホール河 Johore (マレー)
半島ジョホール州南海岸に注ぐ小河。

ジョラプール Sholapur. (インド)
ボムベイ州、ハイダラバード藩王國に近く回教徒によつて建設された都市で、人口十四萬、附近の土地は肥沃ではないが麥類棉花等の産がある。紡績工場、製油工場が多い。

シヨロン (佛印)
堤岸。佛印交趾支那のサイゴン西方約五キロの地點にある支那人街で、堤岸州廳の所在地、人口約十九萬(うち支那人十萬)交趾支那における唯一の工業都

市で米穀、奥地行物賣の集散地をなしてゐる。市内には數十箇所の精米所を始め酒釀工場、麥酒製氷工場があり、市場は繁榮してゐる。サイゴンとは運河電車をもつて連絡し、米穀其他農産物はサイゴンに運搬される。

シヨロン州 Cholon (佛印)
堤岸。佛印交趾支那の一州、面積千二百平方キロ、人口二十三萬二千(但しシヨロン市人口十四萬五千を含まず)

シヨージヤン Choc-Dien (佛印)
佛印トンキンの紅河左岸にあり亞鉛を産す。

シヨドツク Chau-loc (佛印)
佛印交趾支那の一州、面積二千九百平方キロ、人口二十四萬二千五百。

ジヨルダン町 Jordan (比律賓)
比島バナイ島イロイロ州ゲイマラス島にあり、人口二三、〇五三(一九三九年)イロイロ市と幅二哩の海峡で隔ててゐる。

シヨールヘヴン河 Shoalheaven
River (濠洲)
ニューサウスウェールズ州東部の河川。源をグーロツク山脈の

東側の地點に發して北流し、マールランの南東に至つて東に向ひシドニーの南西百二十キロで喇叭口となり太平洋に注ぐ。河口にノウラ港があり。流程四百餘キロである。

ジヨドプール Jodhpur (インド)
ラーチプタナ地方の藩王國。面積九〇、五五四方キロ、人口二〇六萬、ルニ河流域は農産に富み、黍、玉蜀黍、棉花を産し、食鹽、皮革等を輸出してゐる。ジヨドプール市は首都でジャイプール西方三〇〇キロ、藩王の宮殿あり、商業の中心地で人口七萬三千。

ジヨムブラン Djomblang (ジャワ)
中部ジャワ省スマラン州スマラン港南方三軒にある住宅地。

ジョンストン島 Johnstone Is.
(太平洋諸島)
ハワイ諸島西南にある岩塊の一帯で、一八五九年頃迄は多少燐礦を産したので英國は土人からこれを借受け、一八九二年これを併合した。その後これを放棄しハワイ群島の一として顧みる

ことがなかつたが、米國は日本に對する進路の足場としてウェーク島、サンド島、キングマン礁と共に一九三四年これを占領し、海軍省の直轄として防備をなし飛行艇の基地とした。聽音哨も建設されてゐる。

シライ Silay (比律賓)

比島ネグロス・オクシデンタル州西北岸にあり、人口三九、五七一(一九三九年)砂糖および米を産す。

シラム Silam (ボルネオ)

舊英領北ボルネオのダーベル灣にある良き船舶避難所。珊瑚礁多きため大きな汽船は入港不可能である。

シリアム Syriam (ビルマ)

人口一萬五千(一九二一年)ベグ管區、ハンタワティ縣に在り、ラングーン河を距て、ラングーンに近い。ビルマ最古の歐洲人植民地である。製油工場があつてマグキー地方の石油はこゝまで送油管で送られ、精油されてゐる。

シリンドウン地方 Silindoeng (スマトラ)

スマタラ州トル河上流の流域地方を指し地味肥沃で人口稠密。

シリキ Sirik (ボルネオ)

舊サラワク王國西海岸の小さい岬。

シリムポボン河 Silimpopon (ボルネオ)

舊英領北ボルネオにある河で流域に石炭を産出する、埋藏量八百萬噸。

シルンカン Siloengkang (スマトラ)

西海岸州パタン高地サワルト町の近くの美しい織物の産地。

シルヴァートン Silverton (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の都市。ブローケンヒルの西方二十六キロの地點にあり、ポートヒリーより鐵道を通じ、鑛業地として繁榮してゐる。

シルエツト Sylhet (インド)

上部アッサム地方。

カチャスとともに一七八八年印度固有茶樹が発見されたところで茶業の中心地である。

ジロロ Djilolo (モルツカ群島)

群島北群ハルマヘラ島西岸の主港。

ジロロ島 Djilolo (モルツカ群島)

群島主島ハルマヘラ島の別稱。

シロング Shillong (インド)

アッサム州の首都。

カシ・ジャインティア丘陵にあり海拔一、九六三米の高地である。

ジーロング Geelong (濠洲)

ヴィクトリア州ポートフィリムツプの西側の一副灣口にあり、メルボルンから鐵路二百キロの地點にある。

人口四萬四百五十人(一九三九年調)工業の中心地で多数の羊毛工場がある。濠洲最美の都會で、花の都の呼稱がある。

羊毛は町の背後にある大凹谷地帯の西半にある大ヴィクトリア羊産地から産出され、そのために町に羊毛専門學校さへ開校されてゐる。

小麦は大ヴィクトリア羊毛産地帯と並行して産出され、製粉工場も多く、製粉工業の中心地である。

シンガポール市 Singapore (マレー)

昭南市の項参照。

シンガポール島 Singapore (マレー)

昭南島の項参照。

シンゴラ Songkhla (タイ)

ソングラの項参照。

マレー語でソングラをシンゴラと言ふ。

ジンプーラ Dimboola (濠洲)

ヴィクトリア州の都市。

メルボルン市からアデレードに至る鐵道の沿線。メルボルンの西方三百六十一キロ。

ウイムメラ地方の小麥市場。ユーカリ樹工場がある。

人口約六千である。

シングルトン Singleton (濠洲)

ニューサウスウェールズ州の一都市。ニューカッスルに近いメートランドの北西百キロ。ハンター河沿岸にあり、石炭、銀を産出する。

人口約三千五百。

シンド州 Sind (インド)

インダス河下流地方の知事州で首都はカラチである。

面積十二萬一千七百方キロ。人口三三〇萬、同地方は雨量は少

いが人工灌漑が行はれ農業が発達し小麦の産が多い。

シンパンキリ河 Simpangkiri (スマトラ)

アチエ州の西海岸を流れる河で河口にニエウシンキリがある。

シンケルバル Singkel Baroe (スマトラ)

アチエ州の西岸南部の港で木材、樟腦、コブラの輸出港。

シンカリン・ハムテイ Singkaling Hkamti (ビルマ)

上チンドウイン地方の小土侯国で、英領直轄地面積九百八十三平方哩、人口二千百五十七名、シャン聯邦州に加入してゐる。同地方にはサウンスツブ、ハムテイ・ロンの二土侯直轄地がある。

シンダー油田 Singu (ビルマ)

ミンヂヤン地方にありイラワヤ河に臨むシング南二哩半の地點に位置す。モクソマ・コン丘附近が同油田中屈指のもので一八九七年より採油されてゐる。産油は直徑四吋乃至八吋のパイプラインでシリアムに送られ一九三四年度の産油量は八千百九十

二萬ガロンであつた、ビルマ石油会社の經營である。

シンカラ湖 Singkarak (アマトラ)

西海岸州バダン高地にある湖である。

ジン島 Djin P. (小スンダ列島)

アル諸島中の東南側の小島。

シンダンラヤ温泉 Sindarglaja Spring (ジャワ)

ジャワ西部ジャワ省ブレアンゲル州北部ゲテ山東部チヤンチユールの北西十三哩の地點にある温泉地。

シンカワン Singkawang (ボルネオ)

舊蘭領ボルネオ島西ボルネオ州北西岸にありゴム、胡椒、コブラ等を産出する。

シントアン Sintang (ボルネオ)

舊蘭領西ボルネオ州カプアス河中流の小都。

シンジヤイ Sindjai (セレベス)

セレベス州西南半島南部東側にあり小港。

シンガラジャ Singaraja (小スンダ列島)

バリ島北岸にあり外港はブレ

ン港にしてバリ、ロンボック州州廳所在地、人口約一萬博物館ポイラテサ(犠牲の祭壇)がある。因みに同州の面積は一萬二九二方軒で人口は一九三〇年一八〇萬二六八三人である。

シングブーム Singh-buhm (インド)

オリッサ州、金及鐵鑛の産地として有名だが、金は少量の産出で五〇オンス、三六〇〇ルピー程度である。

鐵鑛は六七萬トンの産がある。

新南群島

多年無主の珊瑚島嶼であつた南支那海中の新南群島は昭和十四年三月三〇日附で日本領となり臺灣總督府高雄市の管轄下に入つた、新南群島の位置は臺灣南端から南南西七五〇哩、佛印カムラン灣東方三二〇哩、香港から八四〇哩即ち北緯七……十二度東經一……七度にあり、二〇數個の島からなる、その主なるもの長島、北二子島、南二子島、三角島、中小島、北小島、南小島、西青ヶ島、龜甲島、飛鳥島、西島島、丸島である。同

群島は昭和八年に佛國が一方的に先占宣言をなしたが、大正七年以來ラサ島鑛業社が事業を行ひ日本に實効的先占があつたので、遂にわが手に歸したものである。

同群島のうち人の居住してゐるのは長島で、全島鐵鑛石を産するほか、漁業根據地となつてゐる。また軍事的にも注目すべき位置にある。

ス の 部

スウエツテンハム港 Port Swettenham (マレー)

マレー半島セラッゴール州西海岸にあり同地とコーランボとの間には鐵道の便あり同地方物資の集散地であるとともに海上交通の一大中心地で遠洋汽船、沿岸船の出入港である。棧橋は四千トン級の汽船を横着けにすることが出来る。

スカワチ Sockawati (小スンダ列島)

バリ島ギヤンヤールの近くにあ

り著名な寺院の所在地。

スカブミ高原 Soekaboemi (ジャワ)

西部ジャワ省ブレアングル州北部所謂ブレアングル山地附近の高原。スカブミの項参照。

スカブミ Soekaboemi (ジャワ)

西部ジャワ省ブレアングル州、バイテンゾルフの南方にあり、海拔五八〇米、人口約二萬の住宅地で世界の極楽とも稱せられるほど気候よく附近には景勝の地が多く爪哇富豪、貴族、官吏の隠棲地、理事官が駐在してゐる。

スカユ Soekajoe (スマトラ)

バレンバン州バレンバンより二五〇軒ムシ河の上流にあり人口三千檢察官が駐在してゐた。

スカン Sukan (ボルネオ)

舊英領北ボルネオのキナバタン河の流域にありゴマントン空洞で採集された燕巢の集散地。

スガラ・アナカン Segara Anak (ジャワ)

中部ジャワ省ベンニユマス州南西岸にある入江であるが沼澤化してをり船舶は入らない。

スク平野 Suk (ボルネオ)

舊英領北ボルネオ、ケニンガオ郡にある廣大なる平野、地味豊で米、ゴム、椰子を産出する。

スグツト河 Sugu (ボルネオ)

舊英領北ボルネオにある河川。キナバル山附近に發源し上流地方には急流が多く小舟の航行は七十哩まで可能であるが舳船は約三十哩迄通航可能である。

スコーダイ Sukodhai (タイ)

タイ國北部にある舊都、紀元一二三八年タイ族の一土侯クン・パーン・クラン・タオは當時この方面に勢力を張つてゐたカメールン(カンボヂヤ)帝國の羈絆を脱し當市を奪取してタイ人のタイ國を建設した。この國は威勢四隣を壓し、文化隆りタイ文字もこの都でこの王によつて作られた。

將來政府の道路開發計畫が完成しビルマへの道路が開通すれば國境の通商都市として繁榮しやう。煙草、棉等農産物の集散地。

スーザランド瀑布 Suosaland Fall (ニュージーランド)

南島西南部南アルプス連峰中の

瀑布。全長千九百四フィートで世界で最長の瀑布の一つである。

スターブツク島 Starbuck Is. (太平洋諸島)

英領マルテン島西南にある小島で、スターブルツク島とも稱し、一八二二年發見され英領となつた。

スターリング山脈 Stirling Mountain (濠洲)

西オーストラリヤ州の南西部の山脈。アルバニーの北方六十四キロにある。高度平均千メートルに達する。

スタンソープス Stanthope (濠洲)

クインズランドの都市。ブリスベーンの南西鐵路三百二十キロの地點にあり。錫鑛業の中心地である。人口約二千。

スタンリー Stanley (濠洲)

タスマニヤ島の都市。北西部に突出するサーキュラー・ヘッドの頸部で南緯百十度十二分、東經百四十六度十七分に位置す。鐵道によつて他の地

方に連絡する。シドニー、メルボルンと舟運の便があり。人口約三千。

スタグン Stagn (ボルネオ)

ボルネオ島東南端にあるブルー・ラウト島の北部にある石炭積出港。

スチュアート島 Stewart Island (ニュージーランド)

南島の南方に位するニュージーランド最大の島嶼である。フォグイオー海峡を隔てて南島と相對してゐる。

面積は六七〇平方マイル三角形をしてゐる。地形が峻峻で、南にテーブル丘があり、海岸線は出入著しい。

本島附近に小屬島が多い。主に錫の産出がある。

スツクール Sukkur (インド)

シンド。インダス河畔に沿ひ、附近のインダス河には灌溉用ダムがあるが同ダムは印度でも屈指のもので工費一千五百萬ポンドで上流の大小運河約三、八〇〇キロとその支流九、二〇〇キロを加へ五百萬エーカーの地に給水して

ある。

ストレイジ河 Stulej River (インド)

インダス河支流五河の一。ヒマラヤ山麓に源を發しピアス河を合して西南に流れ本流に入る。

ステフエン海峡 Steffen Strait (太平洋諸島)

東北ニューギニヤニューアイルランド地区。

ニューアイルランド島の北西端とカラピン島及びベンガタン島の中間にある海峡。

ストウエル Stawell (濠洲)

ヴィクトリア州の都市。メルボルン、アデレード鐵道沿線、アデレードと二百四十キロ隔ててゐる。農耕地の中心。金銀地帯を背後に持ち石材をも産出する。

人口は約四千五百である。

ストラゼレツキ河 Strazelecki River (濠洲)

南オーストラリア州の北東に位しターバー河の中流フォールスより南西に向ひグランチエ鹹湖に分流する流れの名である。

る。

ストラングウエース・スプリング Strangways Spring (濠洲)

南オーストラリア州、エイア湖盆地のエイア湖の西南隅湖畔に開けた町である。

エイア湖盆地は旱魃と、暑熱の影響で住民は自然水に恵まれたエイア湖畔に集中するやうになつたのである。人口は三千三百人(一九四〇年調)産業としては同地方は未開發であり雨量に恵まれぬため湖畔地帯に羊、牛等が僅かに飼養されてゐるにすぎない。

スノー山脈 Sneyuw Mts (ニューギニア)

雪山脈の項参照。

スバ港 Suva (太平洋諸島)

英國植民省直轄植民地フィジー諸島の最大島ヴィティシヴ島南岸の要港で、全フィジー諸島の首府であると共に主要港である、また全諸島統治の中心地である。人口一萬五千で、學校、植物園あり立派な街であり、好適な開港場である。

スバムブリー Subhan Buri (マ

イ)

タイ國のスパン河の流域にあり、歴史的都市であるとともに果實をはじめ地方農産物の集散地である。

スパン河 Suahan (タイ)

タイ國にありメナム・スパン河の上流を言ふ。メナム河の昔の本流でバンコックの北方約二〇〇軒に於て分岐し直線コースをとつてターチン市の南方でタイ灣に注いでゐる。

同河の上流を運河化したものがスパン運河である。

スヒルドパドウン灣 Schildpad-

den B. (ジャワ) 中部ジャワ省ベンニユマス州スラユ河の注ぐ灣でチラチヤブの東方にある。

スピオリ島 Sospiori (ニューギニア)

舊蘭領フェールフィンク灣外シエテン諸島中の島。南岸コリドに住民がある。

スマラン Semarang (ジャワ)

中部ジャワ省スマラン州の北岸の港、人口廿一萬、同港は船港で築港設備は十分に整つてゐ

ない。遠淺で船舶は二涅ぐらひの沖に碇泊する。入港船舶数ではスラバヤ、タンゲヨン・プリオクに次いで第三位であるが噸數では遙に下位であるが中部ジャワの主産物砂糖その他コーヒー、タバコカゴブラ、木材革皮等を輸出する。同市に飛行場あり。

スマラン州 Semarang (ジャワ) 中部ジャワ省に屬する理事州で面積五千四百平方軒、人口二〇二萬首都はスマランである。

スマトラ Soematra

スマトラ島は東經九五度北緯六度の地點から南緯六度東經一〇六度の地點に向ひ南東に横たわる胡瓜形の島で面積四七萬三千六〇五平方軒にして人口(一九四〇年推定)八二五萬四千、内原系住民七七萬四千歐洲人二萬八千、支那人四四萬八千、その他の外國人三萬二千となつてゐるまた人口密度は一七人である。全スマトラをバリサン山脈が中央を西寄のところを走り西海には狭き平野を東海岸には廣き平野を形ち造つてゐる。行政的

には全島で一知事州となり十理事州を包括してゐる。同島の開發は近年に屬し急速に發達した主なる農産物には米、油椰子、コーヒー、規那、茶、ゴム、煙草、馬鈴薯、コブラ、胡椒、野菜、果實がある。

礦産物には石炭のほか、東印度第一の産油地として重要な地位を占めてゐる。

スマトラ西海岸州 Sumatra's Westkust (スマトラ)

中央西岸に位しメンタウエイ諸島を包括する。面積五萬平方軒人口一六萬、山地に富み、パダン高地、マンソジャウ湖シンガラク湖がある。コーヒー、コブラ、丁香等の農産物のほかオムブリン河畔に炭田あり金銀を産出する。

スマトラ東海岸州 Oostkust van Sumatra (スマトラ)

同島中央部北方東側にありマラツカ海峡を隔ててマレー半島と相對する。面積九萬三千五百平方軒、人口百廿萬で首府はメダンである。同州は煙草、ゴム、油子、茶の農園が開かれてを前

記のほか檳榔樹實、木材等を産出する。

スマビラン島 Sembilang (マレー)

マレー半島南部東海岸にある小島。

スマビラン諸島 Sembian (マレー)

舊英領マレー西海岸の小島ブンブラ、プロ等から成る。

一八二六年英國は海賊跳梁を名として同島及バンコール島をペラ州から略取した。

スモンド火山群 (ジャワ)

Semendo (スマトラ)

バレンバン州にある火山群

スメル山 Semeroe (ジャワ)

東部ジャワ省バスルアン南部の活火山でジャワ最高の山で海拔三六七八米。山腹には多量のコーヒーが栽培される。

スーメダン高原 Soemedang (ジャワ)

西部ジャワ省ブレンアンゲル州北部ブレンアンゲル山地にある高原。

スメラク港 Smerak (マレー)

マレー半島東海岸ケランタン州

の開港場、沿岸船がシンガポールおよびバンコックとの間を往復してゐる。東海岸は十一月半より三月半にかけて北東季節風強くその間は交通は途絶え勝ちである。

スーメネツブ Soemenep (ジャワ)

東部ジャワ省マヅラ島の南岸にある鹽田地帯。

スラマツト山 Slamati M. (ジャワ)

中部ジャワ省ベカロンガン州とバンユマス州境即同省中央部西方にある火山で標高三四三二米。

スラユー山脈 Serajoe (ジャワ)

中部ジャワ省バンユマス州とクドウ州の境界をなす山脈を指す。

スラユー隘谷 Serajoe (ジャワ)

中部ジャワ省バンユマス州にあり、北スラマツト連山と南スラユー山脈との間に出来てゐる隘谷で、米、茶、菜、煙草、等を産す。

スラユー河 Serajoe R. (ジャワ)

中部ジャワ省バンユマス州スラユー隘谷奥に源を發しウオノソボ、バンユマスを通りスシルドバドン灣に注ぐ河。

スラバヤ油田 Soerabaja (スマトラ)スラバヤ州スラバヤ西方、南にある油田、レンバン油田と合してジャワ島一九四〇年産の額八三萬九千噸。

スラバヤ州 Soerabja (ジャワ)東部ジャワ省に屬する理事州で面積四千二百平方軒、人口二一七萬七千、首府はスラバヤ

スラバヤ Soerabja (ジャワ)東部ジャワ省スラバヤ州の首府、都市としてはバタビヤに次いで第二位であるが港としてはジャワ第一でジャワ島全體の輸出入の約三分の二を取扱つてゐる人口約三三萬七千、スラバヤの港はメンジョン・ペラ(銀の岬)と稱し本市より十軒カリマス河口にありマヅラ島に保護され優良な碇泊所を形成し古くから東部ジャワの米の輸出港として發達して來たもので現在は近代的港灣施設を有し一萬四千噸、五千噸、三千五百噸の浮動乾

船渠を持つてゐる、同地へ邦人の進出も著しい。背後地は砂糖工場多く機械工業が盛んであるほか酒精、石鹼、ボール紙煉瓦、屋根瓦工業があり、土人の銅工も有名である。学校関係では醫學専門學校、砂糖學校がある。カリマス河東側は有名な蘭印海軍の軍港である。マヅラ島との間には連絡船が出てゐる。

スラゲン Sragen (ジャワ)

スラカルタ州東部の都市。

スラカルタ土侯州 Soerakarta (ジャワ)

ゲョクヂヤカルタの東北方にありゲョクヂヤとともに土侯州である。同項参照。

スラカルタ Soerakarta (ジャワ)

土侯州スラカルタの首都人口十六萬三千、ソロともいふ、隣接の土侯州ゲョクヂヤカルタより鐵道で一時間半、バタビヤ・スラバヤ鐵道本線とスマラン・ゲョクヂヤ鐵道本線の接続驛である。王室附屬のジャワ古代劇はその名を知られてゐる。

スラン河 Serang (ジャワ)

ジャワ島中部ジャワ省東北部を流れメルバブ山に源を發しジャワ海に入る河。

スライマン山脈 Slaiman Mountains (インド)

印度西北アフガニスタンとの國境を走る山脈、アフガニスタンとの重要な交通路たるカイバル峠はこの山脈を横断してアフガニスタンと連絡してゐる。平均高度二、三千米。主峰タクティ・スライマーンは三千四百三十米である。

スーラ諸島 Soela (モルツカ群島)

群島、中群に屬する島で面積五五二九平方軒、主島タリ=アブー、マ・ゴリから成る、十分な探検が行はれてをらずアルフル人が生活して丁香、椰子を栽培してゐる。

スーラツト Surat (インド)

ボムベイの北方二五キロ。人口十一萬七千。東印度會社が一六〇八年エリザベス女王の特許狀を得てこゝに最初の商館を建設し、印度侵略

の第一歩を印したといふ地であるがボムベイに本據を移してから寂れた。

棉花、豆類の集散地である。

スリー・シスターズ島 Three Sisters (太平洋諸島)

サンクリストヴアル島東部海岸の高島でコブラを産す。

ソロモン群島の一。

スリナガル Srinagar (インド)

カシミール藩王國の首部、人口十七萬五十、ハツビーヴアレイの中央にあり海拔一、七〇〇米の高地である。

高原地帯であるが農産物に富み米、大麥、果樹類を産しその集散地である。綿羊の飼育も盛んで養蠶も行はれ、製絲工場は印度一であり又世界的にも有名である。

植物油、酒類、銀銅製品、薬味、染料、果實、皮革類、肩掛などを輸出してゐる。支那、チベット、トルキスタン等へ通ずる交通の要衝なので軍事據點となつてゐる。

スリム Slim (マレー)

マレー半島の中部西海岸ペラ州

の南部にある小邑。大東亞戦争に際し皇軍のマレー西岸部隊は激戦の結果昭和十七年一月七日同地を占領した。

スリバト島 Sribuat (マレー)

マレー半島南部東海岸にある小島。スリガオ Surigao (比律賓)

ミンダナオ島スリガオ州廳所在地、人口三四、二五五(一九三九年)マニラ、セブ港より船便あり。スリガオ州 Surigao (比律賓)

ミンダナオ島東北部を占む、面積七、四八三平方キロ、人口二二五、八七九(一九三九年)住民はボホール、セグイサア族、産物の主なるもの木材、コブラ、麥、金、石炭を産す。スリガオ鐵礦床は一九一二年比島政府技師 H. F. カメロン氏により發見され埋藏量五億トンといはれてゐる。

スル州 Su'u (比律賓)

比島最西南部サマレス、ホロ、ダウイネウイ三群島から成り面積二、八〇二平方キロ、人口二四九五六二(一九三九年)住民

は米領となつて屢々反亂したモロ族のほかヴィサヤ、サマレス族あり、産物龍甲、牛馬、魚類、米、コブラ、麥、煙草等、在留邦人三九（一九三九年）業漁に従事す。

スルドン河 Surudong (ボルネオ)

舊英領北ボルネオ、カウイ灣に注ぐ河。上流地方には石炭を産す。

スレムバン 芙蓉 Seremban (マレー)

マレー半島ネグリスマビラン州の首都で人口二萬二千人附近はゴムの栽培が盛で戦前四百人位の邦人がゐた。又デイクソン港との間に鐵道の便あり同地方の物資の集散地。大東亞戦争に際し皇軍マレー部隊は昭和十七年一月十四日同地を占領した。

スワンカローク 又は **サワンカローク** Sawangka'ok (タイ)

タイ國北部にある舊都。タイ族は紀元八五七年頃この地方に住んでゐたモンクメール人種を驅逐してタイ族の國を建設しここに都を定めた。後に同族の一

土侯タン・バーン・クランタオはスコータイを奪取してタイ族の有力國家を建設しカスワンカロークはスコータイとともに繁榮し現在當時の榮華を偲ぶ堂塔、遺跡がある。

現今同地方の果實、棉、胡椒等農産物の集産地。

スワイ島 別名 **гентヘルモサ島**

Savai (太平洋諸島)

全面積一・七七九平方キロ、人口一七、七、サモア群島最大の島、別名、гентヘルモサ島又はオロセンガ島と呼ばれ、曾ては英領であつたが一八〇七年米人エリ・デニンングが來島し酋長の娘を娶つたことがあつた事實によつて米領となつたもの、同島は鬱々たる森林あり、火山がある。ムア（五四〇〇呎）の一九〇二年の大噴火は有名である。

スワート河 Swat R. (インド)

インダス河の支流でパミール高原に源を發しベシヤールで本流と合する。

スンガイペラ河 Sungai Perak (マレー) マレー半島ペラ州を南

北に縦斷する河。

スンガイ・パタニ港 Sungai Patani (マレー) マレー半島ケダ州の小港で小帆船が出入し沿岸貿易を行ふ。

スンガラン港 Senggarang (マレー) マレー半島ジョホール州岸の小港、シンガポールとの間に沿岸船の航行があるが渡洋船は入港不可能である。

スン山 (Corn G. (ニューギニア) 舊蘭印中央山脈東方に位置し標高四五九五米。

スンピン山 Soembing M. (ジャワ) 中部ジャワ省ケドゥ州地方にある火山。

スンダ海峽 Soenda Str. (ジャワ) ジャワ島とスマトラ島間の海峽。

スンダ海 Soenda Sea (小スンダ列島) フロレス海の別稱同項参照。

スンダ陸棚 Soenda Shelf (小スンダ列島)

ボルネオ、スマトラ、ジャワの三大島およびマレー半島で圍れてゐる深度百米に達しない淺海

の呼稱。

スンバ島 Soemba (小スンダ列島)

小スンダ列島南列の最西の島で面積一萬一〇八二方呎、最高七〇〇米の森林岳陵地をなしてをり土地は肥沃でなく農業は盛んでない。しかし水牛、牛、馬の牧畜が盛んでワインガブー港よりジャワへ水牛を輸出するほか白檀も出す。

スンバワ・ブツサール Soemba-wabassar (小スンダ列島)

スンバワ島都市、馬水牛を出す。

スンバワ島 Soembawa (小スンダ列島)

小スンダ列島北列に屬しロンボツ島の東にあり面積一萬三九八〇方呎、人口は約二〇萬、住民はマレー族で米、棉、煙草を栽培し、また白檀を輸出し生活してゐる。

セの部

セイロン島 Ceylon (セイロン) 印度大陸の南端、印度洋上の島